



グーン」米ノ持出が非常ニ困難ナ状況ニア  
ルコトハ私ガ言フマデモアリマセヌ、併シ  
昨年ノ秋カラハ「ラングーン」米ノ移動ガ可  
能ニナツタト私ハ聞イテ居リマス、「ラン  
グーン」米ニシロ「バンコック」米ニシロ、  
御承知ノヤウニ十七年度ニハ「タイ」國ノ洪  
水ノ爲ニ餘リ穫レナカツタノデアリマスガ、  
昨年ハ洪水ノアツタコトヲ聞キマセヌノ  
デ、「ラングーン」米ニシロ、「バンコック」  
米ニシロ相當ニ餘剩分ガ出ハシナイカ、ソ  
レヲ日本ガ從前ノ行キ方ト變ヘテ之ニ賴ラ  
ヌコトニナリマスト、現地ノ消費ト云フコ  
トヲ考ヘナクテハイケナインデアリマスガ、  
東亞共榮園建設トカ、大東亞五大原則ニ則  
リ、「タイ國」デモ相當困ルノデハナカラウカ  
ト云フ氣ガシマス、サウ云フ面ニ對シテハ  
農林當局ハドウ云フ御考ヘラツツテ居ラレ  
マスカ、其ノ點ガ一ツト、モウ一ツ今ノ食  
糧確保ト云フコトハ臺灣、朝鮮、ソレニ半  
島人ヲ滿洲ニ移シテノ開墾ニ依ル滿洲國ニ  
於ケル食糧増產ト云フコトダケデ日本ノ食  
糧確保ヲスルト云フ意味ニ諒解シテ宜シイ  
ノデアリマスカ、其ノ點ヲ併セテ伺ヒタイ  
ト思ヒマス

「ボーキサイト」ノ原料ヲ南方カラコチラヘ  
入レテ來ルニ付キマシテハ相當ナ船腹ガ要ル  
ノデアリマス、今日ノ場合飛行機ノ増産ノ爲ノ  
ガ要請サレマシテ、著々トシテソレガ進行  
ガ確保シテ、ソレニ依ツテ浮カス船腹ヲ以  
テ飛行機ノ大増産ナリ、或ハ更ニ南方第一  
ノナラバ食糧ノ如キモノヲ手許ニ於テ我々  
ガ確保シテ、ソレニ依ツテ浮カス船腹ヲ以  
テ飛行機ノ大増産ナリ、或ハ更ニ南方第一  
線ニ對スル補給ノコトニ船腹ヲ繩合セルト  
云フコトガ、今回ノ外米依存ヲ脱却ゼント  
シタ大キナ理由デアリマス、船腹トシテド  
ノ位ノモノガ米ト「ボーキサイト」ノ輸送ト  
ノ間ニ比較ガ出來ルカト申シマスト、飛行  
機ノ大小ニ依ツテモ違ヒマセウガ、或ル計  
算ニ依リマスルト、丁度米ノ百六十石ヲ輸  
送スル船腹ヲ以テ飛行機一臺分ノ原料トナ  
ル「ボーキサイト」ガ輸送サレルコトニナル  
ノデアリマス、デアリマスルカラ、大體ニ  
於テ假ニ五百萬石ノ米ヲ輸送スル船腹ヲ、  
米ノ輸送ニ代ヘテ、飛行機ノ材料タルベキ  
「アルミニユーム」ノ原料デアル「ボーキサ  
イト」ヲ輸送スルト致シマスル極メテ重要ナ  
行機三萬臺分位ノ原料ガ輸送サレルコトニ  
ナル譯デアリマス、併シ食糧ト云フモノハ  
勿論戦力ノ根柢トナリマスル極メテ重要ナ  
モノデアリマスルカラ、出來ナケレバ是ハ  
致シ方ナイコトデアリマスガ、色々苦心ヲ  
致シマシテ我々モ計畫シ、又地方、外地、  
或ハ滿洲國等ノ官民ガ今日ノ食糧ノ確保、  
其ノ計畫ニ協力ヲ寄セテ居ラレマスルノデ、  
殊ニ外米依存ヲ脱却致シテノ食糧ノ確保ノ  
重要性ヲ先般來、深ク認識致サレマシテ、

幸ヒニシテ今申シタヤウナコトガドウニ  
カナシ得ルト云フヤウニ見込マレルニ至ツ  
タノデアリマス、此ノ點農商大臣モ他ノ機  
會ニ於テ非常ニ喜バシイコトデアルト云フ  
コトヲ申シテ居ラレルノデアリマス、左様  
ナ次第デアリマシテ此ノ際ト致シマシテハ  
廣ク戰爭遂行ノ觀點カラ斯様ニ致スコトガ  
極メテ必要デモアリ、又得策デアルト考ヘ  
テ居ル次第デアリマス、ソレカラ滿洲ノ增  
産ノコトニ付キマシテ、朝鮮半島ノ人ヲ入  
レテ、云々ト云フ御話ガゴザイマシタガ、  
是ハ結局食糧ノ自給ノ關係カラ言ヒマスル  
ト、二十年度以降ノコトデアリマシテ、昭  
和十九米穀年度ニ於ケル食糧ノ自給ニ付キ  
マシテハ、色々ト各方面デ進メテ戴イテ居  
ル所ノ食糧増産——麥ハ別デアリマスルガ、  
此ノ秋以後ニ穫レマス所ノ食糧増産ノ計畫  
ト云フモノハ關係ガナイ譯デアリマス、是  
ハ結局次ノ年度ニナツテ初メテ收穫量ガ自  
給ノ計算ノ上ニ入ツテ來ルノデアリマス、  
十九米穀年度ト致シマシテハ是マデヤツテ  
來マシタ色々ナ增産實行ノ效果ト、ソレカラ  
タヤウナ、例へバ春馬鈴薯デアルトカ、現  
ニ今進メテ居ル所ノ麥作等ノ收穫、是ガ入  
ルダケデアリマシテ、隨ヒマシテ、此ノ自  
給ノ計畫ヲ立テルニ當ツテハ、新シイ努力  
ニ依ツテ十九年度ノ自給ヲ改善スル餘地ガ  
割合ニ少イノデアリマス、詰リ是マデノ生  
産ノ成果方其ノ供給面ニ働く大部分ノ要素  
ニナルモノデスカラ、是ガ若シ今日マデノ  
生産ノ狀況ガ非常ニ惡カツタト云フヤウナ  
コトニナリマスト、如何ニ焦ツテモ外米依  
存ノ脱却ガ出來ナイ譯デアリマスガ、幸ヒ  
ナル哉滿洲ニ於テモ相當ナ豐作デアリマシ

タシ、其ノ他ノ地域ニ於テモ十分トハ申セマセ又ケレドモ相當ナ收穫ガアリマシタノデ、斯ウ云フ計畫ガ立チ得ルコトニナツタ譯デアリマス、其ノ點ハ洵ニ幸ヒデアツタト私共モ感ジテ居ル次第デアリマス○高岡委員 今ノ御説明ニ依リマスト日本ハ外米ニ依存シナイ、而モ十九年度ノ米穀自給ノ數量ニ對シテハ滿洲ノ增産モ計畫ニ入レテナイ、サウシマスト何トシテモ内地、朝鮮、臺灣ニ於テ必要量ヲ作フナクチヤイカヌト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレニ付テ私一寸角度ハ違ヒマスケレドモ、供出ニ付テ一ツ御尋ネシタイ、併出ニ付テ私が敢テ御尋ネシマスコトハ、是ノヤリ方如何ニ依ツテハ今日以上ニ米ガ多ク穫レルノデハナカラウカト云フ氣ガスルカラデアリマス、此ノ問題ハ昨日モ論議サレタノデアリマスガ、私ハ此ノ供出割當ヲ春先ニシタラドウカト云フ氣ガ致シマス、尤モ供出米ノ割當ヲシマスニハ最初カラ現下ノ國情ヲ說イテ、各部落ニソレドム責任ノ擔當者ヲ設ケ、責任量ヲ定メテ農民ニ之ヲ命ズルノデハナクシテ、農民ヲシテ御奉公ノ念ニ燃エシメル、農家ハ御承知ノヤウニ非常ニ計畫的ナモノデアリマシテ、ヨク田舎デ聞ク言葉ハ、オ正月ノ難煮ヲ食ベル時ニ一年ノコトヲ考ヘルト申シマスガ、春先ニ供出米ノ割當方決リマスレバ、農民ハドウシテモソレダケノモノハ作ラナクチヤイカヌト云フコトデ農業ニ獻身努力スルト云フ結果ニナリハシナイカト云フ氣ガ致シマス、而モ私ハ重工業ニ於テ今日見ルガ如ク、其ノ割當量以上ノ物ヲ作ツテ居リマスガ、ソレニ對シテハ高能率主義ト言ヒマスカ、ソノ以上ノ米ニ對シテハ二重價格制ヲ執ルト云ヒ

マスカ、農民ニ希望ヲ持タセルト云フカ、  
張合ヒヲ持タセルト云フカ、サウ云フ意味  
デ米ト云フモノニ對シテノ今マデヤリ來ツ  
タコトハ、最初ノ時ハ大分失敗シタヤウデ  
アリマス、昨年ハ一部ノ例外ヲ別トシマス  
レバ、全國的ニハ稍無事デアツタノデアリ  
マスガ、今年ハ一ツ供出米ノ問題ニ付テ新  
シマス、此ノ問題ニ付テ一ツ政府ノ御所見  
ヲ伺ヒマスト同時ニ、米ノ二重價格ト云フ  
コトニ付テドウ云フ御考ヘヲ御持チデアル  
カ、此ノ點モ併セテ御質問致シマス

○石黒政府委員 此ノ供出ノコトニ付キマ  
シテハ、洵ニ御説ノヤウニ、第一ノ要諦ハ、

眞ニ全國農家ガ奉公ノ念ニ燃エマシテ供出

ノコトニ當ルヤウナ風ニ馴致致スコトガ最

モ必要ナコトデゴザイマス、我々ヨグ聞ク

コトデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ

全國ノ農家ハ何レモ今日ノ時局ノ重大性ヲ

能ク認識致シマシテ、サウ云フ趣旨ニ於テ

ハ誰一人異存ガナイヤウニ聞イテ居ルノデ

アリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、近郷

近在、隣近所ノ間ニ何カ不公平ナ被ヒガア

ルト云フヤウナ風ニ感ズルト、ソコニサウ

云フ氣分ヲ阻碍スルヤウナ處ガアルト云フ

ヤウニ聞クノデアリマス、此ノ點ガイツモ

實際ノ實行上ニ於ケル難カシイ點ニナルヤ

ウニ存ズルノデアリマス、私共實際感激シ

テ居リマスコトハ、例ヘバ昨年ノ供出ノ場

合ニ於キマシテモ、米ノ價格ノ改訂ガアリ

マシタ後ハ、ホンノ數日間ハ多少供出ガ滋

リマシタケレドモ、却ツテ又其ノ勢ヒラ盛

リ返シテ供出ガ盛ニ行ハレクト云フヤウ

ネ所ガ洵ニ農家ラシイ現象ニアリマシテ、

私共トシマシテ非常ニ感激致シタノデアリ

マス、ソコデ御説ノヤウニ供出ノヤリ方ト

云フコトニ付キマシテハ、私共過去ニ於ケ

ル經驗ニ徵シテ、改善スペキモノハ改善ヲ

スルト云フコトニ付テハ常ニ考慮致シテ居

ル點デアリマス、隨ヒマシテ今後ト雖モ色

色ナ點ニ付テハ十分考ヘテ參リタイト思フ

ノデアリマスガ、唯御説ノ差當リ米ノ供出

割當ヲ春先ニ於テ實行スル、或ハ又割當以

上ノ生産ニ付テ特別ナ價格ヲ出スカドウカ

ト云フ點ニ付キマシテハ、先づ第一ニ事前

ノ供出割當ニ付テ申シマスルニ、此ノコト

ハ可ナリ前カラ意見ノアツタ所デアリマシ

テ、或ル方面ニ於テハ可ナリ強ク望聖ラバ

シテハ、淘ニ御説ノヤウニ、第一ノ要諦ハ、

眞ニ全國農家ガ奉公ノ念ニ燃エマシテ供出

ノコトニ當ルヤウナ風ニ馴致致スコトガ最

モ必要ナコトデゴザイマス、我々ヨグ聞ク

コトデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ

全國ノ農家ハ何レモ今日ノ時局ノ重大性ヲ

能ク認識致シマシテ、サウ云フ趣旨ニ於テ

ハ誰一人異存ガナイヤウニ聞イテ居ルノデ

アリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、近郷

近在、隣近所ノ間ニ何カ不公平ナ被ヒガア

ルト云フヤウナ風ニ感ズルト、ソコニサウ

云フ氣分ヲ阻碍スルヤウナ處ガアルト云フ

ヤウニ聞クノデアリマス、此ノ點ガイツモ

實際ノ實行上ニ於ケル難カシイ點ニナルヤ

ウニ存ズルノデアリマス、私共實際感激シ

テ居リマスコトハ、例ヘバ昨年ノ供出ノ場

合ニ於キマシテモ、米ノ價格ノ改訂ガアリ

マシタ後ハ、ホンノ數日間ハ多少供出ガ滋

リマシタケレドモ、却ツテ又其ノ勢ヒラ盛

リ返シテ供出ガ盛ニ行ハレクト云フヤウ

ネ所ガ洵ニ農家ラシイ現象ニアリマシテ、

私共トシマシテ非常ニ感激致シタノデアリ

マス、ソコデ御説ノヤウニ供出ノヤリ方ト

云フコトニ付キマシテハ、私共過去ニ於ケ

ル經驗ニ徵シテ、改善スペキモノハ改善ヲ

スルト云フコトニ付テハ常ニ考慮致シテ居

ル點デアリマス、隨ヒマシテ今後ト雖モ色

色ナ點ニ付テハ十分考ヘテ參リタイト思フ

ノデアリマスガ、唯御説ノ差當リ米ノ供出

割當ヲ春先ニ於テ實行スル、或ハ又割當以

上ノ生産ニ付テ特別ナ價格ヲ出スカドウカ

ト云フ點ニ付キマシテハ、先づ第一ニ事前

ノ供出割當ニ付テ申シマスルニ、此ノコト

ハ可ナリ前カラ意見ノアツタ所デアリマシ

テ、或ル方面ニ於テハ可ナリ強ク望聖ラバ

シテハ、淘ニ御説ノヤウニ、第一ノ要諦ハ、

眞ニ全國農家ガ奉公ノ念ニ燃エマシテ供出

ノコトニ當ルヤウナ風ニ馴致致スコトガ最

モ必要ナコトデゴザイマス、我々ヨグ聞ク

コトデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ

全國ノ農家ハ何レモ今日ノ時局ノ重大性ヲ

能ク認識致シマシテ、サウ云フ趣旨ニ於テ

ハ誰一人異存ガナイヤウニ聞イテ居ルノデ

アリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、近郷

近在、隣近所ノ間ニ何カ不公平ナ被ヒガア

ルト云フヤウナ風ニ感ズルト、ソコニサウ

云フ氣分ヲ阻碍スルヤウナ處ガアルト云フ

ヤウニ聞クノデアリマス、此ノ點ガイツモ

實際ノ實行上ニ於ケル難カシイ點ニナルヤ

ウニ存ズルノデアリマス、私共實際感激シ

テ居リマスコトハ、例ヘバ昨年ノ供出ノ場

合ニ於キマシテモ、米ノ價格ノ改訂ガアリ

マシタ後ハ、ホンノ數日間ハ多少供出ガ滋

リマシタケレドモ、却ツテ又其ノ勢ヒラ盛

リ返シテ供出ガ盛ニ行ハレクト云フヤウ

ネ所ガ洵ニ農家ラシイ現象ニアリマシテ、

私共トシマシテ非常ニ感激致シタノデアリ

マス、ソコデ御説ノヤウニ供出ノヤリ方ト

云フコトニ付キマシテハ、私共過去ニ於ケ

ル經驗ニ徵シテ、改善スペキモノハ改善ヲ

スルト云フコトニ付テハ常ニ考慮致シテ居

ル點デアリマス、隨ヒマシテ今後ト雖モ色

色ナ點ニ付テハ十分考ヘテ參リタイト思フ

ノデアリマスガ、唯御説ノ差當リ米ノ供出

割當ヲ春先ニ於テ實行スル、或ハ又割當以

上ノ生産ニ付テ特別ナ價格ヲ出スカドウカ

ト云フ點ニ付キマシテハ、先づ第一ニ事前

ノ供出割當ニ付テ申シマスルニ、此ノコト

ハ可ナリ前カラ意見ノアツタ所デアリマシ

テ、或ル方面ニ於テハ可ナリ強ク望聖ラバ

シテハ、淘ニ御説ノヤウニ、第一ノ要諦ハ、

眞ニ全國農家ガ奉公ノ念ニ燃エマシテ供出

ノコトニ當ルヤウナ風ニ馴致致スコトガ最

モ必要ナコトデゴザイマス、我々ヨグ聞ク

コトデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ

全國ノ農家ハ何レモ今日ノ時局ノ重大性ヲ

能ク認識致シマシテ、サウ云フ趣旨ニ於テ

ハ誰一人異存ガナイヤウニ聞イテ居ルノデ

アリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、近郷

近在、隣近所ノ間ニ何カ不公平ナ被ヒガア

ルト云フヤウナ風ニ感ズルト、ソコニサウ

云フ氣分ヲ阻碍スルヤウナ處ガアルト云フ

ヤウニ聞クノデアリマス、此ノ點ガイツモ

實際ノ實行上ニ於ケル難カシイ點ニナルヤ

ウニ存ズルノデアリマス、私共實際感激シ

テ居リマスコトハ、例ヘバ昨年ノ供出ノ場

合ニ於キマシテモ、米ノ價格ノ改訂ガアリ

マシタ後ハ、ホンノ數日間ハ多少供出ガ滋

リマシタケレドモ、却ツテ又其ノ勢ヒラ盛

リ返シテ供出ガ盛ニ行ハレクト云フヤウ

ネ所ガ洵ニ農家ラシイ現象ニアリマシテ、

私共トシマシテ非常ニ感激致シタノデアリ

マス、ソコデ御説ノヤウニ供出ノヤリ方ト

云フコトニ付キマシテハ、私共過去ニ於ケ

ル經驗ニ徵シテ、改善スペキモノハ改善ヲ

スルト云フコトニ付テハ常ニ考慮致シテ居

ル點デアリマス、隨ヒマシテ今後ト雖モ色

色ナ點ニ付テハ十分考ヘテ參リタイト思フ

ノデアリマスガ、唯御説ノ差當リ米ノ供出

割當ヲ春先ニ於テ實行スル、或ハ又割當以

上ノ生産ニ付テ特別ナ價格ヲ出スカドウカ

ト云フ點ニ付キマシテハ、先づ第一ニ事前

ノ供出割當ニ付テ申シマスルニ、此ノコト

ハ可ナリ前カラ意見ノアツタ所デアリマシ

テ、或ル方面ニ於テハ可ナリ強ク望聖ラバ

シテハ、淘ニ御説ノヤウニ、第一ノ要諦ハ、

眞ニ全國農家ガ奉公ノ念ニ燃エマシテ供出

ノコトニ當ルヤウナ風ニ馴致致スコトガ最

モ必要ナコトデゴザイマス、我々ヨグ聞ク

コトデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ

全國ノ農家ハ何レモ今日ノ時局ノ重大性ヲ

能ク認識致シマシテ、サウ云フ趣旨ニ於テ

ハ誰一人異存ガナイヤウニ聞イテ居ルノデ

アリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、近郷

近在、隣近所ノ間ニ何カ不公平ナ被ヒガア

ルト云フヤウナ風ニ感ズルト、ソコニサウ

云フ氣分ヲ阻碍スルヤウナ處ガアルト云フ

ヤウニ聞クノデアリマス、此ノ點ガイツモ

實際ノ實行上ニ於ケル難カシイ點ニナルヤ

ウニ存ズルノデアリマス、私共實際感激シ

テ居リマスコトハ、例ヘバ昨年ノ供出ノ場

合ニ於キマシテモ、米ノ價格ノ改訂ガアリ

マシタ後ハ、ホンノ數日間ハ多少供出ガ滋

リマシタケレドモ、却ツテ又其ノ勢ヒラ盛

リ返シテ供出ガ盛ニ行ハレクト云フヤウ

ネ所ガ洵ニ農家ラシイ現象ニアリマシテ、

私共トシマシテ非常ニ感激致シタノデアリ

マス、ソコデ御説ノヤウニ供出ノヤリ方ト

云フコトニ付キマシテハ、私共過去ニ於ケ

ル經驗ニ徵シテ、改善スペキモノハ改善ヲ

スルト云フコトニ付テハ常ニ考慮致シテ居

ル點デアリマス、隨ヒマシテ今後ト雖モ色

色ナ點ニ付テハ十分考ヘテ參リタイト思フ

ノデアリマスガ、唯御説ノ差當リ米ノ供出

割當ヲ春先ニ於テ實行スル、或ハ又割當以

上ノ生産ニ付テ特別ナ價格ヲ出スカドウカ

ト云フ點ニ付キマシテハ、先づ第一ニ事前

ノ供出割當ニ付テ申シマスルニ、此ノコト

ハ可ナリ前カラ意見ノアツタ所デアリマシ

テ、或ル方面ニ於テハ可ナリ強ク望聖ラバ

シテハ、淘ニ御説ノヤウニ、第一ノ要諦ハ、

眞ニ全國農家ガ奉公ノ念ニ燃エマシテ供出

ノコトニ當ルヤウナ風ニ馴致致スコトガ最

モ必要ナコトデゴザイマス、我々ヨグ聞ク

コトデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ

全國ノ農家ハ何レモ今日ノ時局ノ重大性ヲ

能ク認識致シマシテ、サウ云フ趣旨ニ於テ

ハ誰一人異存ガナイヤウニ聞イテ居ルノデ

アリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、近郷

近在、隣近所ノ間ニ何カ不公平ナ被ヒガア

ルト云フヤウナ風ニ感ズルト、ソコニサウ

云フ氣分ヲ阻碍スルヤウナ處ガアルト云フ

ヤウニ聞クノデアリマス、此ノ點ガイツモ

實際ノ實行上ニ於ケル難カシイ點ニナルヤ

ウニ存ズルノデアリマス、私共實際感激シ

テ居リマスコトハ、例ヘバ昨年ノ供出ノ場

合ニ於キマシテモ、米ノ價格ノ改訂ガアリ

マシタ後ハ、ホンノ數日間ハ多少供出ガ滋

リマシタケレドモ、却ツテ又其ノ勢ヒラ盛

リ返シテ供出ガ盛ニ行ハレクト云フヤウ

ネ所ガ洵ニ農家ラシイ現象ニアリマシテ、

私共トシマシテ非常ニ感激致シタノデアリ

マス、ソコデ御説ノヤウニ供出ノヤリ方ト

云フコトニ付キマシテハ、私共過去ニ於ケ

ル經驗ニ徵シテ、改善スペキモノハ改善ヲ

スルト云フコトニ付テハ常ニ考慮致シテ居

ル點デアリマス、隨ヒマシテ今後ト雖モ色

色ナ點ニ付テハ十分考ヘテ參リタイト思フ

ノデアリマスガ、唯御説ノ差當リ米ノ供出

割當ヲ春先ニ於テ實行スル、或ハ又割當以

上ノ生産ニ付テ特別ナ價格ヲ出スカドウカ

ト云フ點ニ付キマシテハ、先づ第一ニ事前

ノ供出割當ニ付テ申シマスルニ、此ノコト

ハ可ナリ前カラ意見ノアツタ所デアリマシ

テ、或ル方面ニ於テハ可ナリ強ク望聖ラバ

シテハ、淘ニ御説ノヤウニ、第一ノ要諦ハ、

デ作ツテ參ツタノニアリマスガ、モウ今日  
デハ斯ウ云フモノモ愈々窮屈ニナツテ參リマ  
シタノデ、其ノ點ハ一ツ十分御考ヘヲ願ヒ  
タイト思ヒマス、今農村ニ參リマスト「ビー  
ル」ガトカ、白砂糖ガトカ、サウ云ツタヤウ  
ナ大シテ農民ノ有難ガラナイモノガ大分配給  
サレテ、製炭業者ニ御褒美ダト言ツテ「ビー  
ル」ヲ配ツタケレドモ、「ビル」ノ空壟ヲ  
持ツテ來ナケレバヤラナイト云フノデ、貧  
乏德利ニ移シテ、ソレヲ一週間モ經ツテ細  
君ガオ爛ヲシテ亭主ニ飲マセタト云フヤウ  
ナ悲喜劇ガ行ハレテ居ル譯デアリマスガ、  
斯ウ云フ、紙ノ上ノ公平デアリマセウケレ  
ドモ、コンナ公平ハ農山漁村民ニハ迷惑ナ  
ノデアリマスカラ、斯ウ云フ御褒美デナク  
シテ、野良着トカ、股引トカ、地下足袋、  
斯ウ云フヤウナ本當ノ農山漁村民ノ必要物  
資ヲ一ツ十分親心ヲ以テ配給ヲ願ヒタイ  
ト思ヒマス、更ニ私山村ニ於テ聞ク話ハ  
柴ノ問題デアリマス、此ノ柴ハ山村ニハ  
非常ニ山積シテ居リマス、私ノ郷里ノコ  
トヲ言ツテ甚ダ恐縮デアリマスガ、新潟  
市民ノ中ニハ或ル一部ノ者ニアリマス  
ガ、非常ニ薪炭ニ困ツテ居リマス、中ニ  
甚ダ極端ナ例ヲ申上ダマスト、子供ガ生レ  
タケレドモ、産湯ヲ沸カス薪ガナイノデ、  
オ嫁ニ來ル時ニ持ツテ來タ簾笥ヲ壊シタ  
リ、張板ヲ壊シタト云フヤウナ、新潟市ノ  
一部ニハ非常ニ薪炭ノ窮屈ヲ感ジテ居ル面  
ガアリマス、然ラバ山村ニソレダケノ薪炭  
ガナイカト言ヒマスト、山ノ方ニハ山積ニ  
ナツテ居ル、何故ソレガ出ナイノカ、何故  
サウ云フモノガ配給ニナラナイノカト言ヒ  
マスト、配給機構ガ巧ク行ツテナインモ一ツ  
デアリマスガ、此ノ例ヲ柴ニ取ツテ見マス

ト、實ニ滑稽ナヤウナコトガ聽カサレルノ  
デアリマス、即チ柴ノ大キサハ最近一寸カ  
ラ八分ニ詰メラレテ居リマス、所ガ柴ヲ細  
リマス場合ニ、一々物差ヲ持ツテ寸法ヲ量  
ル譯ニハ行キマセヌノデ、多少大キナノモ  
ソコニ入ツテ居リマス、所ガ愈々柴ヲ束ネ  
テ里ヘ下リテ來テ警察ノ前ヲ通ルト云フト、  
警察官ガ出テ來テ、其ノ中ノ大キナヤツヲ  
寸法ヲ計ル、而モ其ノ柴ガ工場製品ノヤウ  
ニ丸イナラ鬼モ角モ、中ニハ楕圓形モアリ  
マセウシ、色々ノ形ガアル、ソレヲ警察官  
ガ長立方ノ寸法ヲ取ルモノデスカラ、八分  
ダト思ツテ來マシテモ、九分ダツタリ一寸  
ダツタリスル、其ノ爲ニソレヲ引ツコ抜ク、  
警察ニ引張ル、一々調ベル、色々ナコトデ、  
ソンナコトダツタラ持ツテ行ツテモ手間暇  
ガ合ハヌト云フコトデ、山ノ人ハ柴ヲ持ツ  
テ下リスト云フヤウナコトカラ、柴ガ山ノ  
方ニハ山積ニナツテ居リマス、又製炭ノ方  
ヲ見マスト、自家用製炭ノ方ニハ大分呴ガ  
ハ呴ノ配給ト云フモノガ非常ニ少ウゴザイ  
マス、コンナヤウナコトデ、山ノ方トシテ  
ハ出來ルダケ之ヲ金ニ換ヘタイト云フ氣持  
テハ居リマスモノノ、サウシタヤウナ唯紙  
ノ上ダケノ問題デ、相當臨踏ト言ヒマスカ、  
サウ云フ風ナモノガ窓ハレルノデアリマス、  
端的ニ申上ダマシテ柴ノ規格ト云フモノヲ  
緩メルトデモ言ヒマスカ、モット常識的ニ  
取締ヲシテ下サルヤウナ御方針デアリマス  
カドウカ、此ノ點ハツツ御伺ヒ致シマス  
○石黒政府委員 只今ノ柴ノ規格ノ取締ノ  
コトノ御話ガゴザイシタガ、少シ言ヒ過  
ギカモ知レマセヌガ、實際的ニ申上ダマス  
レバ、假ニ八分ニ規格ガ制限サレテ居リマ

シテモ、ソレヲ一寸位アルカラト云ツテ取  
締ルト云フヤウナコトハ、是ハ恐ラク極メ  
テ非常識ナモノデアリマシテ、我タトシマ  
シテモサウ云ブコトマデ抑制致シテ居ラナ  
イ譯デアリマス、左様ナコトガ各方面ノ末  
端ニアルヤウデアレバ、要スルニ行政ノ常  
識ノ問題ニナル譯デアリマシテ、ドウ云フ  
風ニ致シテ宜シイカ、我タト致シマシテモ  
能ク氣ヲ付ケマシテ、左様ナコトノナイヤ  
ウナ風ニ、中央トシテ盡スダケノコトハシ  
タイト思ヒマス、尙ホ此ノ種ノコトハ若シ  
願ヘレバ地方ニ於テ解決ガ付カナイモノダ  
ラウカト云フコトヲ、私共ノ感想トシテハ  
持ツテ居ル譯デアリマシテ、併セテ申上ダ  
ル次第デアリマス

○高岡委員 實際ノコトヲ言ヒマスト、私  
ハ中央デハ熱心ニ國民生活ヲ御考ヘニナツ  
テ、色々起案ナスツテイラツシヤルノデア  
ツテ、是ハ決シテ惡意デナスツテ居ルトハ  
考ヘマセヌ、併シ善意デナスツテ居ルコト  
ガ實際末端ニ行キマスト、惡政ト言フト言  
葉ガ惡イノデアリマスガ、惡政ノ場合ガア  
リマス、私之ヲ善意ノ惡政ト言フノデアリ  
マスガ、此ノ善意ノ惡政ヲ如何ニシテ然ラ  
バ矯メルカト云ヒマスト、私ハ端的ニ言ヘ  
バ各省ノ書類ノ數ヲ少クスルコトデアル、  
斯ウ考ヘマス、餘リニモ今日ハ書類ガ多過  
ギル、餘リニモ細カイ所マデ色々ナコトヲ  
起案サレルモノデスカラ、末端ニ行ケバ行  
ク程窮屈ヲ感ズルノデアリマシテ、此ノ戰  
時下ニ於テ唯一途ニ勝タナケレバイカヌト  
云フ時ニ、サウ云フ細カイトコマデ規格ヲ  
定メルト云フコトハ、益、國民生活ニ私ハ窮  
屈ヲ感ゼシムルノデハナカラウカト思フ、  
非常ニ高クナツテ居リマス、此ノ高イ油ヲ  
石油井戸ヲ目掛ケテ漁師ガ之ヲ買取ル、併  
シ漁師ガソレヲ掘ル譯ニ行キマセヌノデ、  
ナ鑿井ヲヤツテ石油ヲ掘ツテ居リマス、其ノ  
小僧習ハス經ヲ讀ムデ、私等ノ如キ石油縣  
マスト、實ハ御承知ノ上總掘リトカ、サウ  
テ日產一石程出ル油井戸ハ一萬圓シテ居リ  
マス、買收ト言ヒマスカ、買取ツテ居リマ  
ス、ソレデ大體ノ闇相場カドウカ分リマセ  
ヌガ、日產一斗ノ井戸ハ千圓シマス、隨  
マス、併シサウ云フ井戸ハ大仕掛カト云ヒ  
ヌガ、日產一千圓シテ居リマス、漁村ニ對スル油  
井戸ヲ泳イデ居リマス、所謂闇デ賣ラレ  
テ居ル、此ノコトヲ私段々聽イテ見マスト、  
ル譯ニ參リマセヌガ、次ハ魚ガ大分此ノ頃  
能ク氣ヲ付ケマシテ、左様ナコトノナイヤ  
ウナ風ニ、中央トシテ盡スダケノコトハシ  
タイト思ヒマス、尙ホ此ノ種ノコトハ若シ  
願ヘレバ地方ニ於テ解決ガ付カナイモノダ  
ラウカト云フコトヲ、私共ノ感想トシテハ  
持ツテ居ル譯デアリマシテ、併セテ申上ダ  
ル次第デアリマス

ウ致シマスト、是ハ政府ガ取締ラレ、バ、  
油ガナイノヂヤナ、サウヤツテアルノデ  
スカラ、其ノアル油ヲ政府ノ所謂管理如何  
ニ依ツテハ、モツト魚ガ公定價格ト云  
ヒマスカ、潤澤ニ各家庭ニ廻ルノデハ  
ナカラウカ、魚ノ問題ニ付テモ色々施  
策ヲ講ジナケレバナリマセヌガ、其ノ  
一ツシテ油ニ對シテ農商省當局ノ御配  
慮ガアツテ然ルベキダト私ハ考ヘマス、此  
ノ油ニ對シテ將來何カツ政府ノ御考ヘト  
云ヒマスカ、御計畫ガアリマスレバ、此ノ  
際伺ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 御話ノ如ク現在漁業用ノ  
燃油ノ從來ニ比較シマシテ非常ニ減ツテ居  
リマスコトガ、水產ノ增産ノ上ニモ、又全  
國漁民ノ生產活動ノ上ニモ非常ナ困難ナ問  
題ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ場合我  
我ト致シマシテハ、國全體ノ戰爭遂行上ノ  
觀點カラ、許サレル限リニ於キマシテ成ベ  
ク、國民榮養食糧タル水產ノ確保ノ爲メデ  
アリマスカラ、油ノ供給ヲ少シデモ潤澤ニ  
致シタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、其ノ方  
面ニ於テモ絶エズ努力ヲ致シテ居ル譯ニア  
リマス、尙ホ一面ニ於キマシテ、油ノ代用  
燃料ヲヤハリ漁船ニ於テモ使フベク、豫テ  
代用燃料裝置ノ漁船ヘノ取付ニ付キマシテ  
助成ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、  
尙ホ今御話ノ極ク限ラレタル油ノ產地方面  
ニ於ケル問題ニ付キマシテ、我々ト致シマ  
リマス

○高岡委員 話ハ大分飛ビマスガ、政府デ  
八帝都空襲必至ト云フコトヲ申サレテ居リ  
マス、戰局ノ推移如何ニ依ツテハ或ハ帝都  
ハ空襲サレルカモ知レマセヌ、其ノ空襲サ  
レタ場合ニ東京ガドウナルグラウカト云フ  
ヤウナコトハ、内務省ノ政府委員ガ御見ニ  
ニナツタ上デ御聽キ致シマスガ、其ノ時此  
ノ都會カラ避難トデモ言ヒマスカ、帝都方  
ラ参リマス所ノ地方ニ於ケル米穀ノ食糧問  
題ハドウナルカ、私ハ昨年七月東京ヲ引拂  
ツテ郷里ヘ歸ツタノデアリマスガ、供出モ  
大分致シマシタ爲メカ、私等家族數人ノ者  
ガ一箇月足ラズ滯在スルノニ對シテ、兄ノ  
家ノ下男ガ分家ヲズツト少シヅ、徵發シテ  
來ナケレバ、我々家族ノ食糧ガナイト云  
フ程、相當窮屈ニナツテ居リマスノデ、サ  
ウシタ場合ニ於ケル帝都ノ方ハ兎モ角トシ  
マシテ、地方ノ食糧問題ノ面ニ付テ農林當  
局ノ御所見ヲ一ツ伺ヒタイトノデアリマス  
○石黒政府委員 都民ノ地方分散、殊ニ今  
御話ノヤウナ非常ノ事態ニ於キマシテ地方  
ニ分散致シマシタ場合ノ食糧ノ供給ニ付キ  
マシテハ、勿論萬全ヲ期シテ居リマス、御  
說ノヤウニ、大陸地方ニ於キマシテハ或ル  
程度ノ食糧ハ常時デゴザイマスルシ、ソレ  
カラ今ノ御話ノヤウナコトニ依リマシテ人  
口ガ増加致シマシタヤウナ場合ニ於テハ、  
農村電化乃至農村工業化ト言ヒマシテモ、  
戰時下デアツテ色々ノ面ガ窮屈ダ、斯ウ  
仰シヤルカ知リマセヌガ、是ハ私考ヘヤ  
ウニ依ツテハ出來ルト云フヤウナ氣ガ致シ  
マス、ソレハ今各地デ輕工業ノ企業整備ヲ  
ヤツテ居リマス、此ノ企業整備ニ依ツテ二  
三馬力ノ「モータ」ト云フモノガ大分浮イテ  
居リマス、而モ機屋サンニアリマス「モ  
ター」デアリマスト、「ベルト」ガ大變數ガ多イノ  
デアリマスカラ、之ヲ農村ニ持ツテ行キマ  
スニハ恰好ノ代物デアリマス、之ヲ農村ヘ  
持ツテ行キマスト、去年ノ秋ノ供出ニハ勞  
力ノ不足カラ大分斯ウシタコトガ問題ニナ  
ツタノデアリマスガ、サウ云フモノガ全般  
的ニ普及サレテ居リマス、併シ其ノ補  
給金ナルモノハ信用組合ヘオ預ケト言ヒマ  
スカ、貯金サセラレテ二箇年ノ据置デアリ  
マス、一方農民ノ支出ガ非常ニ多イ、手持  
チニハナイ、借りナケレバナラヌ、自分デ  
補給金ヲ貯金シテ置キナガラ、一方ニ於テ  
借リナケレバナラヌ、預入レル利子ト借入  
レル利子ニ非常ニ差ガアルト云フコトガ言  
ハレテ居ルノデアリマスガ、日常生活ノ贊  
澤面ニ於テ金ガ要ルカラト言フノデ補給金  
ヲ取下ゲルト云フコトハ、是ハ考ヘナクテハ  
イケナイデアリマセウ、併シ公債ヲ買フト  
カ乃至ハ貯金ヲスルトカ、乃至ハ肥料ヲ買  
品工場ニ返セバ濟ム譯デアリマス、此ノ農  
村ノ工業化ト言ヒマスカ、電化ト言ヒマス  
カ、サウシタ面ニ付テノ農商省當局ノ方ノ

○高岡委員 此ノ人口疎開ノ問題ハ内務省  
ノ方ガ見エテカラノコトニシマシテ、次ノ  
事項ヲ飛ビノニ御尋ネ致シタイト思ヒマ  
ス、是ハ最初ニ私ガ食糧問題ニ付テ御尋ネ  
致シマシタガ、結局増産シナケレナラバヌ、  
此ノ増産ノ面ニ付テ農村ノ工業化、農村  
電化ト言ヒマスカ、此ノ問題ハ軍需省ノ方  
ガ見エテカラ御尋ネシタイト思フノデアリ  
マスガ、此ノ問題ニ對シテノ農商省關係ノ  
點ヲ、石黒次官ニ御尋ネ致シマス、ソレハ  
農村電化乃至農村工業化ト言ヒマシテモ、  
戰時下デアツテ色々ノ面ガ窮屈ダ、斯ウ  
仰シヤルカ知リマセヌガ、是ハ私考ヘヤ  
ウニ依ツテハ出來ルト云フヤウナ氣ガ致シ  
マス、ソレハ今各地デ輕工業ノ企業整備ヲ  
ヤツテ居リマス、此ノ企業整備ニ依ツテ二  
三馬力ノ「モーター」ト云フモノガ大分浮イテ  
居リマス、而モ機屋サンニアリマス「モ  
ーター」デアリマスト、「ベルト」ガ大變數ガ多イノ  
デアリマスカラ、之ヲ農村ニ持ツテ行キマ  
スニハ恰好ノ代物デアリマス、之ヲ農村ヘ  
持ツテ行キマスト、去年ノ秋ノ供出ニハ勞  
力ノ不足カラ大分斯ウシタコトガ問題ニナ  
ツタノデアリマスガ、サウ云フモノガ全般  
的ニ普及サレテ居リマス、併シ其ノ補  
給金ナルモノハ信用組合ヘオ預ケト言ヒマ  
スカ、貯金サセラレテ二箇年ノ据置デアリ  
マス、一方農民ノ支出ガ非常ニ多イ、手持  
チニハナイ、借りナケレバナラヌ、自分デ  
補給金ヲ貯金シテ置キナガラ、一方ニ於テ  
借リナケレバナラヌ、預入レル利子ト借入  
レル利子ニ非常ニ差ガアルト云フコトガ言  
ハレテ居ルノデアリマスガ、日常生活ノ贊  
澤面ニ於テ金ガ要ルカラト言フノデ補給金  
ヲ取下ゲルト云フコトハ、是ハ考ヘナクテハ  
イケナイデアリマセウ、併シ公債ヲ買フト  
カ乃至ハ貯金ヲスルトカ、乃至ハ肥料ヲ買  
品工場ニ返セバ濟ム譯デアリマス、此ノ農  
村ノ工業化ト言ヒマスカ、電化ト言ヒマス  
カ、サウシタ面ニ付テノ農商省當局ノ方ノ

○石黒政府委員 只今ノ御話ノコトハ私共モ左様ニ存ズルノデアリマス、其ノ程度ノコトニハ行ツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、若シ左様ナ風デナイト致シマスレバ、尙ホ貯蓄獎勵ノ方面ノ當局トモ、能ク相談ヲ致シテ見タイト存ジマス、サウシテ今ノ御話ノヤウナコトニハ處置ノ出来ルヤウニ致スノガ至當デハナイカト私共モデアリマス、適當ノ機會ニ讓ツテ下サイマセヌカ

○深澤委員長 高岡サン、先程御要求ノ防空總本部局長、軍需省ノ政府委員ハ貴族院ノ關係デコチラヘ出ル時間ガナイト云フコト存ズルノデアリマス

○高岡委員 畏マリマシタ、其ノ問題ハ保留致シマス、ソレナラバ時間モ參リマシタカラ、大體私ノ質疑ヲ終リマスガ、今仰シヤツタヤウニ中央デハ決シテ國民ガ困ルヤウナコトハ、毛頭御考ヘニナツテ居ラナイノデアリマスガ、ドウモ末端ヘ行キマスト、中央カラノ命令ヲ非常ニ堅ク受入レマスノデ、大分色々々ノコトガアリマス、此ノ點一ツ十分御配慮ニ預カツテ、昨日モ御答辯ガアリマシタヤウニ嚼ンデ含メルヤウニ、十分懇切丁寧ナ指令ト言ヒマスカ、指揮ヲ執ラレンコトヲ切望シテ已ミマセヌ、日本ノ農民ハ此ノ日本ニ生レタ幸福ヲ感じ、祖先ノ遺シタ美田ヲ更ニ耕シテ、之ヲ子孫ニ遺別ニ信用組合カラ借リルト云フコトニシナイデ、其ノ補給金ノ所カラ其ノ儘ソレダケノ金額ヲ受取り得ルト云フヤウニ、一ツ御配慮ニ預リタイト思フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

スト云フ所ニ日本ノ農民道ガアリ、ソレ故ニコソ朝ハ早クカラ夜遲クマデ、孜々營々トシテ働イテ居ルノデアリマシテ、決シテ割増金ト力賞與トカ恩給トカ云フモノヲ目掛ケテ、農民ハ農民生活ヲ送ツテ居ルノデハアリマセヌ、若シモ此ノ日本ノ農民道ガ廢類スルヤウナコトガアリマスレバ、國家ノ一大事デアリマス、ドウカ一ツ農村問題ニ言ハレテ居ル今日、十分農山漁村民ニ對シ付キマシテハ農民ノ氣持ヲ十分御考へ願ヒマシテ、今日ノヤウニ食糧問題ノ大切ナ、食糧ハ兵器ニシテ農場ハ軍需工場ダトサヘ言ハレテ居ル今日、十分農山漁村民ニ對シテノ親心ノ行政ヲ切望シテ私ノ質問ハ是デ終リマス、尙ホ一ツ申上ゲマスガ、例ノ軍需省ト内務省ノ關係ハ後程政府委員ノ見エマシタ時ニ發言ヲ御許シ願ヒマス  
○深澤委員長 是デ休憩致シマス、午後一時ヨリ再開致シマス  
○深澤委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ  
マス——北勝太郎君  
○北(勝)委員 私ハ農商當局ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス、食糧生産ノ重大要素デアル農業勞力ハ、是ハ今後益々行詰ツテ來ルト云フコトハ必然デアルト思ヒマス、又決戦段階ニ入りマシタ今日ニ於テハ思ハザル變化モアリ勝チデアラウコトハ、今日カラトガ生ジテモ斷ジテ手違ヒヲ來タサナイヤ豫期シナケレバナラヌコトデアルト思フノデアリマス、此ノ対策ハ必ズシモ過去ノ例ヲ以テ之ヲ律スル譯ニハイカヌ、ドンナコトガ生ジテモ断ジテ手違ヒヲ來タサナイヤウナ十二分ノ用意ガ要ルト思フガ、之ニ付テ農林當局ハ此ノ問題ニ對シテ如何ナル新テ打タレル積リデアルカ、之ヲ伺ヒタイ

ノデアリマス、更ニ時間ノ關係デ引續キ御尋ネシテ置キタイノデアリマスガ、此ノ農業労力ノ問題ニ關シマシテハ昨日カラ各委員諸氏ガ隨分述ベラレテ居リマスガ、ソレ以外デ私ノ氣付イタ一、三ノ點ヲ此處デ伺ツテ見タイト思ヒマス、食糧ノ重要性ニ付キマシテハ、今日誰モ知ラヌ者ハナイ、又之ヲ叫バナイ者ハナイ有様デアリマシテ、卑近ナ例デアリマスガ、昨今三人寄レバ其ノ人ノ話題ノ七、八分マデハ此ノ問題デ持切リデアルト云フヤウナ状況デアリマス、殊ニ都市ニ於テハ此ノ話ガ極メテ深刻ナルモノガアルノデアリマス、而モ今後起ルベキ色々ナ惡條件ヲ考慮ニ入レマスルト、是ハ何人ト雖モサウ簡單ナコトデナイ位ノコトニハ分ツテ居ル筈ダト思フノデアリマス、昨日モ石黒次官ノ御答辯ニモアリマシタ通り、食糧ハ國民全體ガ決死ノ努力ヲスルコトニ依ツテ初メテ安全デアリ、大丈夫ニナルノデアリマス、サウ云フヤウナ状況デアルニ拘ラズ、此ノ場合農民以外ノ者デ、應急的ニデモ、サウ云フ大事ナ問題デアルカラ、自ラ手ヲ下シテ直接ニ食糧生産ヲシヨウト云フ者ガ一向見當ラナイ、是ハ或ハ國民ノ大部分ハ、今後モ百姓ヲ鞭撻サヘスレバ今マデ通リノ食糧ガ生産サレル、斯ウ思ツテ居ルノデハナカラウカ、或ハサモナケレバ、バカリ依存スル所ノ考へカラ來テ居ルノデスウ云フ大事ナ問題デアルカラ、政府ガ放ハナカラウカ、尤モ重要ナ工業ヤ、重要なコトハ當然デスガ、併シナガラ其ノ他ノ部職域ニ從事シテ居ル人々ニハ、是ハ一心不亂ニ他ヲ顧ズヤツテ貰ハナケレバナラナイ

門ニ於ケル比較的重要ナラサル立場ニアリ  
人達マデモ之ニ便乗シテ、サウシテ呑氣ニ  
構ヘテ居ラレテハタマラスト思フノデアリ  
マス、人ハ生キテ居ル以上ハ食ハナケレバ  
ナラナイ、自分ノ食物ハ自分で保障出來ル  
ヤウニ、自ラ耕作スルノデナケレバ相濟マ  
ヌト云フ積極的ナ考へ方ガ此ノ際當然起ラ  
ナケレバナラヌ、又起サナケレバナラヌ、  
斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマス、  
然ルニ是等ノ人々ハ餘リ呑氣過ルヤウデア  
リマスガ、此ノ點ニ付テ、因ヲ來ル原因ガ  
那邊ニアルカ、之ヲ探究シナケレバナラヌト  
思フノデアリマス、當局ハ之ニ對シテ、之ヲ  
如何ニ見、且ツ之ニ對シテ如何ナル用意ヲ持  
ツテ居ラレルカ、之ヲ一ツ承ツテ置キタイ  
其ノ第一ハ、労力ノ給源トシテ著眼シナ  
ケレバナラヌモノハ、私ハ今度ノ都市疎開  
ト市民ノ農村移住ト云フコトデアルト思フ  
ノデアリマス、疎開ハ飽クマデモ生產的ノ  
疎開デナケレバナラヌ、即チ市民ノ中ノ先  
程モ申シマシタヤウニ比較的重要ナラザル  
立場ノ人々ノ收容地ハ之ヲ農村ニ選ブト云  
フコトガ大事デアル、殊ニ東北、北海道ノ  
ヤウナ人口ノ少い所ヲ選ンデ、半バ是ハ強  
制的ニヤラナケレバ出來ヌト思フノデアリ  
マスガ、サウ云フヤウナ應急的ナ處置トシ  
テ強制的ナ移住ヲサセルト云フコトガ必要  
デアルト思フノデアリマス、疎開ハ能フベ  
クンバ即刻行フベキデアル、是ハ單ニ防空  
ヤウナ各種ノ立場カラ見テ、是ハ一石二鳥  
食糧戦ニ勞力ヲ補給スルト云フ上カラモ、  
食糧其ノ他ノ都市ヘノ輸送量ノ減少ト云フ  
リマス、此ノヤリ方トシテハ、丁度軍隊ノ

各町村ニ割當テル、サウスルコトガ最  
モ手取り早ク解決付クト思フノデアリ  
マス、割當テラレタ町村長ハ、企業整備ノ  
結果農村ノ市街地ニハ隨分空イテ居ル家ガ  
アル、或ハ又部落ノ集會所、或ハ農村ニ澤  
山アル各寺院等ノ利用、斯ウ云フコトハ、  
勿論場合ニ依レバ、廣イ家ヲ持ツタ農家  
ニ割當テ、モ宜イ、サウ云フコトモ出來  
ルト思フノデアリマス、農業勞力ト云フ  
モノハ、是ハ私ガ申スマデモアリマセヌガ、  
特ニ都會ニ於ケル婦女子ヤ或ハ老人、或ハ  
子供ノ力マデモ活用出來ルノデアリマスカ  
ラ、是コソ所謂一億戰鬪配置ニ就クモノデ  
アルト深ク信ズルノデアリマス、前線デ屢  
テ戰フ、是ガ爲ニ自分等ノ持ツテ居ル勞働  
内モ戰線デアルト云フ言葉ニ相應ハシク、  
婦人モ、老人モ、子供モ、齒ヲ食ヒシバツ  
崇高ナル玉碎ノ悲報ヲ聞ク度ニ、我々ハ國  
力ヲ最大ニ強化シナケレバナラスト思ヒマ  
ス、鐵ハ熱シタ時ニ打タナケレバイケナイ、  
此ノ機ヲ逸シテハナラスト思フノデアリマ  
シテ、此ノ點ニ對スル政府ノ用意ヲ伺ツテ  
置キタイト思フノデアリマス

マス、此ノ際是等ノ人達ノ一大奮起ヲ促シ  
マシテ、其ノ勞働力ヲ更ニ強化シマシタナ  
ラバ、生産ノ増強ノ面トナル點ガ少クナイ  
ノデアリマシテ、此ノ點ニ對スル政府ノ御  
所見モ伺ヒタイト思フノデアリマス、私ハ  
先づ是等ノ非農家ガ從來行ツテ居タ所ノ勞  
力奉仕、此ノ勞働力奉仕ト云フヤウナ觀念ハ  
今一步進メナケレバイカヌ、今勞力奉仕ト  
云ツテ居リマスガ、御手傳ヒダト考ヘテ居  
ル面ガ少クナイト思フノデアリマシテ、私  
ハ出來得ベクンバ是等ノ人達ハ、自分ノ食  
糧位ハ自分で自ラ耕作スルヤウニアリタイ、  
其ノ意思サヘアレバ方法ハ幾フモアル、是  
ハ町村ノ農業會等ニ御詰ニナレバ、幾ラモ  
方法ハアルト思フ、現在勞力不足ノ爲ニ土  
地ガ荒レテ行ク面ガ澤山アルノデアリマス、  
縱ンバ荒レナイマヂモ耕作ガ粗笨ニナツテ  
收穫ガ減ルト云フ面ガ澤山アルノデアリマ  
スカラ、ソコデ是非之ヲサウ云フ工合ニシ  
タイ、又併シソレデモサウ云フコトガドウ  
シテモ出來ナイ人達ノ勞働力ト云フモノヲ  
更ニ有效ニ使フ爲ニ、今後ノ食糧戰ニ有效  
ニ使フト云フ爲ニ、一番良イ方法ハ、ソレ  
等ノ人達ノ仕事ヲスル場所、或ハ毎日ノ勞  
働デモ宜イノデアリマスガ、其ノ毎日ノ勞  
働ヲ一ツ當面ノ生産責任者デアリマス町村  
農業會ニ自發的ニ一任サセル、自分ノ勞働  
力ハ帳面ニ付ケ出シテ置イテ、サウシテ每  
日農業會ノ指圖ニ依ツテ最モ有效ニ之ヲ働  
カセルト云フコトガ必要デアルト思ハレル  
ノデアリマス、此ノ點ニ關スル御意見ヲ承  
リタイ

謂高等ナ野菜等ノ栽培ヲ禁止スル考へハナカニ、既ニ西瓜、「メロン」等ニ付テハ禁止サレテ居ルガ、是ハ所謂贅澤禁止ト云フヤウナ意味デアツテ、必ズシモ労力關係カラ作ヲ禁止スル、或ハ制限スルト云フヤウナコトガ此ノ際必要ダト思フ、平時ナラバ生活ノ裕リト云フヤウナコトヲ言フノデアリマスガ、此ノ場合生活ノ裕リト云フヤウナコトハ犠牲ニシナケレバナラヌノデアリマシテ、小サイヤウダケレドモ、是ハ我々農村ニ居ル者トシテハ大キイ影響ガアルノデアリマス、所謂儲カルト云フト近頃流行スル闇デ出スト云フヤウナコトガアル、サウシテ農村ノ労力ヲ攬亂スルト云フヤウナ結果ニ陥ツテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ問題ニ付テモ一ツ承ツテ見タイト思フノデアリマス、以上四ツノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

農家ノ農村ニ對スル勤勞奉仕ヲ益計画的ニ  
且ツ組織的ニ活カスヤウニ致シマシテ、其  
ノ能率ヲ向上サセ、有效ナル勵キヲシテ貴  
フト云フコトニ努メタイト思フノデアリマ  
ス、尙ホ農村ニ於ケル農業勞力ノ能率ヲ高  
メマス爲ニハ、今日資材ノ乏シイ折柄デハ  
アリマスケレドモ、出來得ル限リニ於テ必  
要ナル農機具ノ確保ヲ圖リ、或ハ先程來他  
ノ委員ノ御質問ノ中ニアリマシタヤウニ、  
便宜ナ所ニ於テハ農村ノ電化ノ普及ヲ圖リ  
マシテ、能率ヲ高メルヤウナコトヲ致ス、  
特ニ又是モ他ノ委員ノ話ニアリマシタヤウ  
ニ、近來ニ於ケル農村勞力ノ寧ロ過半トモ  
言フベキモノハ女子勞力ニアルノデアリマ  
シテ、此ノ女子勞力ヲ今後愈々農業ノ上ニ有  
效ニ働イテ貴フベク此ノ女子ノ鍛成、或ハ  
或ル種ノ作業ニ付テノ女子作業ノ訓練ト云  
フヤウナコトモ進メテ參ル、例ヘバ馬耕ノ  
如キ作業技術ニ付キマシテ女子ノ訓練ヲ致  
シテ參ルト云フ風ニ致シタイト思フノデア  
リマス、尙ホ今回ノ追加豫算ニ於キマシテ、  
食糧増産隊三萬人ノ編成ト云フモノヲ計上  
致シテ居リマスガ、是ハ此ノ十八年度ニ於テ全  
國ニ亘リ約四千名ノ増産隊ヲ編成致シタノ  
デアリマスガ、之ヲ一舉今回三萬人程度ニ  
殖ヤシタイト云フ風ニ計畫致シテ居ルノデ  
アリマス、大體ニ於テ從來カラ農村ニアル  
人々ヲ以テ結集スルノデアリマスガ、農村  
ニ於ケル例ヘバ先般來致シテ居リマス土地  
ナイト思ハレルヤウナ事柄ガ所々ニアル譯  
デアリマスガ、左様ナ方面ニ茲ニ一ツノ纏  
ルノデナケレバ、之ヲ實現スルコトガ出来  
ツタ労力ヲ集中致シマシテ、其ノ打開ヲ圖

ルト云フヤウナコトニ使ヒマスニハ、斯クノ如キ相當數ノ人ヲ以テ致ス所ノ隊組織ト云フモノガ有效デアルト云フコトヲ考ヘラレルノデアリマシテ、其ノ意味合ニ於キマシテ只今御話シタヤウニ、今回此ノ規模ヲ大イニ擴大致スコトニ致シタヤウナ譯デアリマス、農家相互間ニ於ケル移動労働等モ豫テ致シテ居ル所デアリマスガ、ソレ等ノ事柄ハ一面從來カラノ施設デハアリマスケレドモ、ソコニ今申シマシタヤウナ多少ノ新シイコトモ加味致シマシテ、此ノ際勞力ノ確保ニ努メテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

次ニ段々ノ御質問デアリマシタガ、第一點ノ都市等ニ於ケル農民以外ノ者ガ食糧増産ニ農民ト其ニ決死ノ努力ヲ拂フ必要ガアル、之ニ對シテドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ御話デアリマスガ、最近ニ於キマシテハ、農村ノ農繁期ニ都市ノ方カラ勤労報國隊其ノ他ノ編成、或ハ左様ノ隊組織ニ依ラズシテ農村ノ所謂手傳ヒニ出ル者ガ相當アルノデアリマスガ、ソレハソレトシテ今後益々ヤツテ貰フヤウニ努メテ參ル積リデアリマスガ、尙ホ都市其ノモノニ於キマシテモ、出來ル限り食糧ヲ生産シテ參ルト云フコトガ必要ト考ヘラレルノデアリマス、例ヘバ大都市ニ於キマスル蔬菜ノ供給確保ト云フコトニ付キマシテハ、一面ニ於テ都市近傍ニ當局トモ話合ツテ居ルノデアリマスガ、都シテモ、農商省ト致シマシテハ今後更ニ積極的ニ計畫的ニ一ツ指導ヲ地方當局ト共々

ニ加ヘテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リ  
マス、例ヘベ蔬菜ノヤウナモノハ、御承知  
ノヤウニ一年ノ期間ヲ見渡シテ見マスト、  
或ル時期ニハ相當ニ農村デ生産サレテ入ツ  
テ來ルノデアリマスガ、或ル時期ニハ所謂  
端境期デ割合少イト云フヤウナコトヲ見究  
メマシテ、寧ロ都市住民ヲシテ自ラ或ル程  
度ノ生産ヲ致シテ參ルト云フヤウナコトニ  
ナリマスヤウナツノ指導ヲ加ヘテ行クト  
カ、或ハ又作物ノ種類ニ依リマシテハ、何モ  
纏マツタ群地ト云フヤウナモノデナクテモ、  
家ノ間ノ僅カバカリノ空地ヤ何カデモ利可用  
シマシテ、相當有效ニ生産ノ舉ゲラレルヤ  
ウナ種類ノモノモアルノデアリマスガ、サ  
ウ云フヤウナモノニ付テ、種子ノ配付デア  
ルトカ其ノ他適切ナル指導ヲ加ヘマシテ、  
サウシテ出來ル限り平生ノ暮シノ合間々々  
ニ食糧ノ生産ノ出來ルヤウナ風ニ積極的ニ  
一ツ指導ヲ加ヘテ行キタイト云フコトデ今  
色々ト相談モ致シテ居ルヤウナ次第デアリ  
マス

農村ニ於ケル非農家ノ勤員ノコトニ付キ  
マシテハ、或ハ燈臺下暗シト云フカ、餘り  
農村自體ニ入ツテ居ルガ爲ニ却テ十分農業  
ノ上ニ使ハレナイト云フヤウナコトモアラ  
ウカト思ハレルノデスガ、御承知ノヤウニ  
一般ノ勤勞動員或ハ其ノ方法トシテノ勤勞  
報國隊ノ活動ト云フヤウナ仕事ノ進メ方ノ  
上ニ於キマシテモ、農村ニ於ケル人々ノ  
勤勞ヲ農業ノ上ニ用ヒルコトハ尤モ手近カ  
デアツテ有效ナ譯デアリマスノデ、此ノ方  
面ノ事柄ニ付キマシテモ、一般勤勞ノ擔當  
當局トモ十分相談ヲシテ參リダイト存ジマ  
ス

モノモ比較的少イノデアリマス、ケレドモ、  
鬼ニモ角ニモ單リ御話ノ勞力ノ面カラバカ  
リデナク、耕地ノ關係カラ言ヒマシテモ、  
今後相當斯ウ云方面ニ付テ規正ヲ加ヘテ行  
ク必要ガアル、其ノ規正ノ方法トシテハ或  
ハ御話ノヤウナ絶對禁止ノ方法ヲ執ルカ、  
或ハ價格的ナ措置ヲ講ズルカ、或ハ又特殊  
ナ作物ニ付テハ、例ヘバ地方長官ノ特別ノ  
許可ヲ要スルト云フヤウナ方法ヲ執ルカ、  
色々ゴザイマスガ、何レニ致シマンシテモ、  
今日ノ段階ト致シマシテハ、御話ノヤウナ  
方同ニ進ムベキモノダト我々モ考ヘテ居ル  
譯デアリマス、此ノ點ニ付テハ十分御意見  
ノ點ヲ考慮致シテ參リタイト考ヘマス

○北(勝)委員　内務省ノ方ガ見エテ居ルサ  
ウデアリマスカラ、其ノ方ヲ先ニ御伺ヒ致  
シマス、北海道ニ於ケル土功組合乃至水利  
組合ニ付テニアリマス、土功組合ノ救濟ハ  
多年ノ懸案デアツタノデアリマスガ、今回  
ハ北海道長官ヲ初々、政府當局ノ多大ナ御  
盡力ニ依ツテ解決ノ曙光ヲ見出シタヤウデ  
アリマシテ、洵ニ國家ノ爲御同慶ニ存ズル  
ノデアリマスガ、唯此ノ際私ノ伺ツテ置キ  
タイコトハ今度ノ救濟ニ依リマスト、其ノ  
對象ニナツタ組合ガ八十餘ノ組合ダト云フ  
コトデアリマス、其ノ中ニハ水田ニ適シナ  
イ地帶デ之ヲ畑ニ還元セシムルモノ、或ハ  
シタ八十幾組合ノ外ニモ同ジヤウナ條件ノ  
組合ガ相當アル、例ヘバ一組合全部デハア  
リマセヌガ、其ノ中ノ三分ノ一ナリ、四分  
ノ一ナリガ非常ナ冷濕地デアツテ、對象ニ  
ハサレテ居ナイガ、今對象ニサレテ居ル組

合ト何等選ブ所ノナイ組合ガアリ得ル譯デ  
アリマス、斯ウ云フヤウナモノニ對シマシ  
テハ、今度ノ豫算ノ施行上ニ於テ、地方長  
官等ニ彈力性ヲ持タセテ、限定期サレタ八十  
組合ニ限ラズ、將ニ荒廢ニ瀕シヨウトスル  
モノガアルナラバ、之ヲ一ツ助ケテ、米ノ  
生産ヲ増強サセルト云フ工合ニサセテ貰フ  
コトガ出來ルノデアルカドウカ、此ノ點ヲ  
一ツ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○深澤委員長 只今ノ質疑ニ對シテハ内務  
省ノ沼越説明員答辯致シマス

○沼越説明員 只今ノ北議員ノ御尋ネニ御  
答へ致シマス、御話ノヤウニ北海道ノ土功  
組合ノ更生ヲ圖ルト云フコトハ北海道トシ  
テ多年ノ懸案デアリマシテ、昭和二十年度  
ノ豫算カラ根本的ナ更生ヲ圖ツテ行ク緒ガ  
付イタト考ヘテ居リマスガ、御話ノヤウニ  
北海道ノ土功組合ハ其ノ創立ノ當初カラ若  
干見込ニ違ツタ點モアルト思ヒマスルシ、  
其ノ後連年凶作ヤ不作ガ繰返シテ襲ツテ參  
ツタト云フヤウナ事情カラシテ經營困難ニ  
陷ツテ、相當多額ノ負債ニ困ツテ居ルヤウ  
ナ實情ニアルノデアリマス、勿論一ツノ組  
合ノ中ニ相當立派ナ土地モアリマセウシ、  
場合ニ依リマシタラ水田ニハ不適當ナ土地  
ヲ澤山持ツテ居ル組合モアルト思フノデア  
リマスガ、差當リ二十年度以降カラ更生ヲ  
圖ツテ行キタイト思ヒマスルノハ、一組合  
ノ中デ非常ニ澤山ナ部分ガ斯様ナ不適當ナ  
耕地ヲ持ツテ居リマスヤウナ組合カラ漸次  
助成シテ行ク、併シ第一期ノ計畫ニ於テ全  
部不適當ナ土地ノ更生ヲ圖ツテ行クト云フ  
コトハ、豫算ノ關係カラシテ困難ガ伴ツ  
テ居ルノデアリマシテ、一ツノ土功組合ノ  
中デ左様ナ不適當ナ耕作地ヲ持ツテ居リマ

スモノノ多イモノカラ逐次是ガ更生ヲ圖ツ  
テ行キタイ、斯ウ云フヤウナ趣旨ニ於キマ  
シテ本年度以降ノ豫算ヲ計上シテ居ル譯デ  
アリマス

○北(勝)委員 重ネテ御伺ヒシマスガ、實ハ  
豫算ノ關係デ最初カラ全部出來ヌト言ハレマ  
スガ、サウ云フヤウナ土地ハ相當今離農者  
ガ出來掛ツテ居ル、此ノ決戰段階ニ於テソ  
レヲ防グコトガ出來ナイト云フト、漸クノ  
食糧對策モ實ハ六萬十菊ニナツテシマフノ  
デアリマシテ、出來得レバ地方長官等ハ其  
ノ内容ハ分ルノダカラ、一ツ八十組合ノ外  
ニモ斯ウ云フモノガアルナラバ、應急策ト  
シテ此ノ豫算ノ範圍内ソレモ救濟シテ、  
ミスヽ目ニ見エタ離農ヲサセヌト云フコ  
トガ所謂決戰段階ニ於ケル行政措置デハナ  
イカト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ關シ  
マシテモウ一應御考ヘラ願ヒマシテ御答辯  
ヲ得タイト思ヒマス

○沼越説明員 重ネテ御答ヘ申上ゲマス、  
只今御説明申上ゲマシタノハ、土功組合自

體ガ非常ニ經營困難ニ陥ツテ居ル、之ヲ政  
府ノ力ヲ以テ更生ヲ助ケテ行キタイト云フ

點カラ申上ゲマシタノデ、他ノ方面ニ於キ  
マシテ御存ジノヤウニ土地改良ノ問題ガ全

國ニ亘ツテ行ハレテ居リマス、北海道ニ於  
キマシテモ農商省ノ第二次ノ食糧增產對策

ト相呼應致シマシテ、五箇年計畫ヲ以テ現

ニ土地改良ヲ實施シツ、アルノデアリマス  
ガ、斯ウ云フ點ニ於キマシテモ土功組合ノ

一部ノ土地ガ更生シテ行クコトガ考ヘラレ  
ルノデアリマス、他ノ方面ニ於キマシテ

作農ノ創設ヲ圖ツテ行クト云フヤウナ問題  
ニシマシテモ、勿論此ノ戰時下ノ增產ニ付

スガ、自作農ヲ擴張シテ參リマスコトハ此  
方面カラ更生ヲ考ヘラレル場合モアルト思  
ヒマスガ、御説ノ通り全體ニ於テ低位生產  
ノ土地ヲ持ツテ居リマスル組合、或ハ農家  
ガ出來掛ツテ居ル、此ノ決戰段階ニ於テソ  
レヲ防グコトガ出來ナイト云フト、漸クノ  
食糧對策モ實ハ六萬十菊ニナツテシマフノ  
デアリマシテ、出來得レバ地方長官等ハ其  
ノ内容ハ分ルノダカラ、一ツ八十組合ノ外  
ニモ斯ウ云フモノガアルナラバ、應急策ト  
シテ此ノ豫算ノ範圍内ソレモ救濟シテ、  
ミスヽ目ニ見エタ離農ヲサセヌト云フコ  
トガ所謂決戰段階ニ於ケル行政措置デハナ  
イカト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ關シ  
マシテモウ一應御考ヘラ願ヒマシテ御答辯  
ヲ得タイト思ヒマス

○北(勝)委員 土功組合ハ御承知デモアリマ  
セウガ良イ土地モ惡イ土地モ均等賦課ナノ  
デアリマス、大體土功組合ガ良イ土地ノ多  
マス、併シ是モ時代ノ推移ト共ニ過去ノモ  
イ所ハ救濟シナイト言ハレルコトハ是ハ不  
均等賦課ノヤレル場合ノ話デアツテ、均等  
賦課ヲ原則トシテ居ル今日ニ於テハソレハ  
不可能ナコトデアル、ソコデ土功組合自ラ  
サウ云フモノヲ救ウテ行ク途ハナインデア  
リマス、更ニ土地改良ノコト、自作農ノコ  
ト、是ハ當然ノ仕事デアリマスガ、併シ土  
地改良ノ如キハ是ハ半永久的ノ仕事デアツ  
テ、サウ全耕地面積ニ對シテ一遍ニヤレル  
モノデハナイ、或ハ五年ト言ハレマスガ、  
五年デ土地改良ガ終ルモノデハナイノデア  
リマシテ、而モサウ云フヤウナ惡イ土地ハ  
リマスガ、ソレガ爲ニ或ハ團體個人主義ニ  
陷ツタト云フヤウナコトモアリマス、ソレ  
ガ爲ニ又對立觀ヲ醸成サシタコトモアツタ  
ノデアリマスガ、ソレハ兎ニ角トシテ、產  
業組合ニハ共存同榮ト云フ指導精神ノハツ  
キリシタモノガアツタノデアリマス、新時  
代ノ要求ニ從ツテ生レ來マシタ農業會ニハ  
如何ナル指導精神、如何ナル旗幟ヲ以テ進  
展キタイト思ヒマス、ソレト同時ニ新時代  
ノ商業組合ニ指導精神、旗幟、是モ同じ意  
味ニ於テ承ツテ見タイト思ヒマス

○石黒政府委員 御話ノ農業會ノ指導精神  
ノ範圍内ニ於テ地方長官ニ其ノ活用ヲサ

セル、豫算ノ執行ヲ活用サセテ、減產ニナ  
ラスヤウニサセルト云フコトハ當然ヤラナ  
ラレルノデアリマシテ、斯様ナ一般農林行

政上ノ施策モ加味サレテ參リマシテ、他ノ  
ノ點ニ於キマシテ非常ニ效果ガアルト考ヘ  
ニ付テ、此ノ問題ハ戰時下ノ增產ノ要請ト  
睨ミセテ十分ナ考慮ヲ拂フ必要ガアルト  
考ヘテ居リマス

○北(勝)委員 土功組合ハ御承知デモアリマ  
セウガ良イ土地モ惡イ土地モ均等賦課ナノ  
デアリマス、大體土功組合ガ良イ土地ノ多  
マス、併シ是モ時代ノ推移ト共ニ過去ノモ  
イ所ハ救濟シナイト言ハレルコトハ是ハ不  
均等賦課ノヤレル場合ノ話デアツテ、均等  
賦課ヲ原則トシテ居ル今日ニ於テハソレハ  
不可能ナコトデアル、ソコデ土功組合自ラ  
サウ云フモノヲ救ウテ行ク途ハナインデア  
リマス、更ニ土地改良ノコト、自作農ノコ  
ト、是ハ當然ノ仕事デアリマスガ、併シ土  
地改良ノ如キハ是ハ半永久的ノ仕事デアツ  
テ、サウ全耕地面積ニ對シテ一遍ニヤレル  
モノデハナイ、或ハ五年ト言ハレマスガ、  
五年デ土地改良ガ終ルモノデハナイノデア  
リマシテ、而モサウ云フヤウナ惡イ土地ハ  
リマスガ、ソレガ爲ニ或ハ團體個人主義ニ  
陷ツタト云フヤウナコトモアリマス、ソレ  
ガ爲ニ又對立觀ヲ醸成サシタコトモアツタ  
ノデアリマスガ、ソレハ兎ニ角トシテ、產  
業組合ニハ共存同榮ト云フ指導精神ノハツ  
キリシタモノガアツタノデアリマス、新時  
代ノ要求ニ從ツテ生レ來マシタ農業會ニハ  
如何ナル指導精神、如何ナル旗幟ヲ以テ進  
展キタイト思ヒマス、ソレト同時ニ新時代  
ノ商業組合ニ指導精神、旗幟、是モ同じ意  
味ニ於テ承ツテ見タイト思ヒマス

○石黒政府委員 御話ノ農業會ノ指導精神  
ノ範圍内ニ於テ地方長官ニ其ノ活用ヲサ

ノ農業ト云フモノハ、謂ハヤ國民生活ニ於ケル一ツノ中樞トシテノ產業タル重責ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ一ツノ農業ト云フ各種產業部門間ニ於ケル特殊ノ地位ヲ顧ミテ、其ノ國家ニ對スル責務ノ遂行ヲ圖ルト云フコトガ、結局農業會トシテノ不變ノ一ツノ指導精神デアルベキデハナイカト思フノデアリマス、殊ニ此ノ決戰下ニ於キマシテハ、農業會ト致シマシテハ其ノ農業ノ本來ノ精神ニ基キマシテ、食糧増產ト云フ面ニ付キマシテ、或ハ食糧以外ノ必需作物ノ增產ト云フヤウナ事柄ニ付キマシテ、特ニ此ノ際最大ノ努力ヲ拂フト云フコトニアルノデハナカラウカト思フノデアリマス、勿論農村ノ確立ト云フヤウナコトモゴザイマスガ、是ガ本來ノ絕對的ノ使命デアラウト思ヒマス、此ノ際トシマシテハ、就中當面ノ急デアル食糧增產ノコトニ懸命ノ努力ヲ拂フト云フ所ニ、農業會ノ指導精神ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、商業ニ付キマシテハ、是ハ一概ニモ申セマセヌガ、大體以前ニ於キマシテ所謂利益追求——是モ絶對的ナ意味ニ於テ申スナラバ必ズシモサウデハナカツタト云フ色々ナトニ付テノ國家ノ必要ナル部面ヲ擔當シテ、コトニアルダラウト思ヒマス致シマスナラバ、今日ノ場合ニ於キマシテ、此ノ商業ト云フモノハ、所謂配給ト云フコトニ付テノ國家ノ必要ナル部面ヲ擔當シテ、之ヲ國家ノ要請ニ副ウテ適正ニ行フト云フコトニアルダラウト思ヒマス從來政府ガ農村ニ對シテ執ツテ來タ所ノ各

給ニ付テハ、事毎ニ配給主生産後ノ政策ヲ執ツテ來ラレタト云フヤウニ思ハシメルモノガアツタノデアリマス、斯ク申シマスト御叱リヲ受ケテ、ソンナ馬鹿ナコトガアルカ、當局ハ生産配給ノ兩全ヲ期シテヤツテ居ル、斯ウ云フ御答辯ハ當然受ケルデアラウト思フノデアリマス、併シ生産ノ絶對量ガ減少シマシテハ、如何ニ力ヲ配給ニ注イデモ満足ナル結果ハ得ラレナイト云フコトハ、自明ノ理デアルノデアリマス、ソコデ絶對量ノ増加コソ、其ノ基本要件デナケレバナラヌト思ヒマス、生産ニ主力ヲ注ギ配給ハ此ノ生産ニ從屬スル所ノ、即チ生産主配給從ノ力ノ注ギ方デナケレバナラヌ、サウデナケレバ眞ノ生産配給ノ兩全ヲ期スルコトハ出來スト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ往々農村ニ於テサヘ之ヲ逆ニスルカラ、生産ガ減ジテ、實ニ見兼不ルモノガアルノデアリマス、是ハ配給ニ主力ヲ注イダ所ノ誤レル觀念、又小サイ範圍ノ見方カラシタ所ノ公平觀カラ來タモノデアツテ、私ハヨク聞クノデアリマスガ、業者モ國民デアル以上之ヲ救ハナケレバナラスト云フ安價ナ同情心、此ノ同情心ガ或ハ都市ニ於ケル配給ノ重大性ニ便乗シテ、複雜ナ農村ノ配給ト混線シタト云フ、色々ノ錯誤カラ來タ結果デアラウト思ハレルノデアリマス、ベナラヌ、生産上農業會等デ配給シタ方ガ全國民ノ生命ヲ繋グベキ此ノ重大ナ食糧生産ニ對シマシテ、斯ウシタ對立觀トカ或ハ安價ナル同情論ト云フモノハ一掃シナケレバニアルモノハ、生産資材ト云ハズ生活必需品ト云ハズ、何デモ之ヲ農業會ニ委譲サセテ、生産ト配給ト一貫シタ方法デヤラ

セマシテ、眞ノ増産ヲ舉ゲルヤウニサセルコトガ先決要件デアラウト、斯ウ云フ風ニ思ハレルノデアリマス、此ノ事ニ付キマシテハ古イ産業組合時代ニヨク聞カサレタ言葉デ、業者側ノ言ヒ分デアリマスガ、企業整備モ宜イケレドモ、其ノ後ニ産業組合ガ進出スルノデハ泣イテモ泣キ切レスト云フ言葉、此ノ對立觀カラ來タ所ノ感情論、是ガ臆面モナク飛出スト云フヤウナ状態デアルノデアリマス、我々ハ此ノ重大ナ將ニ食糧ノ危急ヲ招來セントスル大切ナ時ニ、個人的ナ慾得感情ナドハ第二第三モノデアル、今後左様ナコトハ考ヘラルベキデハナイ、寧口唯此ノ際ハ滅民奉公アルノミト云フ位ニ思ツテ居ルノデアリマス、ソコデ如何ニシテ生産ヲ便利ニシ、貴重ナ農民ノ勞力ヲ無駄ヲサセズシテ増産ヲサセヨウカト云フ此ノ途ダケデアルト、斯ウ私ハ思フノデアリマス、一部ノ犠牲者ハ是ハ別ニ救濟ノ方法ヲ設ケテ、國民大多數ヲ活カスベキデアルト思フ、斯ウ云フヤウナ大キナ意味ニ於ケル公平論ニ立歸ラサナケレバナラヌ、此ノ點ニ付テ多年我々ガ呼ビ續ケテ來マシタ所ノ肥料ノ配給、是ハ最近幸ヒニ農業團體ニ一元化サレタノデアリマシテ、結構ナコトト思ヒマスガ、併シナガラ是ハ遲カツタ、所謂後手ニナツテシマツタノデアリマス、全ク行詰ツテシマフマデ之ヲヤラレナカツタト云フコトハ、生産ノ增强上洵ニ私共ハ遺憾千萬ニ考ヘテ居ルノデアリマス、肥料以外ノモノニ付キマシテモ、農村ニ於テハ所謂業者ノ配給ノ爲ニ現在如何ニ農家ガ貴重ナ努力ヲ無駄ニシテ居ルカ、又必要ナモノガ必要ナ時ニ必要ナ量行渡ラズニ、如何ニ苦杯ヲ嘗メツ、アルカト云フコトハ、是ハ一般ニ知ラレテ居ナ

イ、生産責任制ノ叫バレル所以ノツモ實  
ハ、茲ニアルト思ハレルノデアリマス、分リ易  
イ例トシテ、私ハ野鍛治ノ問題、或ハ、農  
團體ニ從屬シテ居ツタモノカラ取上げテ、  
サウシテ最下部ノ町村ニマデ實ハ業者ノ組  
合デヤラスヤウニナツタ、之ガ爲ニ直接ニ  
之ヲ監督スル人ガナクナツタ、彼等ノ一人  
天下ニナツタ、農家ノ生殺與奪ノ權ハ彼等  
ガ握ル、質ノ惡イノニナリマスト、幾ラ修  
繕製作ヲ賴ンデモ、自分ノ氣ニ入ツタモノ  
デナケレバ、忙シクテ出來ナイト云フコト  
ニカコツケテ、何トシテモヤツテヤラス、  
ソレガ爲ニ往々時期ヲ失シテシマフ、ト云  
フヤウナコトニナツテ居リマス、近頃ハ是  
等ノ連中ガ、謂ハゞノサバツテトモ言ヒ  
マスカ、米ヲ持ツテ來イ、餅ヲ搗イテ持ツ  
テ來イ、サウスレバ持ヘテヤル、ト云フヤ  
ウナ例ハ少クナイ、斯ウ云フヤウナ狀況デ  
アリマス、サウシテ彼等ハ金ヲ儲ケテドウナ  
ルカト云ヘバ、金が儲カレバ儲カル程働カ  
ネイ、公定價格テ儲カラナイモノハ造ラナ  
イ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居ルノデ  
アリマシテ、大切ナ農具ガ適期ニ使ヘナイ、  
斯ウシタ例ハ單リ農具ダケデハナインデア  
リマス、近頃ハ此ノ外ニ配給業者ガ大分役  
人振ツテ、不親切ニナツテ來タト云フヤウ  
ナコトガアル、斯ウ云フヤウナ關係カラ農  
業生産ヲ妨ゲテ居ルコトハ、實ニ見ルニ見  
兼ネルモノガアル、又サウデナクテモ、業  
者ノ中ニハ何等勞セズシテ、所謂「トンネ  
ル」口錢ヲ取ツテ居ル者ガ居ル、是等ノ者  
ハ小サイコトノヤウデハアルガ、全ク農民  
ノ生產意慾ヲ阻害シテ、眞面目且農民ノ心理

ニ非常ニ惡影響ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、  
デ農業資材ハ勿論、生活必需品ノ配給モ生  
産者側ニ行ハシムルコトガ生產上便利ナモ  
ノハ、增産上ノ見地ニ於テ之ヲ任せナケレ  
バナラヌト云フコトヲ主張セズニハ居ラレ  
ナイノデアリマス、所謂生產主配給從、或  
ハ言葉ノ使ヒ方ガ悪イカモ知レマセヌガ、  
サウ云フ行キ方ニ改メテ、是カラ來ル所ノ  
生產ノ隘路ヲ打開スルコトガ必要デアルト  
痛感スルノデアリマスガ、此ノ點ニ關シテ農  
商省ノ御意見ヲ承リタインノデアリマス  
○石黒政府委員 此ノ生產ト配給トノ關係  
ニ付キマシテハ、是ハ極端ニ申シテモ又少  
シ語弊ガアリマスガ、大體論トシマシテハ、  
農ニシマシテモ、工ニシマシテモ、今日ノ  
場合ハ生產ガ御說ノ如ク主デアリマシテ、  
配給ガ謂ハバ從ト云フコトハ、是ハ申スマ  
デモナイコトト存ズルノデアリマス、ソコ  
デ配給ハ生產ナリ、或ハ又必要ナル國民ノ  
生活ノ爲ニ適正ニ運行サレナケレバナラニ  
イ、唯其ノ間ニ於テ必ズシモ十分デハナイ、  
或ハ適當デハナイト云フヤウナ事態ガアル  
ト致シマスル場合ニ於テハ、ソレガ或ル場  
合ニハ過渡的ノ現象デアルト云フ場合モア  
ル譯デアリマス、先程カラ御話ノ、例ヘバ  
肥料ニ付テノ狀況ニ付キマシテモ、ア、云  
フヤウナ、今回出來上リマシタヤウナ事柄  
ニ付テハ、隨分久シキニ瓦ツテ話ハ色々ト  
アリ、大體サウ云フ方向ニ向イテ居ナガラ、  
細カイ點ニ付テ色々話ガ纏マラナイト云フ  
ヤウナコトカラ、其ノ機運ニ至ラナカツタ  
ト云フヤウナ時期モ相當長カツタヤウデア  
リマス、左様ナ譯デアリマシテ、過渡的ナ  
現象トシマシテ必ズシモ是ガ適當デアルト  
ハ思ヘナイトコトモ是ガ行ハレテ居ルト云フコ

トモアリ得ルノデアリマス、ソレドノ部  
面ノ實情ニモ依リマスガ、之ヲアマリニ早  
急ニ決メマシテモ致シ方ノナイヤウナ場合  
モアルノデアリマス、尙ホ生産ノ爲ノ配給  
ト云フコトデアリマシテモ、是ハヤハリ實  
質的ニ考ヘナケレバナラナイノデアリマシ  
テ、詰リ形式的ニ生産ノ爲ニナツテ居ル、併  
シナガラ實質的ニハ必ズシモ生産ノ爲ニハ  
ナツテ居ラスト云フヤウナ事態が起ツテ相  
成ラヌノデアリマス、假リニ例ヘバ農業  
會ナラ農業會ガ之ヲ運營スル、ソレダケノ  
形式デ以テモウ萬事解決シタカト云ヘバ、  
勿論サウデハナインデアリマシテ、農業會  
ノ運營其ノモノガ又更ニ適切ニ行ハレナケ  
レバナラナイ、是ハ當然デアリマス、ソコ  
勿論サウデハナインデアリマシテ、農業會  
デ假リニ、例ヘバ農業會ニ於テ適切ニ運營  
サレレント云フコトヲ實見スレ爲ニハ、ヤハ

變サレルト云フ場合ニ付テハ、ソレドノ手當モ必要ナ場合モアリマス、彼此レ致シマシテ、農村ノ配給物資ニ付キマシテモ、茲ノモノガ必ズシモ一樣ニハ行ハレテ居ラナイト云フコトニナル譯デアリマス、併シナガラ、状況ヲ能ク見ナガラ、我タシスマシテハ生産ノ爲ニ配給ガ適正ニ行ハレマスルヤウニ、總テノ部門ニ付キマシテ今後トモ十分氣ヲ付ケテ參リタイト思ヒマス○北(勝)委員 次ニ政府ハ北海道竝ニ樺太等ノ食糧問題ニ付テドウ考ヘルカト云フ點ニ付テ伺ヒタトイ思ヒマス、農作物ハ天候ニ左右セテラレルモノデアリマスガ、北海道ノ稻作ノ如キハ、實ハ耕作ノ限界點ニ近イガ、今マデノ經驗カラ言ツテモ何時不作ガ來ヌトハ言ハレヌノデアリマスガ、此ノ間モ農商大臣ハ敵前作戦ニ於テ雪害ヲ生ゼシメナイコトガ、食糧生産戦ノ要訣デアルト云フ工合ニ言ハレテ居ツタ通りデアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點カラ北海道竝ニ樺太ノ食糧問題ニ付テドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレ、又ドウ云フ對策ヲセラレルノデアルカ、北海道デハ稻ノ不作ガ生ジ易イ、稻ノ不作ノ年即チ低溫ノ年ニハ馬鈴薯・燕麥ノ收穫ガ多イ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、全ク米ト反対ノ性資ヲ持ツテ居ル、去年ハ特ニ稻ガ良カツタガ、溫度ガ高カツタ爲ニ燕麥ハ曾テナイ不作デアツタ、又馬鈴薯モ二度芽ガ出タリシテ、不作ニナツタ云フヤウナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ米ガ一粒モ假ニ穫レナイトシテモ、實ハ馬鈴薯ト燕麥ヲ素ニシタ「オ一

トミル」、青菜ダケアレバ人間ハ十分健康ガ保持サレルト云フコトハ、既ニ是ハ實驗済ミノコトデアルノデアリマス、之ヲ常用ニシテ居ル國モアルト云フコトガ、此ノ間モ聞ニ出テ居ツタヤウナ状況デアルノデアリマス、此ノ場合依然トシテ北海道或ハ樺太ニ於テ米食ヲ中心トシタ食糧政策ハ、是考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、萬一ノ場合ニ於テ北邊ノ地ニ於ケル米食ハ勿論、一般住民ノ食糧トシテドンナコトガアツテモ手違ヒヲ來サナイ用意トシテハ、米作ト同時ニ此ノ馬鈴薯、燕麥ノ耕作反対ヲ擴張シテ行カナケレバナラヌシ、ソレヲアリマス、燕麥ハ特徴ガ利クノデアリマス、ノ他ニ於テ之ヲ引合フヤウニシテヤルトニフコトガ、極メテ大事ナコトダト思フノデ、擴張シテモ差支ヘナイヤウニ、公定價格ノニ

トミル」、青菜ダケアレバ人間ハ十分健康ガ保持サレルト云フコトハ、既ニ是ハ實驗濟マス、此ノ場合依然トシテ北海道或ハ樺太ニ於テ米食ヲ中心トシタ食糧政策ハ、是ハ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、萬一ノ場合ニ於テ北邊ノ地ニ於ケル米食ハ勿論、一般住民ノ食糧トシテドンナコトガアツテモ手違ヒヲ來サナイ用意トシテハ、米作ト同時ニ此ノ馬鈴薯、燕麥ノ耕作反別ヲ擴張シテ行カナケレバナラヌシ、ソレヲ擴張シテモ差支ヘナイヤウニ、公定價格其ノ他ニ於テ之ヲ引合フヤウニシテヤルト云フコトガ、極メテ大事ナコトダト思フノデアリマス、燕麥ハ貯藏ガ利クノデアリマス、米ガ澤家畜ノ飼料トシテ幾ラモ用途ガアルノデアリマスガ、是ハ別トシマシテ貯藏ノ利カヌナツテ來ルト思ハレルノデアリマス、米ガ澤山穫レタ年ニハ、寧ロ私ハ米ヲ貯藏シテ、米ヲ食フコトハ後廻シニシテ、馬鈴薯ヲ先ニ食フト云フ食習慣ヲ作ルト云フコトガ極メテ大事ダト思ヒマス、サウシタ訓練、或ハ料理ノ講習等モ必要ニナツテ來ルト思フノデアリマス、更ニ冬季ハ冷凍芋ヲ使用サセル、今夕張邊リデハ盛ニ北海道デ凍ツタ芋ヲ其ノ儘配給シテ居ルガ、此ノ間新聞デ見テモ、結構食ヘルト言ツテ新聞ニ出シテ居ルヤウナ状況デアリマス、サウ云フヤウナ方法、或ハ夏マデ持越サス爲ニ貯藏室ヲ造ラセル必要ガアル、是ハ大規模ナ貯藏室ガ簡單ナ方法デ出來テ居ル、「アメリカ邊リノ例ヲ澤山聞イタノガアルノデアリマスガ、サ



シタラドウカト云フコトモ實ハ相談シ合ツ

タノデアリマス、兎ニモ角ニモ「カゼイン」

増産ノ爲ノ牛乳ノ增産ト云フコトニ付キマ

シテハ十分必要ナル處置ヲ講ジタイ、斯様

ニ考ヘテ居リマス

○北(勝)委員 是デ暫時大藏當局ノ御出席

マデ質問ヲ留保致シマス

○深澤委員長 其ノ間、深水サン

○深水委員 私ハ農業會ノ餘裕金ノ利用ニ

付テ農商富局ノ御意見ヲ承ツテ見タイ、今

日マデノ產業組合ガ、農業ノ上ニ寄與貢獻

致シタコトハ申スマデモアリマセヌガ、產

業組合ハ段々發展シ非常ニ今日デハ健全ニ

ナツテ居ルノデアリマス、然ルニ今回農業

會ノ方ニ合併シテ經濟部トナリマシテ、其

ノ使命ハ益々重大トナリ責任ハ増大シテ來

タノデアリマス、然ルニ經營上カラ見ルト、

貯金ハ増大スル一方デアリ、借入者ハ餘リ

ナイト云フ狀況デアリマス、又從來ハ購買、

販賣等ニ依ツテ利益ヲ得タノデアリマスガ、

今日ハ御承知ノ通り物ガ既ニナイノデアリ

マスカラ、之ニ依ツテ利潤ヲ得ルト云フコ

トモ殆ド望ミ得ナイノデアリマス、勿論利

益本位ノモノデナインデアリマスガ併シ

立チ行クヤウニシテ行カナケレバナラヌノ

デ、當業者ハ相當努力シテ居リマス、一方

ニ於テハ時局待遇等モ相當改善シテ行カ

テケレバナラヌノデ、洵ニ苦心慘憺ノ狀況

デアリマス、當局デハ從來產業組合ニ付テ

云フコトデハ今後ノ經營拘ニ困難ト思ヒマ

ス、勸業債券、興業債券トカ云フモノヲ持

ツコトヲ今後御認メニナリマスカ、サウデ

ハ所有スルコトヲ殆ド禁ジテ居ツタ、斯ウ

云フコトデハ今後ノ經營拘ニ困難ト思ヒマ

ス、勸業債券、興業債券トカ云フモノヲ持

ツコトヲ今後御認メニナリマスカ、サウデ

ハ所有スルコトヲ殆ド禁ジテ居ツタ、斯ウ

云フコトデハ今後ノ經營拘ニ困難ト思ヒマ

ス、勸業債券、興業債券トカ云フモノヲ持

ツコトヲ今後御認メニナリマスカ、サウデ

ハ所有スルコトヲ殆ド禁ジテ居ツタ、斯ウ

云フコトデハ今後ノ經營拘ニ困難ト思ヒマ

ス、勸業債券、興業債券トカ云フモノヲ持

ツコトヲ今後御認メニナリマスカ、サウデ

ハ所有スルコトヲ殆ド禁ジテ居ツタ、斯ウ

營ノ方針ヲ執ルベキデアルカ、是ニ付テ

ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○石黒政府委員 各團體ノ農業會ノ餘裕金

ニ付テハ御話ノ如ク金利ハ極メテ多額ニ上

ボツテ居リマシテ、之ニ對スル指導方針ト

シテハ、今御話ノ如ク大體ニ於キマシテ公

債、其ノ他確實ナル有價證券或ハ系統上級

機關ニ對スル預金ナドヲ以テ大部分ヲ充テ

ルト云フ譯デアリマシテ、御說ノ如ク經營

トシテ中々困難ナ點モアラウト思ヒマス、

之ニ付キマシテハ、今餘り簡單ニ申上ゲル

譯ニモ參ラナイノデアリマスガ、經營上ノ

色々ノ困難ハ我々モ十分想像致サレルノデ

アリマス、尙ホ今後何等力考慮ガ出來ルナ

ラバ、組合經營ノ堅實サヲ阻害スルヤウナ

コトガアツテハナリマセヌガ、何等力考慮

致シタコト云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ

際ハ此ノ程度デ御諒承願ヒマス

○深水委員 何等カノ考慮ト申シマスト、補

追求スル譯デハアリマセヌガ、補助金ヲ增

ストカノ方法ダラウト思ヒマスガ、目下ノ

系統預金トカ公債トカ云フ以外ハ成ベクス

ルナト云フ御意思ニハ變リナイノデアリマ

スカ

ナイト云フ状況デアリマス、又從來ハ購買、

販賣等ニ依ツテ利益ヲ得タノデアリマスガ、

今日ハ御承知ノ通り物ガ既ニナイノデアリ

マスカラ、之ニ依ツテ利潤ヲ得ルト云フコ

トモ殆ド望ミ得ナイノデアリマス、勿論利

益本位ノモノデナインデアリマスガ併シ

立チ行クヤウニシテ行カナケレバナラヌノ

デ、當業者ハ相當努力シテ居リマス、一方

ニ於テハ時局待遇等モ相當改善シテ行カ

テケレバナラヌノデ、洵ニ苦心慘憺ノ狀況

デアリマス、當局デハ從來產業組合ニ付テ

云フコトデハ今後ノ經營拘ニ困難ト思ヒマ

ス、勸業債券、興業債券トカ云フモノヲ持

ツコトヲ今後御認メニナリマスカ、サウデ

ハ所有スルコトヲ殆ド禁ジテ居ツタ、斯ウ

云フコトデハ今後ノ經營拘ニ困難ト思ヒマ

ス、勸業債券、興業債券トカ云フモノヲ持

ツコトヲ今後御認メニナリマスカ、サウデ

ハ所有スルコトヲ殆ド禁ジテ居ツタ、斯ウ

云フコトデハ今後ノ經營拘ニ困難ト思ヒマ

ス、勸業債券、興業債券トカ云フモノヲ持

ツコトヲ今後御認メニナリマスカ、サウデ

ハ所有スルコトヲ殆ド禁ジテ居ツタ、斯ウ

貯金ト云フモノハ小額貯金ガ非常ニ多イ、

家族貯金ダトカ、或ハ備蓄貯金ダトカ、貯

金ノ種類ハ二十モ三十モアル、サウシテロ

座モ色々ニ分レテ居ルト云フヤウナ狀況ニ

ナツテ居ルノデアリマス、今回ソレガ課稅

ノ對象物ニナリマス爲ニ、一々貯金者ノ名

前ト金額ヲ書イテ、稅務當局ニ出サナケレ

バナラヌト云フコトニナルノデアリマスガ、

御承知ノヤウニ近來農業會ニ於テモ、或ハ

信用組合ニ於テモ、人手ガ非常ニ不足シテ、

慣レタ事務員ガ居ナイト云フヤウナ關係

デ、現在ノ仕事サヘ背負ヒ兼ネ居ル狀況

ナノデアリマス、ソレニ今斯ウ云フヤウナ

仕事ガ加ハツテ來マスト、之ヲヤツテ行ク

コトハ實ニ不可能ニナツテ來ルノデアリマ

ス、サウスルト結局ドウナルカト云フト、

サウ云フヤウナ貯金ハ拒マナケレバナラヌ、

自分デ扱ヘナイモノハ回避スルト云フヤウ

ナコトニナツテ來マスト、貯金獎勵上重大

ナ惡影響ヲ來スト思ハレルノデアリマス、

隨テ此ノ際何カニ對シテハ一ツ便法ヲ與

ヘルコトヲ御考ヘラ願ヒタク、我々ノ希望ス

ル所ハ五千圓以下ノ是等ノ貯金ニ對シマシ

テハ、其處ノ信用組合、農業會等ニ課稅ヲ

代納サセル、サウシテ其ノ代納シタモノニ

付キマシテハ、其ノ農業會、信用組合等ガ

ソレノ適當ナル緩和ノコトヲ考慮スベキデ

アリマス、此ノ點ニ關シマシテ當局ノ御意

見ヲ承ツテ見タクト思ヒマス

○北(勝)委員 大藏省政府委員ガ見エマシ

タカラ、北君

○北(勝)委員長 今回ノ稅法改正ニ依ツテ農

業會或ハ信用組合、是等ノ貯金ノ中ノ當座

貯金、或ハ定期貯金、斯ウ云フモノノ外ノ

賄金ハ一齊ニ課稅セラレルコトニナツタノ

置イテ居リマシタ農業會或ハ市街地信用組

合ノ預貯金、又ハ貯蓄銀行ノ据置貯金等ニ

付キマシテ、新タニ課稅ヲ致シマス趣旨ハ

各方面ニ增稅ヲ行ヒマス此ノ際ト致シマシ

テハ、今度ノ增稅分ダケ、即チ百分ノ五程度

ノ分類所得稅ヲ負擔シテ戴キマシテ、各種

預貯金ノ權衡ヲ執リタク、斯ウ云フ越旨デ

ニ付キマシテハ課稅シテ居ツタノデアリマ

スガ、預貯金ノ大部分デアル五千圓以下

ニ於キマシテハ課稅シテ居ツタノデアリマ

スガ、預貯金ニ對シマシテ新タニ分類所得稅ヲ課

稅シ、サウシテ色々ニ難カシイ計算ヲ致シ

マスコトハ、サナキダニ事務簡素化ノ叫バ

スルガ、預貯金ニ對シマシテ新タニ分類所得稅ヲ課

斯ウ云フ風ニ想像致シマシタガ、臨時租稅措置

ノ貯金ニ對シマシテ新タニ分類所得稅ヲ課

稅スルコトニ致シマシタガ、臨時租稅措置

戴クコトハ要ラナクナリマシタ、其ノ他農業會等ガ預金者ニ代ツテ税金ヲ納メテ、サウシテ利子支拂ノ時ニ預金者カラ其ノ代納シタ税ヲ取ルト云フ考ヘ方ハ、先程申上ゲタヤウナ税引所得デ計算スル、是デ御諒承願ヘルコトト思ヒマス

○北(勝)委員 尚ほ私ハ質問ヲシタイコト  
ガアリマスガ、大臣ガ御見エニナリマセヌ  
カラ、大臣ガ御見エニナツタ時ニ質問ヲス  
ルコトニ致シマシテ保留致シマス、又競馬  
ノ問題デ御尋ネシタイト思ヒマシタガ、專  
門家ノ小笠原サンガオヤリ下サルト云フコ  
トデアリマスカラ、私ハ之ヲ遠慮スルコト  
ニ致シマシテ、一應是デ私ノ質問ハ終リマ

○深水委員 私ハ農工並立ト申シマズカ、其ノ方針ニ付テノ農工兩全ト申シマスカ、其ノ方針ニ付テノ御所信ヲ承ツテ見タイト思ヒマス、申スマデモナク、戰力増強ノ基盤ヲ成スモノハ食糧デアリマスガ、近來工業ノ農村ヘノ進出ト云フモノガ實ニ目覺シイノデアリマス、是ハ勿論戰力増強上必要ナコトデアリマスノデ、農村トシテモ之ヲ排斥スペキモノデハアリマセヌガ、併シ從來カラモ農村ニ工業ガ興ツテ來タ場合、其ノ農村ヲ工業ニ向ケルノデアルカ、農業ニ向ケルノデアルカ、又農業モ工業モ竝立シテ行カナケレバナラヌト云フ場合ニ於テ、ドウ云フ方針ヲ執ルガ宜イノデアルカ、當局ハドウ御考ヘニナツテ居ルカ、例ヘテ申シマスレバ農村ニ工業ガ興ツテ來タ場合ニ、半農、半工主義ヲ執ルノガ適當デアルノカ、或ハ或ル一縣ニ於テハドノ町村ハ工業地帶ニスル、ドノ町村ハ純農業地帶ニスルトカ云フヤウニ、地域主義ヲ執ルノガ適當デアルノカ、勿論皇國

農村ノ確立ト云フ立場カラ見マスレバ、地  
域主義ガ適當デアルコトハ申スマデモアリ  
マセヌガ、農工相互ノ理解ト云フコトガ、又  
一面増産上ニ及ボス效果モ非常ニ大キイト  
思ヒマス、現ニ私其地方ニ於キマシテ、休  
閑地ニ對スル工業者、商業者等ノ耕作ヲ試  
ミルコトガ行ハレルヤウニナリマシテカラ、  
工業、商業者ノ農ニ對スル理解が非常ニ高  
マツテ參リマシテ、隨ヒマシテ是ガ農業ニ  
對スル協力ト云フヤウナコトモ、或ル程度  
進ンデ行ツタヤウニ思ヘルノデアリマス、  
斯様ナ點カラ見マスルト、農工理解ト云フ  
點ニ重キヲ置キマスレバ、ヤハリ半農、半  
工ト云フヤウナコトデモヤツテ行ケルノデ  
ハナイカトモ思ヒマスガ、何分ニモ勞力不  
足ト云フコトガ増産上ノ一大隘路デアリマ  
スノデヘ之ヲドウ云フヤウニ指導スペキカ、  
此ノ農工並立若シクハ農工兩全ト云フコト  
ニ對スル當局ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト  
思ヒマス

譯デアリマス、唯御詫ノ如ク、最近ノ時局ノ要請ニ基ク急激ナル工場ノ發展、殊ニ其ノ地方分散ト云フコトニ關聯致シマシテ生ズル所ノ、現實ノ農工接觸地帶ニ於ケル行シテハ努メテ此ノ際最小限度ノ土地ヲ工場トシテ使ツテ貰ヒタイ、必要已ムヲ得ナイン度ノ土地ヲ使ツテ貰ヒタイ、人員ニ付キマシテモ又同様ニ考ヘルノデアリマス、併シ或ル程度ノ必要ナルモノハ、農工兼業ニナルト云フコトハ、是ハ必至ノ情勢デアリマス、此ノ場合ニ付キマシテハ、我々ハ其ノ爲ニ此ノ際少クトモ農業生產ノ低下ヲ來サナイヤウニ、致シタイト云フノガ主タル要點デアリマス、尙ホ農村ニ於テ工業ニ從事スル所ノ、殊ニ青少年ガ之ニ依ツテ健康ヲ害スルト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、努力メテ之ヲ避ケタイト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、左様ナ觀點カラ致シマシテ、工場ノ進出シタル農村地帶ニ於ケル關係ヲ、今後如何ニ持ツテ行クベキデアルカト云フク、或ル實例ニ於キマシテハ、重ネテ申上グマスルガ、今種々色ンナ變ツタ狀況ニ付テ調査研究ヲ致シテ居ル次第アリマス、御詫ノ如コトニ付キマシテハ、重ネテ申上グマスルガ兼業ニナル——村中デモナイカモ知レマセヌガ、大部分兼業ニナリマシテ、舉村一體トナツテ、工業ニモ從ヘバ又農業モシツカリヤルト云フヤウナ風ニシテ、而モ指導者宣シキヲ得テ、工業モヤルケレドモ、農業ノ方モ立流ニヤツテ行ク、サウシテ例ヘバ農繁期ノヤウナ時ニハ、殆ドモウ工場全體ガ農業ノ爲ニ便宜ヲ與ヘテ、謂ハバ休メト言ハンバカリナ處置ヲ講ズルト云フ風ニ

シマシテ、農村トシテノ從來ノ農業生産上ノ力モ餘リ落サズ、而モ工場モシツカリ、農村ニ嵌ツテ居ルト云フヤウナ例モアルヤウデアリマス、併シ又殆ドモウ村中ノ人ガ工業ニ關係シテ、農村トシテノ從來ノ堅實サ失ツテシマツタ云フヤウナ例モアリマスシ、其ノ邊ノ所ハ、中々一概ニ申セナインデアリマシテ、我々ト致シマシテハ先程モ申シマスヤウニ、全國的ナ基本的ナ考ヘヲ一方ニ持ツテ居リナガラ、同時ニ斯ウ云フ已ムヲ得ザル事態ニ付キマシテモ、今折角調査致シマシテ、適當ナ指針ヲ得タイト考ヘテ居ル譯デアリマス

分考慮シタ上ノ配給ト云フモノガ考ヘラレ  
ナケレバナラヌノデハナイカ、例ヘバ純農村  
デハナク漁業村デアル地方デハ——私ハ九州  
デアリマスガ九州地方ノ漁村デハ殆ド甘諸  
デ、米ト云フモノハ滅多ニ食ツタコトハナ  
イ、併シ其處デハ山村ヨリモ非常ニ魚類ガ  
多イ爲ニ脂肪蛋白質ヲ攝ルカラ、年中甘諸  
バカリ食ツテ居ツテモ、體力ノ上ニ於テハ  
非常ニ立派デアルト云フ例ハ幾多アルノデ  
アリマス、サウ云フ所ニモ千篇一律ニ米ヲ  
配給シテ居ル爲ニ、段々サウ云フモノガ米  
ヲ食フ習慣ヲ助長シテ行ク、サウ云フコト  
ガ米不足、食糧不足ト云フコトニ重大ナ闘  
係ガアルノデアリマス、モウ少シ斷乎タル  
處置ヲ執ツテ、眞ニ足リナイ者ニハ足リル  
ヤウニ、又食ベナイデ補ヘル者ニハ、其ノ  
ヤウニ配給ヲシテ行カケレバナラヌノデ  
ハナイカト思フノデアリマス、特ニ九州地  
方ニ於キマシテハ、二十年位前マデハ非常  
ニ雜穀ヲ餘計食べテ、殆ド米ト云フモノハ  
食ハナカツタノデアリマス、勿論食ハナイ  
コトハナイガ非常ニ少ク食べテ居ルノデア  
リマス、尤モソレ等ノ點ハ價格ノ問題等ガ  
非常ニ關聯シテ居ツタト存ジマスノデ、成  
ベク百姓ハ安イモノヲ食ツテ、高イ米ヲ出  
スト云フ狀態デアツタ、ソレガ今日デハ米  
ノ値段ガ非常ニ安イカラ、米ヲ食ヘト云フ  
コトモアリマスシ、又一方配給關係等モ影  
響シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、此ノ雜穀食  
ヲ獎勵スルト云フコトハ最モ大事ナコトデ  
アリマシテ、近來ノヤウニ増産ノ獎勵、消費  
ノ節約獎勵ト云フコトモ、勿論是ガ一番根  
本デアリマスガ、國民ノ半數ヲ持ツ所ノ農  
民ガ二十年、三十年前ノヤウニ雜穀食ニ徹  
底スルト云フコトニナレバ、非常ナ増産トナ

尙ホ之ニ關聯致シマシテ雜穀ハ勿論知ニ  
出來ルモノデアリマスケレドモ、山林燒畑  
ニモ出來ルノデアリマス、特ニ南九州地方  
ニ於キマシテハ、燒畑利用ニ依ル所ノ雜穀  
ガ百姓食ノ大部分ヲ占メテ居ツタノデアリ  
マスルガ、當局ト致シマシテ燒畑作フ非常  
ニ獎勵スルト云フヤウナコト、之ニ對スル  
施策ニ餘リ見ルベキモノガナイヤウニ考ヘ  
テ居リマス、此ノ燒畑ニ對スル雜穀ト云フ  
モノハ一面カラ申シマスルト、植林政策ノ  
上カラモ非常ニ結構ナコトデ、謂ハバ一石  
二鳥ノヤリ方デアリマスガ、雜穀食ノ獎勵  
ト共ニ、燒畑ニ對スル考ヘ方ヲドウ云フ風  
ニシテ行クベキカト云フコドニ付テ、今少  
シク御考慮ヲ仰ギタイト思フ譯デアリマス、  
私ハ此ノ際雜穀ヲ獎勵シテ、農民ヲ雜穀食  
ノ昔ニ戻スト共ニ、植林政策ヲ助長シ、國  
ノ食糧政策ニ大ニ貢獻シテ行ク爲ニ、燒  
畑ニ對スル雜穀ニ對シテ供出免除ノ御意思  
ハナイカ、又サウンシテ戴キタイト思フノデ  
アリマスガ、サウ云フ御考ヘハナイカドウ  
カト云フコトヲ御伺ヒシタイ  
ソレカラ是ハ小サイコトデアリマスガ、  
燒畑ヲ獎勵致シマスレバ、ドウシテモ火入  
ノ問題ガ一番大事な問題デアリマスガ、是  
ハ地方廳ノ問題デアルカ、或ハ省令デ出テ  
居ルノカ存ジマセスガ、兎ニ角今日デハ之  
ニ對スル規則ガ非常ニ喧シイ、畫デナケレ  
バナラヌ、何月何日、届ヲシテ許可ヲシタ  
日デナケレバ燒畑ハ出來ヌ、斯ウ云フ風ニ  
ナツテ居リマス、是ガ非常ニ雜穀増産ヲ阻  
碍シテ居ルト思ヒマス、元來オ上ノ方デハ

晝デナケレバ危険ダ、斯ウ云フ考ヘカラ  
夜ノ燒烟ヲ禁ジテ居ラレルト思ヒマスケレ  
ドモ、實際問題トシテハ燒烟ト云フモノハ、  
ツテ居ル時ニ火ヲ付ケタナラバ、其ノ火ハ  
光線ト緩和スルト申シマスカ、見エナイノ  
デアリマシテ、ソレガ一番危険デアツテ、  
夜火ヲ付ケナケレバイカヌ、ソレヲ現在全  
國デアリマスカ、私共ノ附近三箇縣ニ於テ  
ハ、晝デナケレバ許サヌト云フヤウナ矛盾  
シタヤリ方ヲヤツテ居ル、又斯ウ云フ燒烟  
ヲ日時ヲ限ツテ許スト云フヤウナコトデ、  
警察官ガ見ルノニ便利ナ日ト云フヤウナコ  
トデハ、風ノ吹ク日モ、雨ノ降ル日モ豫想  
ハ出來ナイノデアリマシテ、決メラレタ日  
ニ出來ナイ、又許サレタ日ガ暴風デアルト  
云ツタヤウナ時ニハ止メマスガ、大抵ナ風  
デハ、今日ハ許サレタ日ダカラヤラケレ  
バナラスト云フヤウナコトニナツテ、洵ニ  
矛盾シタ結果ヲ生ズルノデアリマス、若シ  
山畑ニ産スル雜穀ト云フモノガ相當食糧政  
策ニ貢獻シ得ルト云フ御考ヘデアルナラバ、  
是等ノ點ニ付テモ、小サイコトデアリマス  
ルケレドモ、十分ノ御研究ヲ願ヒタイト思  
フノデアリマス、兎ニモ角ニモ雜穀食ノ獎  
勵ト云フコト、ソレニ付テハ山畑ニ對スル  
雜穀ヲウント獎勵スルト云フコト、ソレニ  
付テハ是ハ畑ニ作ル物ト違ツテ別個ノモノ  
デアリマスカラ、供出ヲ免除シテ戴クト云  
フヤウナコトノ御意思ハナイカ、ソレ等ノ  
點ヲ御伺ヒ致シマス

シタ重要ナ點デアリマシテ、之ニ付キマシテ、年モ亦更ニ規模ヲ大ニシマシテ、之ヲ實行致シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、所デソレニ關聯致シマシテ御質問ノ火入ノコトニ付キマシテハ、是ハ何デモ聞イタニ見マスト、昨年ノ春三月頃御説ノヤウニ非常ナ乾燥ヲ致シマシタ後デ、全國ニ山林ノ火災ガ相當ニゴザイマシテ、例年ニナク此ノ被害ガ甚大デアツタノデアリマス、慥カアノ頃カラカ又火入等ニ對スル取締ヲ嚴重ニ致シタト云フヤウナコトヲ一寸聞イタノデアリマス、今御説ノヤウナヤリ方デ事ノナイヤウニ嚴重ニ取締ヲヤルト云フ方法、或ハ何カモット違ツタ方法ヲ以テ、例ハペ責任者ニ對シテ嚴重ナ責任ヲ負擔サセルト云フヤウナ方法トカ、何カ方法ガアラウカト思フノデアリマス、其ノ邊ニ付キマシテ御話ノ點ハ能ク研究致シマシテ、適切ナ處置ヲ講ジタイト思ツテ居リマス、尙ホ左様ナ所ニ出來タ雜穀ノ供出ノ免除ト云フ御話ガゴザイマシタガ、現在ノ所雜穀ニ付テハ米麥等ノ供出トハ多少行キ方ガ達ツテ別ナ規則上ノ供出ヲ求メテ居ルカモ知レマヌケヌガ、全國的ナ處置トシマシテハ、餘程居リマシテ、或ハ地方廳アタリデ何等カ特別ナ問題ハ、餘りナインデアリマスガ、隨ヒマシテヤリ方ハ違フノデアリマスガ、隨ヒマシテサウ嚴重ナ供出ト云フヤウナコトモナク、延イテ免除スルトカシナイトカ云フヤウナ問題ハ、餘りナインデハナカラウカト思フノデアリマスガ、要スルニ御説ノヤウニ特殊ノモ成ベクヤハリ地元ノ農家其ノ他ニ於テ作ツタ物ハ自家ノ食糧ニスルト云フヤウナコト

第六類第九號 農林中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案外一件委員會議錄

ヲ主ニシテ考ヘルベキカト思ヒマス、尤モ  
蕎麥ノヤウナモノデシタラ、是モヤハリ相  
當農村ニ殘スノデハアリマスケレドモ、或  
ル程度ノモノハ都會地ニ集メタイト云フ希  
望ヲ持ツテ居リマス、大體左様ナ考ヘヲ持  
ツテ居リマスノデ、特ニ烟トサウ云フ所ノ  
モノトノ區別ヲシマシテドヴスウスルト云  
フ程ノ處置ハ必要ハナイデハナイダラウカ  
ト云フ風ニ存ズルノデアリマス、尙ホ能ク  
一ツ研究シテ見ルコトニ致シマス

○深水委員 只今ノ御答辯ノ中、昨年來大  
イニ獎勵シテ居ルト云フ御話アリマスガ、  
アノ開墾ノモノト、私ノ言フ燒烟ト云フノ  
ハ、又別箇ニ全然山林ノ伐ツタ後ヲ直グ燒  
イテ、二年カ三年其ノ儘開墾モ何モセズ、  
サウシテ詰リ燒イタ灰ニ粟ヲ植エル、隨テ  
焼イタラバ直グ灰ガアル内ニヤラナケレバ、  
一雨降ツタラヤハリ耕サナケレバ出來ナイ  
ノデス、灰ニ植エタ粟、稗等ガ直グ根ヲ下  
シテ行ク所ノ舊來ノ燒烟、是ハ非常ニ簡單  
デス、何モ耕ス必要ハナイノデス、是ハ南  
九州ニ於テハ從來相當ノ產額ガアルト信ジ  
テ居リマス、是ガ段々火入レ等ノ關係デ出  
來ナクナツテ、助成ヲシテ戴ク方ハ、是ハ  
山林ノ開墾デアリマシテ、ソレデハナイノ  
デス、其ノ點ハ又御考ヘ置キヲ願ヒタイト  
思ヒマス、是ハ其ノ程度ニ致シマシテ、最  
後ニ燒烟問題ニ關聯シテ、自給肥料増産ニ  
付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、ソレハ山  
林ト菜種栽培ノ問題デアリマス、只今申シ  
マスヤウニ、南九州地方ニ於キマシテハ、  
昔ハ非常ニ交通不便ノ山林地帶ハ、立木ノ  
儘燒イテ、ソレニ粟トカ或ハ稗トカ云フヤ  
ウナモノヲ播イタノデゴザイマスガ、今日  
デハ山林ガ伐ラレタ場合ニ於テ、其ノ伐ラ

レタ跡ヲ焼イテ、其ノ儘直グ栗ナドヲ植エ  
ル、ソレデ唐芋デアルトカ、蕎麥デアルト  
カ云フヤウニ、ソレヲ耕ス必要ハナイノデ  
アリマス、此ノ焼畑ト云フモノノ產額ハ、  
南九州ニ相當多クアルヤウニ思ヒマス、其  
處ニ菜種ヲ非常ニ從來作ツタモノデアリ  
スガ、是ハ福岡縣等北九州ニナリマストヤ  
ハリ畑ニ作リマスガ、南九州ニ於キマシテ  
ハ畑ハ總テ麥ヲ作ツテ、山林ニ持ツテ行ツ  
テ菜種ヲ作ルト云フノガ從來ノ習慣デアリ  
マシタガ、近來油ノ問題ガヤカマシクナル  
ト共ニ、山林ニ對シテ菜種ヲ拵ヘルコトガ  
非常ニ激減シテ參リマシタ、一體百姓ハ、  
此ノ菜種ヲ山林ニ作ルト云フコトハ、油モ  
勿論欲シイノデアリマスケレドモ、併シ其  
ノ粕ヲ取ツテ油粕ヲ肥料ニスルト云フノガ  
大體百姓ノ目標デアリマス、此ノ油ト云フ  
ノハ、今日デハ燃料ニモ大切デアリマシ、  
又食料油トシテモ非常ニ大切デアリマスガ、  
今日デハ自家作油ヲ認メテ居ナイ關係上、  
山林ニ對スル燒畑ニ依ル所ノ菜種ノ增産ト  
云フモノヲ非常ニ阻碍シテ居ルト思ヒマス、  
一般植物油バ、聞ク所ニ依リマスト、一石  
以上ノ供出ニ對シテハ二升四合カノ増配ガ  
アルコトニナツテ居ルヤウデアリマシテ、  
現在菜種ニ付キマシテハ全部供出サレルノ  
デアリマス、是ハ軍關係ノ油ノ關係デアリ  
マセウ、全部供出サレルノデアリマシテ、  
其ノ搾リ粕モ戻ツテ來ナイノデアリマス、  
ソレデ此ノ菜種ノ耕作者ニ對シマシテハ、  
油モヤハリ一石ニ對シテ二升四合ナラバ二  
升四合ノ増配ヲシテ貰フ、或ハ菜種ヲ搾ツ  
タ自家肥料ニ付テハ、之ヲ全般的ニ認メル  
ト云フヤウナ獎勵ノ方法ハ出來ナイモノデ  
アラウカ、是ハ南九州全體ニ對シテ大變ナ

○石黒政委員 農村カラノ生産物ニ付キ  
マシテ、軍需其ノ他必要ナル向キニ是が供  
出ヲ集中スルト云フコトノ爲メノ色々ノ統  
制、ソレガ却ツテ農家ノ自家用トシテノ希  
望ヲ妨ゲマシテ、延イテハ遡ツテ其ノ生産  
ヲ阻礙スルト云フヤウナ問題ハ色々アルノデ  
アリマシテ、其ノコトニ付テハ何カソコニ  
ヤハリ農家ニ留保サセルヤウナ途ヲ講ジタ  
ラドウカト云フコトヲ能ク言ハレルノデア  
リマス、之ニ付キマシテハ既ニ暫ク前カラ  
一部左様ナ取扱ヲシテ居ル物資モアリマス  
ガ、サウデナイ物モアル譯デアリマス、菜  
種ノ如キハ其ノ一例デアリマス、最近ノコ  
トデアリマスガ、ヤハリ或ル軍ノ方面ニ納  
ル途ヲ開イタノデアリマス、所ガ非常ニ其  
ノ希望ガ多クテ、軍用關係ノ要望ニ至ラザ  
ルコト甚ダシイト云フヤウナコトニナツテ  
シマツタ例モ實ハアリマス、中々コマデ  
押詰ツタ今日トシマシテ、寧ロ菜種ハ足ラ  
ナイ位ニ要望サレテ居ルノデアリマスカラ、  
其ノ間ノ處置トシマシテハ餘程慎重ヲ要ス  
ルノデアリマスガ、大體ノ考ヘ方トシマシ  
テハ、是ハ實際農家自身ガ眞ニ要ルヤウナ  
物ニ付キマシテハ、何カヤハリ或ル程度農  
家ニ保有サセルト云フ途ヲ講ジタイ、是モ  
レドモ、ヤハリ農家ニ必要ナル生産ノ爲メ  
ノ物資デアルトカ或ハ生活上ドウシテモ  
必要ナ物デアルトカ、ソレガ又簡單ニ自分  
ノ手許デ得ラレル、サモナケレバ他所カラ  
スルト云フヤウナコトデアレバ、此ノ際ト  
シテ我慢ラシテ貰ハナケレバナリマセヌケ  
農家カラニ從來ノ慣習上贅澤ナコトヲ希望  
スルト云フヤウナコトデアレバ、此ノ際ト  
シテ我慢ラシテ貰ハナケレバナリマセヌケ

デモ買ツテ來ナケレバナラスト云フヤウナコトニ關聯シテノ必要ナ物資デアレバ、御說ノ如ク或ル程度保有スルコトヲ認メルコトハ、是ハ物ノ動キラ餘計ニシナイデ濟マセルトカラ色々々ナ點カラ云ヒマシテ、結構ナコトデアラウト思ヒマス、菜種モ其ノ一ツノ問題デアルノデアリマスガ、唯現在ノ所ハ需給ノ關係ガ餘裕ガナイ爲ニ、事ハ能ク分ツテ居リナガラ一寸踏ミ出シ兼ネテ居ルノデアリマスガ、併シ是モ一ツ今年ハ又十分考ヘテ見タイト思ヒマス

○深水委員 只今御答辯ヲ承リマシタガ、先程私ハ此ノ供出免除ト云フコトヲ、焼畑ニ付テ御考慮願ヒタイト云フコトヲ申シマシタガ、ソレト同ジコトデ只今ノ菜種ノ問題モ、普通ノ所ニ甘譜作ノ代リニ拵ヘルヤウナモノハ、ソレハヤハリ全部出スコトハ當然ダト思ヒマスガ、焼畑等ニ拵ヘマスモノハ、今ノ現状カラ見マスレバ、之ヲ粕ノ肥料モ取レナイ、油ノ増配モシナイト云フコトデアレバ、全然作ル者ハナクナルト云フ状況デアリマスカラ、却ツテ國全體ノ上カラ油ニ非常ナ支障ラ來スデハナイカト思フノデ、十分御調査御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ是デ終リマス

○深澤委員長 加藤君

○加藤(知)委員 私ハ此ノ絲價安定施設法廢止及蠶絲業統制法中改正法律案ノ上程ニ際シマシテ是ガ關聯事項ト致シマシテ、數項目ノ御質問ヲ申上ダタイト存ジマス

第一ニ御伺ヒシタイノハ產繭額ノ目標ニ付テデゴザイマス、御案内ノ如ク昭和八年度ニハ我ガ國ノ產繭高ハ一億萬貫デアツタノガ、昭和十四年度ニハ九千萬貫トナリ、十五年度ニハ八千七百萬貫、十六年度ニハ六千九百萬

貫、十七年度ニハ五千五百萬貫、十八年度ニハ五千四百萬貫ト云フヤウニ後退又後退、漸減ノ一途ヲ辿ツテ居リマス、政府モ亦產繭目標ヲ九千三百萬貫臺カラ八千萬貫臺、七千三百萬貫臺、六千三百萬貫臺、五千三百萬貫臺トドンヽ一切下ゲテ居ルノデアリマス、若シ此ノ勢デ停止スル所ガナカツタナラバ、遠ガラズ我ガ國ノ產繭高ハ殆ド絶滅ニ近イモノニナリハセヌカトノ懸念ガアルノデゴザイマスガ、政府ハ此ノ點ヲ如何様ニ御考ヘデゴザイマセウカ、產繭ノ狀態斯クノ如クニシテ、更ニ他ノ纖維、即チ羊毛、綿絲、人絹、麻等ノ最近ニ於ケル各纖維ノ状況カラ之ヲ觀察シマスルト、此ノ大東亞戰爭ガコヽ一年ニ済メバ兎モ角、若シ是ガ更ニ今後五年、十年ト、續クモノト致シマスルナラバ、我ガ國民生活上衣料問題ニ於テ由々シキ問題ガ起リハセヌカ、就中軍需關係ニ於テ容易ナラザル大問題ガ起リハセヌカト云フコトヲ私ハ私カニ之ヲ心配致シテ居ルモノデアリマス、然ル所去月二十九日、此ノ席上ニ於キマシテ山崎農商相ハ此ノ綿價安定施設法ノ廢止ニ關スル理由ヲ御述ベニナリマシテ、我ガ國ノ蠶絲業ハ今ヤ輸出産業ト云フ昔ノ姿ヲ全然脱却シテ、國策纖維品ノ立場ニ於テ、特ニ軍需ノ充足ナリ、民需ノ補給充足ト云フヤウナコトニ、其ノ使命ヲ果シツ、アルヤウナ次第アルト申サレタノデアリマスガ、陸軍製織廠長清水陸軍中將ハ、地方蠶絲關係官並ニ道府縣養聯資源委員會議ノ席上ニ於キマシテ次ノヤウナコトヲ申サレタノデアリマス、日本ニハ養蠶ガアル、軍ノ需要ガドレ位アルカト云フコトニ付テ詳シク申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、大體御話シマスト、軍部其ノ他總體量

ノ或ル「パーセント」ヲ網トシテ使フトレバ單纖維デ〇〇萬貫、繭トシテ〇〇〇萬貫必要トナツテ居ルノデアリマス、更ニ其ノ使用量ヲ増加シテ〇〇%ノ短纖維ヲ使フトスレバ〇〇〇萬貫、繭ニシテ〇、〇〇〇萬貫必要トナリマス、所ガ現在繭ハドノ位出來ルカト言ヘバ、本年ノ生産目標ハ——是ハ昨年ノコトヲ言フノデアリマスガ——六千三百萬貫ト聞キ及シニ居ルノデアリマス、企畫院ノ物動計畫ハ〇〇〇萬貫トナツテ居マスカラ、是ダケデハ私ノ方デ要求スル量ニハ足リナイコトニナルノデアリマス、併シ現在ノ所私共ノ方デ今直チニ〇〇%費消スルト云フコトハ困難デスカラ、サウ差迫ツタ問題デハナイノデアリマスガ、是デハドウシテモ〇〇%使ハネバナラナイコトニナルト思フノデアリマスノデ、繭ハ少クトモ春夏秋合ハセテ一億萬貫ヲ目標トシテ生産シテ戴カナケレバナラナイノデアリマス、サウナツテコソ初テ安心シテ戰が出来ルノデアリマスカラ、是ダケノ繭ハ我々ガ引受ケタト云フコトデ、頑張ツテ貰ヒタイト思フノデアリマス、云々トス様ニ申サレタノデアリマス、此ノ清水陸軍中將ノ話ニ依リマスト、一億萬貫ノ繭ヲ生産セナケレバ安心シテ戰ハ出來ナイト云フコトニナルノデアリマス、此ノ際我々ハ繭一億萬貫ノ生産目標ヲ六千三百萬貫ト掲ゲラレタガ、アルヤウナ次第アルト申サレタニ五十三百萬貫ト致シタノデアリマス、御説ノ通り最近コヽ、四、五年ノ傾向ヲ見マスト、漸次はガ減少シテ居ルヤウナ次第アルノデアリマス、然ルニ政府ハ昨十八年度ノ繭目標ヲ掲ゲルト同時ニ、之ヲ實績ニ現ハス

アルト致シマシタ所デ、餘リニモ軍ノ要求スル目標ト、農商省ノ生産目標トニ於テナル差ガアリマスノデ、是ガ獎勵ノ位置ニ立ツ者ハ大イニ迷ハザルヲ得ナイコトニナルノデアリマス、ソコデ我々ガ申上ゲルマスゴザイマセヌガ、今ハ大東亞戰爭ノ眞最中デアリ、何事モ戰爭本位デ行カネバナラス今日ノコトデアリマスカラ、軍需方面ニ於テ一億萬貫以上ノ繭ヲ生産シテ貰ハネバ安心シテ戰ハ出來ヌト申サル、以上ハ、繭絲業ヲ五大重點產業ト同様ニ之ヲ取扱ヒ、一億萬貫生産目標ヲ立テ、百四十餘萬戸ノ進猛進セシムルヤウニ仕向ケラレルコトガ本當デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、先にテ之ヲ御伺ヒ申上ゲタイト思フノデゴザイマス  
○山口(喬)政府委員 產繭確保ニ付キマシテ只今御話ガアリマシタガ、我々モ最近及ビ今後ノ見透シトシマシテノ纖維事情カラ見マシテ、ドウ云フ考ヘラ持ツテ居ルカ、具體的ニ本年度ノ產繭高ヲドウ云フ風ニ狙ヒヲ付ケテ、ドウ云フ風ニ實現シテ行クカ、斯ウ云フ風ナ觀點カラ見マスト、色々具體的ナ事情ガアリマスノデ、只今御話ノヤウニ五千三百萬貫ト致シタノデアリマス、御シマシテ之ヲ出來ルダケ改善致ス、サウ云フ繭關係、其ノ他資材ノ關係等カラ見マシテ、ドウセ色々ナ條件ガ良クアリマセヌ、併シ計算ノ基礎ニ付キマシテハ、色々ナ點ヲ考云フ風ナ心組ミデ實ハ色々考ヘテ居ルヤウナ次第ゴザイマス、尙ホ五千三百萬貫ノ

○加藤(知)委員 此ノ問題ハ慎重ニ取扱ハナセ、斯ウ云フ趣旨ニ於テ之ヲ決定致シテ居ツタノデアリマスガ、今度ノ五千三百萬貫ト云フモノハ、實ハサウ云フ意味ノ一ス、唯十八年ハ六千三百萬貫ノ目標ト致シテ居ツタノデアリマスガ、昨度ノ五千三百萬貫ト云フモノハ、實ハサウ云フ意味ノ一ス、昨度ハ六千三百萬貫ノ目標デ、實收ガ五十四百萬貫デアツタノデアリマス、此ノ實收ノ實收ハ確實デアルハ斯ウ云フヤウナ見當デアリマシタノデ、此ノ五千三百萬貫ヲ摺マヘマシテ、少クトモ之ヲ割フナイヤウニ、是ガ目標ト云フ意味デナク、之ヲ必ズ實現スル計畫數量、斯ウ云フ風ナ考ヘゴザリ民需ノミナラズ軍需ノ關係カラ言ヒマシテモ、絹纖維ノ方ハ勿論多々益辨ズルヤウナ需給狀況デアリマスノデ、從來ハ纖維ノ物動計畫トシマシテハ棉花、「スフ」、人絹等ハ物動物資トシテ取扱ツテ居ツタノデアリマシテ、絹纖維ノ方ハソレトハ多少取扱ヲ異ニシテ居ツタノデアリマスガ、今度ハ是モ物動物資ニ組入レマシテ計畫ヲ立テタ以上ハ、其ノ計畫ノ遂行ヲ必ず確實ニヤハス

ノ要求ガ一億萬貫以上アツテモ尙ほ足リナ  
イト言ハル、此ノ場合、現ニ一昨日モ或ル  
所デ清水中將ハ同様ノコトヲ御演説ニナリマ  
シテ、如何ニ軍ガ我ガ蠶絲ニ對シテ大ナル  
期待ヲ持ツテ居ラル、カト云フコトガ想像出  
來ルノデゴザイマスカラ、ドウカ農商省デハ  
軍ノ方ト能ク御交渉ニナリ、成ベク軍ノ期待  
ニ副フヤウニ致サレタイ、我々ハ國民ノ一人  
トシテ切ニ之ヲ要望スル次第デアリマス  
次ニ御伺ヒヲ致シタイト思ヒマスコトハ、  
桑園整理ノ理由ニ付テデアリマス、產繭額  
減少ノ情勢ハ只今申上ゲタ通りデゴザイマ  
スガ、其ノ減少ノ原因ハ一體何處ニアルノ  
デゴザイマセウカ、繭價ノ割安カラ蠶絲業  
ノ前途ニ對スル危惧、勞力、肥料其ノ他ノ  
生産資材難ノ爲メ等々、減少ノ原因トシテ  
澤山列舉セラレテハ居リマスガ、併シナガ  
ラ產繭額ニ急減少ヲ來シタ最モ大キナ原因  
ハ、去ル昭和十四年度ニ二千二百五十町歩、  
同十五年度ニ一萬三千町歩、十六年度ニ一  
萬五千五百町歩ト矢繼ギ早ニ桑園ノ大整理  
ヲ行ハレタコトニ存スルコトハ爭フベカラ  
ザル事實デアルト思フノデゴザイマス、斯  
カル事實ヲ御承知ノ政府ガ又々此ノ十九年  
度ニ於テ七千町歩ノ桑園ヲ整理セシムベク  
既ニ其ノ指令ヲ各府縣ニ對シテ發セラレタ  
ト云フコトデゴザイマスガ、如何ニ食糧增  
産ノ爲メナリトハ申セ、軍ノ要求繭一億萬  
所デゴザイマス、七千町歩ノ耕地ハ、敢  
テ桑園ヲ潰サズトモ、他ニ容易ニ之ヲ求  
ムルコトガ出來ナイデゴザイマセウカ、少  
シ助成金ノ割合ヲ良クシマスルナラバ、七  
千町歩ハ愚カ何萬町歩デモ容易ニ開墾シ

テ、之ニ依ツテ食糧増産ノ目的ニ資スルトガ出來ルト我々ハ考ヘルノデゴザイマス、少クトモ三四四年ヲ經過シナケレバ満足ナ收葉量ヲ擧ゲルコトノ出來ナイコトハ、私ガ改メテ申スマデモゴザイマセヌ、ソレヲ能ク御承知ノ政府當局ガ敢テ此ノ際七千町歩ノ桑園ヲ整理サレルト云フコトニハ、何カ他ニ深イ理由ガアルモノト思ハレルノデゴザイマスカラ、其ノ理由ヲ我々ノ了解出來ルヤウニ一ツ御説明ヲシテ戴キタイト思ヒマス

尙ホ桑園整理ト云フコトガ養蠶家ノ心理状態ニ大影響ヲ與フル、其ノ上ニ更ニ養蠶農家ヲシテ厭蠶氣分ヲ惹起セシムル事實ヲハシタイト思フノデアリマス、ソレハ外デハゴザイマセヌ、以前トハ違ヒマシテ養蠶業者ガ蠶ヲ飼フコトヲ大層臆劫ニ思フヤウニナツタノデアリマス、其ノ上收納工場地盤割ト云フモノガ出來マシタ結果トシテ、養蠶業者ノ所屬工場ガ決マリマシタノデ、製絲家ノ立場カラ云ヘバ、其ノ所屬養蠶家ハ自家糞籠中ノモノト云フヤウナ譯デ、才役人様ニデモナツタヤウナ心持デ、養蠶家ニ對スル態度ガ不親切トナツタト言ハル、ノデアリマス、中ニハ頗ル横柄ナ者モアルト言ハレマス、勿論全部ノ製絲家ガサウナツタト申スノデハアリマセヌガ、大部分サウナツタト言ハレテ居ルノデアリマス昔ノ特約時代ノコトヲ忘レナイ養蠶家トシテハ、如何ニモ癪ニ觸ルコトガ多イノデ、ア、詰ラヌト云フ感ジヲ起ス者ガ少クナイト言ハレテ居ルノデアリマス

斯クテ粒々辛苦ノ結果、漸クニシテ取上げ  
タ爾ヲ製絲家ノ手ニ渡シマシテモ、直チニ  
其ノ繭代金ハ貴ヘナイノデアリマス、繭檢  
定ノ濟ムマデハ貴ヘナイノデアリマス、所  
ガ其ノ繭ノ檢定が容易ニ濟マナインデアリ  
マス、以前ハ庭先賣デ製絲家ノ方カラ養  
蠶家ノ方へ出掛けテ行キ、繭ノ賣買契約ガ  
濟ムト同時ニ繭代金ハ直チニ養蠶家ノ懷ロ  
ヘ入ツタノガ、今度ハソレトハ反對ニ養蠶  
家ノ方カラ出掛けテ行カネバナラナイ、收  
納工場ノ遠イ所ハ二里モ三里モ擔イデ行カ  
ネバナラナイ、頭ヲペコ／＼下ゲテ之ヲ納  
メ、而モ繭検査ノ濟ムマデハ其ノ代金ヲ貴  
ヘナイト來ルカラ、甚シイノニナルト一箇  
月餘モ其ノ代金ヲ貴ヘヌコトニナルノデア  
リマス、ヤレ規則ダ、ヤレ法律ダ、ヤレ統  
制ダト質朴ナ養蠶業者ニ對シテ凡ユル方面  
カラ嫌ガラセヨヤルカラ、養蠶業者ニスレ  
バ、ニアニ寢ル目モ寢ナイデ蠶ヲ飼ツテコ  
ンナ嫌ガラセヨヤラレテ堪ルモノカ、蠶バ  
カリガ職域奉公デモアルマイ、何ヲヤツテ  
モ同ジ職域奉公ナラ、樂ヲシテ澤山オ金ノ  
取レル方へ行カウデハナイカト、斯様ニ考  
ヘル者ガ近頃中々多クナツテ來タノデアリ  
マス、今ハ大東亞戰爭ノ眞最中、一國ノ興  
廢ヲ賭シテ戰ツテ居ル今日、左様子不心得  
ノ考ヘヲ起スナドトハ以テノ外ダ、不都合  
ナ奴ダト叱ツテ見タ所デ、現在ノ機構ガ今  
申上ゲタヤウナ風ニナツテ居ツテノコトデ  
アツテ見レバ、第三者ノ立場カラ之ヲ見レ  
バ、寧ロ叱ル方ガ無理ト言ハレテモ仕方ガ  
ナイト思フノデアリマス、桑園整理ト相俟  
ツテ是等ノ問題ガ產繭減少ノ要因トナツテ  
居ルコトヲ政府當局ハ如何様ニ御考ヘデア

リマセウカ 東條首相ハ事務簡捷ト云フコ  
トヲヨク申サレマスガ戰時體制下養蠶デア  
ル以上ハ、樂ニ蠶ノ飼ヘルヤウニスル譯ニ  
ハ行カナイデゴザイマセウカ、食糧増産ハ  
今日最モ大切ナ問題デアリマスカラ、其ノ  
爲ニ桑園ノ整理ヲナサルコトニ私決シテ反  
對ヲシテ申上ゲルノデハアリマセヌ、唯產  
繭減退ノ隠レタル事實ノ一例トシテ以上ノ  
コトヲ御参考マデニ申上ゲタニ過ギマセヌ、  
農商省當局ハ能ク此ノ事實ヲ御調査ニナツ  
テ善處セラレタイト思フノデアリマスガ、  
之ニ對シテ御所見ヲ御伺ヒ申上ゲタイノデ  
ゴザイマス

場所デサウ云フモノヲ桑園ノ方ニ出來ルダ  
ケ活用スルヤウニト云フ風ナ意味デ進メテ  
居ルヤウナ次第デゴザイマス

ソレカラ第二點ノ、サウ云フコト、其ノ  
他繩代金ノ關係等カラ來マス、養蠶農家ニ  
及ボス心理上ノ問題デアリマスガ、是モ御  
說ノ通り、我々モ洵ニ心配シテ居ル點デア

リマス、併シナガラ第一點トシマシテソコ  
ニ已ムヲ得ザル事情ガアリマスノデ、ソコ  
ハ一ツ最小限度ノ桑園ノ整理ヲヤリマシテ、  
ソレカラ來ル心理的惡影響ハ出來ルダケ之  
ヲ除クベキ方策ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、  
例ヘバ只今御話ガ出マシタヤウニ、現在ノ  
絹織維ノ性格、必要性、殊ニ戰力トシテノ  
必要性ト云フ風ナコトヲ一層周知徹底セシ  
メマスル最モ效果的ナ方法ヲ講ジマシタリ、  
又隨ヒマンシテ產繩確保ノ效果ト申シマスカ、  
サウ云フ意味デ養蠶ノ結果ニ對シマスル國  
家的ナ報獎ト云フ風ナ制度モ色々併セマシ  
テ、桑園ハ減ツタケレドモ、是ハ事情已ム  
ヲ得ザルコトニ屬スルノデ、其ノ關係ハ已  
ムヲ得ナイガ、併シナガラ養蠶ノ重要性ハ  
斯様ニアルノダ、隨テ產繩ニ對シテハスウ  
云フ風ナ國家又ハ色々ナ團體ニ於テ大キナ  
期待ヲ持ツテ居ルノダト云フコトヲ能ク知  
ラシムルヤウナ方法ヲ併セ行ヒマシテ、出  
來ルダケ養蠶精神ノ昂揚ヲ圖リタイ、斯様  
ニ思ツテ居ルノデアリマス、全ク御說ノ通  
思ヒマス

○加藤(知)委員 次官ニ御尋ねシタインデ  
スガ、次官ハドウセラレマシタカ  
○杉山委員長代理 一寸御待チ下サイ、其  
ノ項ヲ保留シテ置イテ次ノ質問出來マセス

カ

○加藤(知)委員 次ニ御伺ヒ申上ゲタイン  
ハ、五千三百萬貫ト云フ繩ノ生產目標ヲ掲  
ゲラレマシタ以上ハ、如何ニシテ其ノ實績ヲ  
舉げ得ルカト云フコトヲ御伺ヒシタインデ  
アリマス、ドウシテ其ノ實績ヲ舉ゲルカ、  
斯ウ云フコトヲ御尋ネ申上グタイ、本年度  
ノ桑園反別ハ三十八萬町歩位トハ存ジマス  
ガ、ドノ位アルカシツカリ分リマセヌノ  
デ、假ニ四十萬町歩ノ桑園トシテ平均反當  
十五貫ノ繩ガ取レルトシマスレバ、六千萬  
貫ノ繩ガ取レル計算ニナルノデアリマス、  
併シ今日ノ桑園ハ色々ノ意味ニ於キマシテ、  
恐ラク平均十二貫位ノモノデハナカラウカ  
ト推測スルノデアリマスガ、若シ其ノ推測  
ニシテ違ハヌトシマスレバ、四千八百萬貫  
ノ繩ガ取レルコトニナリマス、目標ヨリモ  
五百萬貫ノ不足トナルノデアリマスガ、其  
ノ五百萬貫ノ繩ハドウシテ增産スルカト云  
フコトガ問題ニナルト思フノデアリマス、  
况シヤ此ノ四十萬町歩ノ桑園デ軍ノ要求セ  
ラル、一億萬貫ノ繩ヲ取上ガヨウト云フコ  
トニナルト、反當二十五貫ノ繩ヲ取上ガナ  
ケレバナラヌコトニナリマス、假ニ勞力ハ  
充分、間ニ合フト致シマシテモ、桑園ノ實力  
ガ果シテ之ヲ許スヤ否ヤ、反當收繩量ノ多  
イ桑園ハ食糧增産ノ爲ニ整理セラレ、現存  
ノ桑園ハ漸ク反當十二三貫ノ實力シカナイ  
モノガ大部分ヲ占メテ居ルトシマスレバ、  
思ヒマス

ドト云フコトハ全ク机上ノ計算トナリマス、  
五千三百萬貫、反當十三貫ノ繩モ動トモス  
レバ、其ノ實績ニ於テ及バザルコト遠シデ  
アツタトノ歎聲ヲ發スルコトニ相成リハシ  
ナイカト心配スルノデアリマス、併シ一億  
萬貫ハ將來ノコト致シ、現實ノ問題トシ  
テハ既ニ五千三百萬貫ト目標ヲ定メタ以上

ハ、否ガ應デモ此ノ目標ダケハ實績ニ現ハ  
サナケレバ、洵ニ申譯ノナイコトト思フノ  
デアリマスガ、政府當局ハ此ノ點ヲ如何様  
ニ御考ヘデゴザイマセウカ、又如何ニシテ  
其ノ實績ヲ舉グヨウトセラル、ノデアリマ  
セウカ、其ノ實績ヲ舉ゲラル、方法手段ヲ  
若シ伺フコトガ出來ルナラバ、具體的ニ一  
ツ御示シヲシテ戴キタイト思フノデゴザイ  
マス、併シ何ト言ツテモ増產ト云フコトニ  
ナルト、問題ハ勞力ト肥料ノ二ツニ歸著ス  
ルモノト思ヒマスノデ、之ニ對スル私ノ卑  
見ヲ一つ申上ゲタイト存ジマス

イマス

○石黒政府委員 加藤委員御心配ノヤウニ  
產繩確保ハ中々容易デハゴザイマセヌ、同  
時ニ一面ニ於テ需要ノ方面モ極メテ逼迫致  
シテ居リマスノデ、是ガ增產ニ付キマシテ  
ハ、特段ノ處置ヲ講ジナケレバナラヌ段階  
ニ立ツテ居ルト思フノデアリマス、我々第  
一點致シマシテハ、此ノ增產ノ爲ニハ何  
ト申シマシテモ養蠶農家自體ガ、養蠶ノコ  
トガ今日ノ場合此ノ戦爭遂行ニ直接極メテ  
緊切ナル關係ノアル事柄デアル、是ガ增產  
ハ是非トモ達成セネバナラヌト云フソコニ  
強イ熱意ヲ持ツテ事ニ當ルヤウニ指導致シ  
マスルコトガ、近年ノ養蠶ノ狀況等カラ照  
シ合セテ見マシテモ、極メテ必要デアルト  
存ズルノデアリマス、尙ホ今御話ノ如ク勞  
力ノ點ニ付テノ補給ノコト、或ハ殊ニ又肥  
料關係、是ハ主要食糧方面ノ肥料ノ狀況モ  
決シテ樂デハゴザイマセヌノデ、桑園等ニ  
於キマシテモ御話ノ如キ自給肥料ノ增產ニ  
依ツテ、桑ノ增產上必要ナル養分ヲ補給ス  
ルコトヲ考ヘナケレバナラナイ、是ガ爲ニ  
ハ丁度今御話ノヤウニ堆廐綠肥、ソレカラ  
ハ又同時ニ加藤委員ノ御話ノ燒炭が出來ル  
コトニモナルノデアリマシテ、燒炭ノ方面  
カラ云ヘバ燒炭、燒土ノ方面カラ云ヘバ燒  
土ト云フコトニナリマスガ、簡易ナル燒土

ノデゴザイマス、私ノ今日マデ調査研究致シタ  
バ、所謂健苗健稻ノ實績ガ舉ガツテオ米ノ  
大增產トナリ、之ヲ桑園ニ施セバ、收穫量  
テ一害ナキ肥料デアルト云フコトヲ私ハ茲  
ニ斷言スルノデアリマス、之ヲ稻作ニ施セ  
バ、所謂健苗健稻ノ實績ガ舉ガツテオ米ノ  
モノガ大部分ヲ占メテ居ルトシマスレバ、  
ノ増加トナリテ、健蠶良繩ノ多收穫トナル  
思ヒマス

ヲ致シマシテ、土其ノモノヲ燒イテ肥料分ヲ還元スル、ソレニハ又御話ノ如ク燒土ヲスル爲ノ材料トシテ色々ノ草木等ヲ用ヒマシテ、サウシテ今ノ燻炭ガ出來ルト云フコトニモナル譯デアリマス、兩々相俟チマシテ土其ノモノヲ燒キ、又同時ニ燻炭モ出來テ養分ヲ補給スルト云フコトニナラウト思ヒマス、尙ホ從來カラ相當ニ獎勵シテ居リマスガ、綠肥ノ栽培ノ如キモ桑園ニハ最モ適切テアリマス、之ニ付テハヤハリ種ノ確保ト云フコトニ付テ或ル程度ノ限度ガアルノデアリマスガ、何トカシテ最大量ノ種ヲ集メテ綠肥ノ栽培ニ依ル肥料分ノ補給ヲ十分ニ致シタイト思フノデアリマス、尙ホ堆肥ニ付キマシテモ、御説ノ通りデアラウト思ヒマス、尙ホ其ノ他ニモ色々ザイマスガ、御説ノ點ニ付キマシテ一應御答へ致シマス

イ、デアリマスカラ幸ヒニ燻炭肥料ト云フ  
モノガ農家ノ手ニ於テ容易ニ製造スルコト  
ガ出来ルノデアリマスガ、焼土ヲ全耕地ニ  
澤山之ヲヤルヤウニ造ラシムルコトハ一寸  
容易デナイ、併シナガラ燻炭ハ政府ガ一タ  
ビ肚ヲ決メテ、ドウシテモ之ヲヤラセヨウ  
ト云フ御考ヘニナレバ、必ズヤ多量ノ燻炭  
ヲ造ラシムルコトが出来、同時ニ燒土モ相當造  
ルコトガ出来ルノデアリマス、即チ國有林野  
ノ一部ヲ開放シテ、雜草ナリ雜木ナリヲ伐採  
シテ之ヲ燻炭ニスル、立木ノ下刈ヲヤラセテ之  
ヲ燻炭ニナサシムレバ立木ハズンヽ成長  
シテ良クナリ、而シテ農家ハ燻炭ト云フ貴  
重ナ肥料ガ得ラレル、是ハ國有林野ニ限ツ  
タコトデアリマセヌガ、兎ニ角山ノ樹木ノ  
下刈ヲヤレバ荊棘デアラウガ葦デアラウガ  
葦デアラウガ、何デモカデモ大抵ノモノハ  
燻炭ニスルコトガ出来ル、一面ニ於テハ仕  
立テヨウトスル其ノ樹木ガ立派ニ早ク成長  
スルコトニナルカラ、一石二鳥ノ効キガソ  
コニ現ハル、コトニナルノデアリマス、ソ  
コデ燻炭肥料トハ如何ナルモノデアルカト  
云フニ、燻炭ノ中ニハ御承知ノヤウニ窒素、  
燐酸、加里ト云フ三要素ガ含マレテ居ル、  
尤モ其ノ窒素ハ不溶解性ニナツテ其ノ効キ  
ヲ現ハサヌケレドモ、燐酸ト加里ハ六割以  
上ハ可溶性トシテ立派ニ效果ヲ奏スルト云  
フコトハ、是ハ學者ノ實驗ニ於テ證明サレ  
テ居ル、デアリマスカラ燐酸、加里ノ少イ  
今日ニ於テ、之ヲ燻炭ニ依リ補充シテヤレ  
バ立派ナ米ガ出来ル、立派ナ桑ガ穫レル、現  
ニ郡は株式會社デ桑園ニ付テ色々ナ試験ヲ  
ヤラレタ

ノトノ比較試験ノ成績ヲ聞イテ見マスト、  
タ方ノ重量ハ七匁ト云フ格段ノ差ガアルト  
云フノデアリマス、實驗ノ結果サウ云フ成  
績ノアルコトヲ我々ハ聞イテ居ルノデアリ  
マス、又稻ノ苗ノ如キモ燻炭肥料ヲヤレバ  
非常ニ丈夫ニ育ツノデアリマス、即チ燻炭  
ヲヤツタ所ノ苗ハ全ク其ノ根ノ張方ガ違フ  
ノデアリマス、故ニ病蟲害ニモ侵サレ難イ  
ト云フ、サウ云フ健カナ立派ナ苗ガ出來ル  
ノデアルカラ、若シ之ヲ全國ノ稻作ニ全部  
之ヲ施スト云フコトガ出來ナケレバ、セメ  
テハ苗代ガケデモ此ノ燻炭ヲヤラセタナラ  
バ、ドレダケ助カルカ分ラヌ、御案内ノ如  
ク一昨年ハ五風十雨ト云フ非常ニ順調ナ氣  
候デアツタ、所ガ昨年ハ大旱魃デアツタ、是  
等ニ對シテ何等策ノ施ス所ガナイトアツテ  
ハ私ハ相濟マスト思フ、幸ヒ燻炭肥料ナル  
モノヲヤリマシテ、サウシテ立派ナル苗ヲ  
育テテ之ヲ移植セシムルヤウニシテ置ケバ、  
或ル程度マデハ旱害ニモ、冷害ニモ、又病  
蟲害ニモ堪ヘルコトニナルカラ今カラ其ノ  
手順ヲ盡サシムベク獎勵ノ方針ヲ立テラレ  
テハ如何デアリマスカ、若シ燻炭肥料ガイ  
ケナイト云フ說ヲナス者ガアリマスナラバ、  
私ハ堂々ト其ノ御說ヲ伺ヒタインデアリマ  
ス、私ガ此ノコトヲ敢テ申上ゲル所以ノモ  
ノハ、凡ユル方面カラ之ヲ調査シテ、モウ  
間違ヒナイト云フ確信ガ付イタカラ申上ダ  
ルノデアリマス、昭和十九年度ハ食糧ノ決  
戦期デアルト言ハル、程此ノ大切ナル場合  
デアリ、又產蘭五千三百萬貫ト目標ヲ掲ゲラ

レタ此ノ場合、是非トモ此ノ燐炭肥料ヲ大  
大的ニ獎勵サレタイト考ヘルノデアリマス、  
併シ若シ次官ニ於カレマシテ、是ハ斯ウ云  
フ意味ガアルカラ今獎勵スル譯ニ行カヌト  
云フ御意見ガアルナラバ、此處デハツキリ  
言ツテ戴キタイ、若シサウデナカツタナラ  
バ、是ハダイニヤラウト云フコトデ一ツヤ  
ツテ戴キタイ、私ハ是ハ國家ノ爲ニ本當ニ  
熱意ヲ以テ申上ゲル次第デアリマスカラ、  
之ニ對スル次官ノ御所見ヲ今一應改メテ御  
伺ヒ申上ガタイト思ヒマス。

○石黒政府委員 本年ノ食糧其ノ他農産增  
産ノ爲ニハ肥料方面ニ付テ格段ノ措置ヲ講  
ズル必要ガアルト云フコトヲ豫ネテ痛切ニ  
感ジテ居リマシテ、現ニ色々ト準備中デア  
リマスガ、其ノヤリ方トシテハ、兎ニ角凡  
ユル方法ヲ執ツテ見タイト考ヘテ居ルノデ  
アリマス、左様ニ致シマシテ、御話ノ燐炭  
ノ如キモノモ、是レ亦其ノ中ニ込メテ參リ  
タイト思ツテ居リマス、先達モ私ノ所ヘ  
都市塵埃ヲ以テ燐炭ヲ作ルコトニ付テノ話  
ガアツタノデアリマスガ、其ノ具體的ナ内  
容ハ此ノ場合省略致シマスケレドモ、大變  
結構ナコトニ聽イタヤウナ次第デアリマス、  
單リ燐炭ノミナラズ、他ノコトモアリマス  
ケレドモ、此ノ燐炭ノ利用ト云フヤウナコ  
トニ付キマシテモ、勿論考ヘテ參リタイト  
モノニアル所ノ、就中加里等ノ肥料分ノ還  
存ジテ居リマス、只今燒土ノコトニ付テ申  
上ゲマシタガ、是ハ所在ノ桑畑デ燒土ヲヤ  
ルコトモ獎メタイト思ヒマス、是ハ土其ノ  
モノニアル所ノ、就中加里等ノ肥料分ノ還  
元ガ出來マシテ、サウシテ成育ノ上ニ效果  
ガアル譯デアリマシテ、從來モ地方ニ依リ  
マシテ左様ナコトヲヤツテ居リマスノデ、  
サウ云フコトモ考ヘテ居リマス、是ハ殊ニ



デアリマスガ、左様ナ戰時農業委員ニ付キ  
マシテ、御話ノ如ク、本人ガ自分ノ生産ノ  
規模モ非常ニ小サイ、ソレデヨソヘ行ツテ  
他ノ仕事ヲヤリタイト云フ希望ガ假ニ出テ  
來タト致シマス、希望ガケデハ、假ニソレ  
ハ認メナイト致シマシテモ、一方ニ於テ地  
方ノ鑛工業方面ニ於テモ、御承知ノヤウニ  
相當ニ勞務ヲ必要トシテ居ル、其ノ場合ノ  
調整ヲドウスルカト云フコトニナリマスト、  
結局村ナラ村デ、其ノ村デ擔當シテ居ル食  
糧増産ナリ、何ナリノ農業生産上ノ任務ガ  
アル、其ノ一人ノ人ガ離レテモ、ソレヲ補  
充スル途モアルシ、出テ行ツテモ差支ヘナ  
イ、本人モ出テ行キタイト云フヤウナコト  
ナカラウカト思フノデアリマス、併シソレ  
デアリマシタ場合ニハ、恐ラクハ先ヅ以テ  
要員ノ解除ト云フヤウナコトヲヤルノデハ  
テ居ルノデアリマス、然ルニ一箇年ノ保有  
ノデ、初メテ是ハ國家的ナ責任ヲ持ツテ居  
ルモノト思ハレルノデアリマスガ、一箇年  
ノ保有米モ残セナイ、供出モ出來得ル農家ト云フ  
ノノ完遂ニハナラスト云フ風ニ我々ハ考ヘ  
テ居ルノデアリマス、然ルニ一箇年ノ保有  
米ヲ残シテ、更ニ供出出來得ル農家ト云フ  
ノデ、御承知ノ通リダト思フ、昭和十五年ニ兼  
業農家ガ五四・三%デアツタモノガ、昭和十  
六年ニハ五八%、昭和十七年ニハ六一・五%、  
斯ウ云フ風ニ非常ニ増加シテ居リマス、殊ニ  
農業ヲ從トスル、斯ウ云フ農家ガ大變殖工  
業來マスルト、生産ガ非常ニ減ル、自分ノ  
飯米ダケヲ確保スレバ宜イ、供出ノ責任ハ  
ベキ方面ヘ向イテ行クト云フヤウナコトニ  
ナルベキデハナイダラウカ、斯様ニ私共ハ  
考ヘテ居ルノデアリマス、勿論、應召モア  
リマセウシ、色々ナコトガアツテ、一タビ  
要員ニ決メタ上ハ、何ガドウナラウトモ、  
是ハ絶對ニ動カシテハナラスト云フベキモ  
ノデハナイグラウト思フノデアリマス、併  
シ又サウ何デモ彼デモ希望ガアレバ動カセ  
ルト云フノデハ是ハ何ニモナリマセヌ、  
是ハドウシテモ生産、ソレカラ其ノ村ノ中  
ノ勞力全般ト云フモノト睨ミ合ハセマシテ、  
適切ナル措置ガ講ゼラレテ行クペキモノダ

ト、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス  
○赤城委員 ソコデ考ヘラレルノハ、生産  
性ノ非常ニ低位ナル農家——是ハ屢々問題ニ  
ナツテ居ルコトト思ヒマスガ、兼業農家ト  
カ、生産性ノ非常ニ低イ農家ヲドウ云フ風  
ニ處置シテ行クカ、之ヲ一つ御聽キシタイ  
ノデス、生産ハ勿論生産シタモノヲ供出ス  
ルコトニ依ツテ國家的責任ヲ全ウスル、ダ  
カラ供出ノ完遂ガナケレバ、生産ト云フモ  
ノノ完遂ニハナラスト云フ風ニ我々ハ考ヘ  
テ居ルノデアリマス、然ルニ一箇年ノ保有  
ノデ、初メテ是ハ國家的ナ責任ヲ持ツテ居  
ルモノト思ハレルノデアリマスガ、一箇年  
ノ保有米モ残セナイ、供出モ出來得ル農家ト云フ  
ノデ、御承知ノ通リダト思フ、昭和十五年ニ兼  
業農家ガ五四・三%デアツタモノガ、昭和十  
六年ニハ五八%、昭和十七年ニハ六一・五%、  
斯ウ云フ風ニ非常ニ増加シテ居リマス、殊ニ  
農業ヲ從トスル、斯ウ云フ農家ガ大變殖工  
業來マスルト、生産ガ非常ニ減ル、自分ノ  
飯米ダケヲ確保スレバ宜イ、供出ノ責任ハ  
ベキ方面ヘ向イテ行クト云フヤウナコトニ  
タルマスカラ、非常ニ骨ガ折レル、其ノ骨ノ  
折レル一ツノ原因ノ中ニハ、ヤハリ小サイ  
農家ト云フカ、農業ヲ本當ニヤラナイ、飯  
米ヲ確保スル程度ノ農業者ガ非常ニ殖エテ  
農工一貫ト云フカ、農工調整ト云フヤウナ  
點デ是ハ相當大キナ問題デアルト思ヒマス  
ガ、農村ニ取ツテモ相當迷惑ナ存在ニナツ  
テ居ルヤウニ考ヘラレル點モアリマス、此  
ノ點ニ付キマシテ當局デハドウ云フ御方針  
デアルカ、一つ御聽カセ願ヒタイト思ヒマ  
ス

○石黒政府委員 之ニ付キマシテハ閣議決  
定ノ中ニモ、耕作農地ノ生産力ノ發揮ヲ怠  
ル農家ニ付キマシテ、食糧増産上特ニ必要  
ガアルト認メマシタ時ニハ、現行ノ臨時農  
地等管理令第八條ト云フ規定ノ運用ニ依ツ  
テ、其ノ農地ノ耕作管理ニ付キ適當ナル措  
置ヲ講ズルト云フコトヲ、閣議決定ノ中ニ  
シテ之ヲ納メル、其ノ小作米トシテ納メル、  
勿論農業會デは代ツテ取立テルヤウナ形  
ニナツテ居リマスガ、從來ナラバ小作米ト  
シテ之ヲ納メル、其ノ小作米トシテ納メル、  
モノハ、國ノ方へ供出スルト云フ形ニナツテ  
居ルノデスガ、現狀ハ一年分ダケノ飯米ヲ  
保有シタイト云フコトデアリマスカラ、自

分デ飯米ヲ保有シマシテ、地主ノ方ヘハ金  
デ納メルト云フコトニナルノデアリマスカラ、是等ノ生産ヲシタモノハ供出ノ米ノ中  
ニ入ラナイ、從來自由取引時代ニ三千二百  
萬石位ノ米ガ出售廻ツテ居ツタノデアリマス  
ガ、現在供出ト云フコトヲセズニ捨テ、置  
イタナラバ、是ハソレヨリ餘程減ツテ來ル  
ダラウ、ソレハ誰モ自分ノ飯米ヲ確保シヨ  
ウト云フコトニナリマスノデ、捨テ、置イ  
タナラバ、自由販賣時代ニ動イタ米ヨリモ  
少イノデハナイカ、ソレガ四千萬石以上ノ  
供出ヲスルト云フコトニナツテ居ルノデア  
リマスカラ、非常ニ骨ガ折レル、其ノ骨ノ  
折レル一ツノ原因ノ中ニハ、ヤハリ小サイ  
農家ト云フカ、農業ヲ本當ニヤラナイ、飯  
米ヲ確保スル程度ノ農業者ガ非常ニ殖エテ  
農工一貫ト云フカ、農工調整ト云フヤウナ  
點デ是ハ相當大キナ問題デアルト思ヒマス  
ガ、農村ニ取ツテモ相當迷惑ナ存在ニナツ  
テ居ルヤウニ考ヘラレル點モアリマス、此  
ノ點ニ付キマシテ當局デハドウ云フ御方針  
デアルカ、一つ御聽カセ願ヒタイト思ヒマ  
ス

○赤城委員 當面ノ問題トシテハ今御説明  
戴イタコトデ能ク分リマシタガ、方針トシ  
テハドウ云フ方針デアルカ、當面ノ問題ト  
シテハ能ク分ルノデス、例へバ昨年ノ四月  
ノ皇國標準農村確立ノ際ノ要綱ノ中ニ、自  
己講ズルヤウニ致サセタイ、斯様ニ考ヘテ、  
ノ生産力ハ十分ニ發揮ヲスルヤウニサレテ  
地ヲ減ラサセルトカ、色々ナ左様ナ措置ヲ  
講ジマシテ、何トカシテ農村ニ於ケル農地  
云フヤウナ時ニハ、或ハ其ノ耕作ヲスル農  
地ヲ減ラサセルトカ、色々ナ左様ナ措置ヲ  
セヨウトスレバ、ドウシテモ粗笨ナ耕作ニ  
先ヅ以テ生産力ノ發揮ヲ十分ニ盡シ得ナイト  
發ヲ求メマシテ、併シ労力ノ關係其ノ他デ  
地ノ耕作ヲサセルヤウナコトモナシ得ル譯  
デアリマス、併シソコマデ參リセマスデモ、  
开放サシテ自作農ヲ作ツテ行ク、之ニ依ツ

テ相當生産モ舉リ、又土地ト農民トノ結付  
キト云フモノガ出來ルト云フ考ヘ方ハ洵ニ  
當然デアリマスルガ、ソレト同時ニ唯或ル  
面積ガ自分ノ所有權ニナツタト云フダケ  
デハナク、或ル程度ノ廣サノ面積ニシテ行  
クト云フコトニナレバ、ドウシテモ小サイ  
農家ニ何カノ措置ヲ執ツテ專業農家ト云フ  
モノガ、育成サレルト云フ形ニナルト思フ、  
昨年ノ皇國農村確立要綱ノ中ニモ、零細農  
ト言ヒマスカ、兼業農家ノ積極的整理ヲ前  
提トシテ——勿論地主ノ土地ノ開放ト自作  
農創設ト云フコトモ缺クベカラザルコトデ  
アリマスガ、此ノ小サイ農家ノ整理ト云フ  
コトモ、相當前提トシテ專業農家ノ維持育  
成ニ乘出スト云フヤウナ方針ヲ示サレタヤ  
ニサレテ居ラレルカ、或ハ又將來トモ斯ウ  
云フ農家ニ對シテハドウ云フ風ナ方法ヲ執  
ツテ行カレタ方ガ宜イノグラウカト云フコ  
トニ付キマシテ、御考ヘガアリマシタナラ  
バ承リタイ

シ、或ハ又全體的ニ是ハ十分トハ言ヘナイ  
ケレドモ、一ツノ村トシテハ先ヅ例ヘバ或  
ル程度ノ自小作ナラ自小作ヲ作ルト云フコ  
トガ村ノ將來ノ健全ニ進ンデ行ク第一步デ  
アルト云フヤウナコトデ、サウ云フ方面ヘ  
進ムモノモアリマセウシ、是ハ色々アルダ  
ラウト思フノデス、私自身實ハ深ク研究モ  
致シテ居リマヌガ、左様ニシテ必ズシモ  
常非ニ整然トシタモノハ考ヘラレナイ、殊  
ニ今ノ戰時下ニ於キマシテ、一軒ノ農家ニ  
付テ考ヘテ見マシテモ、其ノ持合セノ勞力  
ト云フモノハ、將來平和ナ時ニ回復スレバモ  
ウ少シ勞力ハアルンダケレドモ、現狀ニ  
於テハ此ノ程度ニシカイカヌト云フヤウナ  
場合モアリマスシ、兎ニ角今日ノ農村ニ於  
ケル勞力關係ハ或ル種ノ變態狀況ニアルノ  
デアリマスカラ、而モ農家ノ農業經營ト云  
フモノハ、其ノ一軒ノ家人ノ人數、或ハ家族  
ノ成長ト云フヤウナモノガアルト云フ道理ハ  
ヲナシテ行クノデアリマシテ、其ノ間ニ處  
シテキチントシタモノガアルト云フ道理ハ  
ナイノデアリマスガ、ヤハリ其ノ狀況ニ應  
ジマシテ、形式的ニ、統計的ニ見タラバ甚  
ダ變デアツテモ、實質的ニ見テ堅實ナル農  
家ヲ作り上げテ行クト云フ風ニ、ヤハリ斯  
ウ云フ時期ノ仕事デアリマスカラ、平面  
的ニ或ル時期ヲ限ツテ考ヘナイデ、相當ナ  
期間ニ跨ツタヤウナ考ヘ方ヲ以テ、農家  
殊ニ自作農家ノ維持創設ヲ考ヘテ行クベキ  
ヂヤナイグラウカ、斯ウ考ヘマス  
○赤城委員 飯米ノ供出ノコトデ一寸觸レ  
タノデスガ、ソレト關係シテ小作料ノ金納  
ト云フ問題デアリマス、是ハ私昨日決算委  
員會ニ出テ居ツタ時問題ニナツタヤウニ新  
聞デ見マシタ、私ハ此ノ點ハ端的ニ言ヒマ

シテ、金納化スルコトハイケナイト思フ、ヤハリ農業人ト云フノハ土地カラ物ヲ產ミ出ス、物ト物ヲ產ム心ト、此ノ心ガ土地ト產ミ付クト云フコトガ必要デアル、其ノ意味結付クト云フコトガ必要デアル、モ金錢經濟ノ爲ニ汚濁サレタ農村ヲ更ニ何カ物ト離レタヤウナモノニシテ、金サヘ拂ヘバ宜インダ、金サヘ取レバ宜インダト云フヤウナ形ニシテ行ク虞ガ多分ニアルト考ヘルノデアリマス、金ヲ取ルダケナラバ、實際農業ヲヤル馬鹿ハナイ、ト言フト少シ言葉ガ荒イカモノ知レマセヌガ、金ヲ取ルダケナラバ農業ハヤラヌ、金ヲ取ルナラ外ニモツト取レル所ガアル、ヤハリ土地カラ物ヲ產ミ出ス樂シミト云フカ、此ノ土地トノ結合相當危險ガアルト思フ、勿論金納化ノ理由付キト云フ所デ、金ニシテハ懐口ニ餘り入ラヌデモ農業ニクツ付イテ居ルト云フ形ガ料ナラ小作料ヲ金納化スルト云フコトニハ相当多イト思フ、ヤハリ金デ濟マセバ宜イングト云フコドニシテ、金ニト云ツテ小作トシテハ、米麥等ガ段々上ツテ來ル、ダカラ一俵小作ヲ取ツタノモ金ニスレバ一俵半ノ小作ヲ取ツタト同ジヤウナモノデ、自己ノ力ニ依ラズシテ小作料ヲ多く取ル、又小作スル方カラ言ヘバ金ニ換算スレバ非常ニ多額ノ金ヲ納メル、小作料ガ上ツタト云フ形ニナリマスカラ、是ハ金納ニシテ置イタ方ガ宜カラウト云フコトデアリマセウケレドモ、サウ云フ點ナラバ、是ハ全面的ニ小作料ノ適正化ト云フコトヲ圖ラレタ方ガ宜イノデアツテ、其ノ意味カラノミ金納化トスウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、斯ハ昨日決算委員會ニ出テ居リマシタノデ

○石黒政府委員 是ハ昨日モ結論的ニ申上  
ゲタノデアリマスガ、要シマスルニ色々ノ  
見方モアル譯デアリマスガ、農商省トシマ  
シテ今日特ニ小作料ニ付テ金納済ヲ圖ルト  
云フ特別ナル進メ方ヲ致シテ居ラナイノデ  
アリマス、其ノコトヲ申上ゲテ置キマス  
○赤城委員 配給ノ點ニ付テ御尋ネシタイ  
ト思ヒマス、配給ノ點ハモウ大體各委員會  
其ノ他デ論議ガ盡サレテ居ルヤウデアリマ  
スノデ、詳シイコトヲ御尋ネスル必要ハナ  
イト思ヒマスガ、先程御尋ネガアリマシタ  
ガ、配給ノ理念ト言ヒマスカ、配給ノ指導  
精神ト云ヒマスカ、サウ云フ點ニ非常ニ誤リ  
シテヨク乏シキヲ憂ヘズ齊シカラザルヲ憂  
ヲ持ツテ居ル點ガアルノデハナイカト云フ  
ヤウニ考ヘルノデアリマス、統制ニナリマ  
シテヨク乏シキヲ憂ヘズ齊シカラザルヲ憂  
フル、斯ウ云フコトガ援用サレテ居ルノデ  
アリマス、先程モ他ノ委員カラ御詰ガアリ  
マシタヤウニ、眞實公平デアルナラ宜シイ  
ケレドモ、表向公平ノヤウニ見エテ、實際  
ニハ公平デナイ、斯ウ云フ場合ガ非常ニ多  
イ、乏シキヲ患ヘズ、均シカラザルヲ患フ  
ルンダ、總テニ平等的ニ配給シロト云フヤ  
ウナ指導ヲシマスルト、非常ニ危險ナ思想  
ニ近クナルト思フノデアリマス、物ガ段々  
少クナツテ來ル、戰爭ハ苛烈ニナツテ來ル、  
十人ノ所ヘ手拭一本配給ニナツテ來タ、  
一人ノ者ニダケ配給スレバ九人ノ者ハ必ず  
快カラズ思フ、ソレデハ均シカラザルヲ患  
フルト云フ譯デ、一本ノ手拭ヲ十本ニ切ツ  
テ與ヘタラバドウナルカ、形ハ非常ニ公平  
デアリマスルガ、ソレデハ其ノ物ガ活キテ

來ナイ、物が不足ニナツテ來ル、戰爭ガ苛烈ニナツテ來ルト云フ時ニ一人ノ人ガ一本ノ手拭ノ配給ヲ受ケタト云フコトニ付テ、九人ノ者ハ非常ニ變ナ考ヘヲ持ツテ來マス、此ノ場合ニ乏シキヲ患ヘズ、均シカラザルヲ精神ヲ一つ所ヲ得ルト云フ日本のナモノニスト、配給上カラ思想ノ混亂ト云フコトガ非常ニ多クナツテ來ルノデ、私ハ此ノ指導患フルト云フヤウナ思想デ指導シテ行キマス、是ハ食糧ニシマシテモ、大體其ノ人

變ヘテ見タラドウカト思フ、人モ所ヲ得ル、物モ所ヲ得ル、大將ナラ即チ大將トシテノ待遇アリ、或ハ少尉ハ少尉トシテノ待遇アリ、兵卒ハ兵卒トシテノ待遇アリ、之ヲミンナ同ジニシテシマフ、斯ウ云フコトデナクテ、所ヲ得ル、重筋労働者ニハ食糧モ多ク與ヘテ居リマス、サウデナイ者ハ少イト云フ風ニ必ズシモ平等デハナイ、併シナガラ乏シキヲ患ヘズ、均シカラザルヲ得フルト云フヤウナ言葉デ表現サレルト、兎角皆平均シテ同ジヤウニ配給モ受ケルノデアルシ、同ジヤウナ待遇モ受ケルノデアルト云フヤウナ危險ニ陥リ易トイト私ハ考ヘル、其ノ點ニ於テドウシテモ物モ人モ所ヲ得影響ヲ憂フル譯デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○石黒政府委員 配給ノコトハ、是ハ説明ニハナリマセヌガ、一口ニ申セバ、要スルニ適正ノ配給ヲスルコトガ必要ナノデアリドウ云フ方面ニドノ程度ノ必要ガアツテ、ドノ方面ハドノ程度ノ必要ニ止マルカト云

フコトガ、一々巨細ニ見當ガ付カナイ場合ニハ、已ムヲ得ナイカラ外ニ手ガナイト云フヤウナ譯デ、同ジヤウニ配ル、要スルニ左様ナコトカラ、例ヘバ一人當リ幾ラト云

フヤウナ配給ノ仕方モ起ツテ來ル譯デアリマス、是ハ食糧ニシマシテモ、大體其ノ人

ノ生理カラ言ツテ、多少餘計食糧ヲ必要トスル人モアラウシ、又ソレ程必要デナイ者モアラウシ、或ハ平生ノ職業ノ關係カラ言ツテ、所謂濃厚榮養的ナ食糧ヲ必要トスル者モアラウシ、サウデナイ者モアル、男女ノ性別ニ依ツテソレドヽ多少ノ違ヒガアル

譯デアリマスガ、之ヲ非常ニ詳細ニヤルト云フコトハ事實上不可能デアルト云フヤウナ所カラ、實ハ味噌ハ一人當リ幾ラトカ、醤油ハ幾ラトカ、米ハ年齢ニ依ツテドウトカ——唯最近ハ御話ノヤウニ重勞働其ノ他

ノ關係カラドウスルト云フヤウナコトニナツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ我々トシマシテハ、元々何デモ同ジヤウニ米ヲ食フノガ一番理想デアルカラ、同ジヤウニ食ハセルノダト云フヤウナ所カラ出發シテ居ル

譯デハナインデアリマシテ、唯實行上サウスルコトヨリ外ニナイト云フヤウナ場合ニ、サウ云フ風ニヤツテ居ル、若シソレ以上ニ特殊ナ標準カラ更ニ一層具體的ニ配給ノコトガ考ヘラレル場合ニハ、左様ナ風ニヤツテ居ルト云フコトニナル譯デアリマス、何レ

ニシマシテモ要スルニ其ノ配給ノヤリ方デアリマス、御承知ノヤウニ現在ノ所マダ配給統制ヲ加ヘナイ配給ノヤリ方ト云フモノ

モアル譯デアリマス、統制配給ト自由配給スルト云フ所ニアルノデアリマス、所方シノデアリマシテ、例ヘバ食糧ニ付テ申

シマスナラバ、其ノ時々ノ食糧全體ノ需要、

供給量ノ關係トカ、或ハ又生活環境ガ大消費地デアル、又ハ極メテ手近ニ色々ナ生産物ガアル地方ノ小都市或ハ農村デアルト

カ云フヤウナコトカラ致シマシテモ、統制配給ニ依ツテ配給スペキカ、統制ニ依ラザル自由ナ配給ニ依ツテヤルベキカト云フ緩急ノ度ガソコニ自ラアル譯デアリマス、私共ト致シマシテハ統制配給ノヤリ方自體モサウデアリマスルシ、又統制配給ノ對象ニ

スペキ物資ニ付キマシテモ、總テノ需給全體ト、ソレカラ環境ノ關係等ヲ睨ミ合セマシテ、此ノ決戦下ニ於ケル國民ノ生活ヲ最モ決戦下銃後國民ノ活動ノ上ニ相應シイヤニ運營サレテ參リマスコトヲ主眼トシテ、其ノ時々ノ情勢ニ應ジテ處置ヲシテ行キタ

イト考ヘテ居ルノデアリマス、大體左様ナコトデアリマス

○赤城委員 ソコデ綜合配給制ト云フモノガ各方面ニ行ハレテ來タヤウデアリマスガ、是ト對應シテ供出側ノ方モ綜合供出制ヲ執

ラレタラドウカ、例ヘバドノ縣ハ米ハ何百萬石、麥ハドレダケ、甘諸ハドレダケ、馬鈴薯ハドレダケ、斯ウ云フ風ニ初メカラ綜合供出ニシテ、若シ米ノ點デ是ダケ出ナカ

タクナラバ、今度ハ麥ノ方デ少シ餘計代ヘテ出シテモ宜イノダ、或ハ甘諸デ代ヘテ出シテモ宜イノダ、斯ウ云フヤウナ綜合供出

制ヲ執ラレタラ宜イノデヤナカト考ヘテス、ソコデ高梁ハ是レ位シカ出セヌケレドモ粟ハ是ダケ出ストカ、糧穀三品ハ是ダケ

ダガ大豆ハ是ダケ出ス、大豆ハ少シシカ出シテナイガ糧穀三品ヲ出ストカ、是モ餘り極

スケレドモ、多少ソコニ食糧トシテ融通ハ付ケ易イモノデアリマスカラ、同時ニサウ云フモノガ出テ來ル場合ニハ割合ヤリ易イ

ノデアリマス、所ガ我國ノ食糧ハドウカレドモ、米ノ點デハ是レダケハ中々困難ダ

ト申シマスト、米ノ出ル時期、麥ノ出ル時

ト云フ風ナ點ガ色々アリマス、是ハ出ス時期等ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、一應國トシテ大キナ計畫ヲ立テ、縣ニ綜合供出ノ割

當ト云ヒマスカラ綜合供出ヲサセル、ソレヲ又村ノ方ニ廻シテ行クト云フ風ナ考ヘノ下ニ供出サセタ方ガ、配給ガ既ニ綜合ニナツ

テ居ルノデアリマスカラ宜シノデハナイ

カト考ヘテ居ルノデスカ、此ノ點ニ付テ御

意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ト云ヒマスカラ宜シノデハナイ

カト考ヘテ居ルノデスカ、此ノ點ニ付テ御

期、ソレカラ芋、又春馬鈴薯、甘藷ト云フヤウナ譯デ、何レモ時期ガ違フノデアリマシテ、例ヘバ此ノ秋ハ是ダケシカ出セナイケレドモ、來年ノ春ニハキツト出シマスト云フヤウナ譯デ、綜合供出ト云ツテ次ノ時期ニ一ツ繰延ベルト云フヤウナコトハ、是ハ實ヲ申シマスト、全體トシテ需給ノ計畫ノ立て様ガナイヤウニナル譯テアリマス、其處ニ一寸難カシイ點ガアルノデアリマスガ、今御話ノヤウニ秋ニ米ガ出ル、甘藷ガ出ルト云フヤウナ場合ニ付テナラバ、或ル程度ハソレガ實行出來マス、唯其ノ場合ニ於利デアル、甘藷ハト申シマスト、御承知ノヤウニ、保存ノ上又輸送ノ上ニ非常ニ不便ガアルモノデアリマスカラ、政府ト致シマシテハ、現在米ニ付テハ自家ニ或ル程度ノ保有ヲ認メテ、アトハドウカ全部出シテ貰ヒタイト云フコトデ賴ンデ居ル、甘藷ノ方ハドウカト云フト、全國的ニ大體ノ生産見込量ニ對シテ四割程度シカ供出ヲ求メテ居ナイ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居ルノセレト云フヤウナ趣旨デハ毛頭ゴザイマセヌノデ、全ク國家が食糧ヲ運營シテ行ク上ニ、輸送ノ關係、保存關係ト云フコトデ、生産農家ニ此ノ點ニ付テノ協力ヲ求メテ居ラ言ヘバ是ダケ出セバ宜イノダケレドモ、何レ又米ノ供出ガアルコトデアラウカラ、豫メヲ餘計出シテ置キマセウト云フコトデアレバ、是ハ大變供出ヲ受ケル側デハ工

合ガ宜イガ、農家トシテハ中々サウハ行キマセス、甘藷ト米ノ關係ニ付テハ先程ノヤウナコトニモナリマスカラ、彼此レ致シマシテは實際ノ實行ト云フコトニナルト、我々ノ仕事ニ關係ノアル事柄トシテ研究ハ致シテ居リマスガ、マダ公ニ此ノ際ドウスウシヨウト云フコトヲ申上ゲルマデニハナツテ居リマセヌノデ、御諒承ヲ願ヒマス○赤城委員 最後ニ御尋ネ致シタイコトハ、戰爭ノ終ルマデ水陸糲ノ栽培ヲ止メルコトニシタラドウカト云フコトデアリマス、其ノ理由ハ、茨城縣ニ於テ、昭和十七年ノ水陸糲作付別ガ二萬三千三百七町、收量ガ二十七萬九千四百四十石デアツテ、統計ノ示所ニ依ルト、一反歩當リノ實收高ハ糲ヨリ糲ノ方ガズツト多イノデアリマス、ソレデヒタイト云フコトデ賴ンデ居ル、甘藷ノ方ハドウカト云フト、全國的ニ大體ノ生産見込量ニ對シテ四割程度シカ供出ヲ求メテ居ナイ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居ルノセレト云フヤウナ趣旨デハ毛頭ゴザイマセヌノデ、全ク國家が食糧ヲ運營シテ行ク上ニ、輸送ノ關係、保存關係ト云フコトデ、生産農家ニ此ノ點ニ付テノ協力ヲ求メテ居ラ言ヘバ是ダケ出セバ宜イノダケレドモ、何レ又米ノ供出ガアルコトデアラウカラ、豫メヲ餘計出シテ置キマセウト云フコトデアレバ、是ハ大變供出ヲ受ケル側デハ工

合ガ宜イガ、農家トシテハ中々サウハ行キマセス、甘藷ト米ノ關係ニ付テハ先程ノヤウナコトニモナリマスカラ、彼此レ致シマシテは實際ノ實行ト云フコトニナルト、我々ノ仕事ニ關係ノアル事柄トシテ研究ハ致シテ居リマスガ、マダ公ニ此ノ際ドウスウシヨウト云フコトヲ申上ゲルマデニハナツテ居リマセヌノデ、御諒承ヲ願ヒタラドウカセヲ願ヒタリト思ヒマス○赤城委員 算ハ今ノ御話ノ點ハマダ考ヘタコトハゴザイマセヌシタガ、一ツ能ク研究シテ見タイト思ヒマス○赤城委員 私ノ質問ハ是デ終リマス○深澤委員長 ソレデハ次ハ山田委員

○山田(六)委員 米穀供出ノコトニ付テハ大分皆サンカラ御問ヒガアツテ、是レ以上御聽キスルノモドウカト思ヒマスガ、昨年ト今年ト米ノ供出ニ當ツテ見タ結果ガ、ドウシテモ此ノ供出ニ付テハ何ト考ヘナケレバナラヌ、此ノ儘ニシテ置イテハ恐ルベキ結果ヲ見ルノデハナイカト云フヤウナ心配ガアリマス、ソレハドウシテカト云フト、第一ニ農商省ニ御聽キ致シタイコトハ、今年ノ東北全體ガサウ云フ傾向ニアリマスルガ、收穫ガ豫定ヨリ少クテ、配當ヲサレタ供出量ダケ出シテシマヘバ、モウ米ハ精々三月カ、良イ方デ四月一ハイデ食ベルノガナクナツテシマフ、ソレデ政府ノ供出ノ方針ニ依ツテ保有米ヲ残シテ置クト云フコトニナレバ、到底割當テラレタ米ハ出スコトガガ、收穫ガ豫定ヨリ少クテ、配當ヲサレタ供出量ダケ出シテシマヘバ、モウ米ハ精々三月カ、良イ方デ四月一ハイデ食ベルノガナクナツテシマフ、ソレデ政府ノ供出ノ方針ニ依ツテ保有米ヲ残シテ置クト云フコトニナレバ、到底割當テラレタ米ハ出スコトガガ、之ニ付テハ東北六縣ガ殆ド同ジ歩調ニ落ノ各個人ノ割當ニ於テモヤハリ同ジヤウ村ト町村ノ間デ不公平ダト云フヤウナコト、ノ間ノ供出ノ歩合ガ違フ、或ハ郡ト郡トノ間デ、何郡ハ非常ニ樂ダガ、自分ノ方ノ郡ハ非常ニ無理ダト云フヤウナコト、或ハ町又町村内ニ於テモ各部落ノ割當ガ不公平ダレ位ノ町歩ガアルカ分リマセヌガ、百萬デゴザイマス、斯ウ云フ時デアリマスノデ、此ノ水陸糲ヲ水陸糲ニ替ヘタラバ——全國デドレ位ノ町歩ガアルカ分リマセヌガ、百萬町歩アリトスレバ——是ハ少シ多イカモ知レマセヌガ、ソレダケデ二百萬石ダケハ捨テシト云フヤウナコトニナツテアリマスガ、兎ニ角後ハドウシ

收穫ニ依ツテ其ノ何割ヲ出ス、或ハ實收穫ヲ全部出スト云フコトニナレバ公平ヲ保ツコトガ出來ヤウカト思フノデアリマス、デアリマスカラ今後ノ供出ト云フモノハ、農家ノ收穫シタモノノ全部、例ヘバ一月三十日ナラ一月三十日マデノ食糧ヲ除ク全部ヲ供出スペシト云フコトニシテ、其ノ後ノ米ヲ配給スルト云フコトニナレバ是ハ不平ガ少イカト思フ、之ニ付テハ實ニ怨嗟ノ聲ガ各部落々々ニ充チ滿チ居ルト云フ地方モアリマス、殊ニ婦人ガ此ノ問題ニ對シテ喧シク苦情ヲ言フモノデアリマスカラ實ニ困ツタモノノデアル、コンナコトヲ繰返シテ居ツタノデハ、是ハ今後ノ食糧生産ノ上ニ非常ナ惡影響ヲ與ヘルノデハナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、是ハ寧ロ全收穫量ヲ供出セシメテ、サウシテ之ヲ配給スルト云フコトニナレバ怨嗟ノ聲ハ少クナル、是ガ本當ノ公平ナヤリ方ダト思フノデアリマスカラ、全收穫量ノ何割ヲ供出スルト云フヤウナコトニシテ、之ヲ實行シテ見ル御意思ハナカト云フコトデアリマス、是レ以外ニ私共ハ方法ハナイト思ツテ居リマス、併シソレヲスルニハ調製、脫穀ト云フヤウナ仕事ヲ統制シナケレバ不可能デアリマスガ、大體今日統制サレテ居リマスカラ、今一步進メテ之ヲ完全ニ統制シテ貰フト云フコトニナレバ、是方嚴格ニ行ハレルノデハナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○石黒政府委員 本年ノ供出ノ大體ノ目算ハ、御承知ノヤウニ早期割當致シマシタカラ、要スルニ收穫ヲスル前カラ致シタ譯ス

○山田(六)委員 大抵實情ハ御分リグラウト思ヒマスカラ、詳シク御話スル必要ハナリコトデアリマシテ、又返シテ貰フ位ナラ何モ調製シテ儀裝スル必要モナイノニ、儀裝シテ出ス、去年アタリノ還元配給ハ受ケタガ、兎ニモ角ニモ出シタト云フ場合ノ最モ合理的ダト思ハレル不平ハ、兎ニ角出セ、後カラヤルト云フコトデワザノ儀裝ヲシテ出シテ、又米ヲ貰ツテ來ル、實ニ此ノ際トシテハドウモ政府ハ洵ニ下手ナコトヲヤツテ居ルト云フヤウナ還元配給ヘノ批評ハ、役所ノ方トシテハ一番痛イ批評デアル譯デアリマス、デアリマスカラ兎ニ角一應全部出セ、又後デヤラウト云フコトハ難

初決メタモノトノ間ニ多少ノ食違ヒト云フモノハアリ得ルノデアリマス、之ニ付テハ供出ノ方法ノ場合ニ於キマシテモ、地方ニ依テ改訂ヲ加ヘル、併シ多少ノコトナラバ本年ハ一ツ其ノ儘實行シテ戴クト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ來月位マデシカ米ガナイ——澤山食ツテシマツタノハ別デアリマス、或ハ又他ノ方ニ流用シタ云フヤウナコトナラ別デアリマスガ、通常ニ食ベテ居ツテ三月頃マデシカ食ベル物ガナイト云フヤウナハ餘程何カソコニ、割當ガ特ニ過重デアツタトカ云フ例ヘバ御話ノヤウニ部落ナラ部落ニ付テノ割當ガ特ニ過重デアツタトカ云フニ於ケル個人割當ガ過重デアツタトカ云フヤウナコトニ端ヲ發シテ居ルノデナケレバ、ドウモ災害地デナイ限リサウ云フコトハ考ヘラレナイヤウニ思フノデアリマス、隨テ私共ト致シマシテハ、例年左様ナコトニナルト思ヒマスガ、細目ノ更ニ縣内ニ於ケルセテアリマスカラ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、私自身十分承知致シテ居リマセヌガ、我々ノ方カラ見マシテモ、最近多少苦シイカナト思ハレル或ル縣ノ村ノ人ガ參リマンテ色々事情話ヲシテ居ラマシタガ、結局村ノ中デ部落割當ナリ何ナリガ巧ク行キナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、此ノサヘスレバ——是ハ少シ無理ダト云フヤウナコトヲアリカラモ聞イテ居ル縣デアリマシタガ、ソンナニエライ問題ハナイノダ、唯ソレガヤハリ非常ニ形式的ナ割當ガ行ハレル爲ニ、ソコニ不平ガ起ル、出セルケレドモ、ア、云フノガ居ル以上ハ俺ノ方モデアリマスカラ、理窟ノ上カラ言ツテモ、

收穫ト供出トノ關係ト云フモノニ付テ、最初に付テ居ルノデアリマス、之ニ付テハモノハアリ得ルノデアリマス、之ニ付テハ供出ノ方法ノ場合ニ於キマシテモ、地方ニ依ツテ、相當著シイ災害等ニ依ル變化ニ付テハ改訂ヲ加ヘル、併シ多少ノコトナラバ本年ハ一ツ其ノ儘實行シテ戴クト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、勿論是ハ難カシイ事柄デアリマスカラ、マダ年ト折角經驗ヲシテ參リマシテ、去年ヨリツテ色々狀況モ多少違フト思ヒマスノデ、云フヤウナ話モアリマシタ、是ハ地方ニ依テ色々狀況モ多少違フト思ヒマスノデ、尤一概ニハ申サレマセヌケレドモ、去年、今年ト折角經驗ヲシテ參リマシテ、去年ヨリツテ色々狀況ニ適シテ居ルノデハナイハ今年ガ一層實情ニ適シテ居ルノデハナイカト私共ハ想像シテ居ルノデアリマス、勿論是ハ難カシイ事柄デアリマスカラ、マダハ別デアリマス、或ハ又他ノ方ニ流用シタ云フヤウナコトナラ別デアリマスガ、通常ニ食ベテ居ツテ三月頃マデシカ食ベル物ガナイト云フヤウナハ餘程何カソコニ、割當ガ特ニ過重デアツタトカ云フニ於ケル個人割當ガ過重デアツタトカ云フヤウナコトニ端ヲ發シテ居ルノデナケレバ、ドウモ災害地デナイ限リサウ云フコトハ考ヘラレナイヤウニ思フノデアリマス、隨テ私共ト致シマシテハ、例年左様ナコトニナルト思ヒマスガ、細目ノ更ニ縣内ニ於ケルセテアリマスカラ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、私自身十分承知致シテ居リマセヌガ、我々ノ方カラ見マシテモ、最近多少苦シイカナト思ハレル或ル縣ノ村ノ人ガ參リマンテ色々事情話ヲシテ居ラマシタガ、結局村ノ中デ部落割當ナリ何ナリガ巧ク行キナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、此ノサヘスレバ——是ハ少シ無理ダト云フヤウナコトヲアリカラモ聞イテ居ル縣デアリマシタガ、ソンナニエライ問題ハナイノダ、唯ソレガヤハリ非常ニ形式的ナ割當ガ行ハレル爲ニ、ソコニ不平ガ起ル、出セルケレドモ、ア、云フノガ居ル以上ハ俺ノ方モデアリマスカラ、理窟ノ上カラ言ツテモ、

云フヤウナ話モアリマシタ、是ハ地方ニ依テ色々狀況ニ適シテ居ルノデハナイカト私共ハ想像シテ居ルノデアリマス、勿論是ハ難カシイ事柄デアリマスカラ、マダハ別デアリマス、或ハ又他ノ方ニ流用シタ云フヤウナコトナラ別デアリマスガ、通常ニ食ベテ居ツテ三月頃マデシカ食ベル物ガナイト云フヤウナハ餘程何カソコニ、割當ガ特ニ過重デアツタトカ云フニ於ケル個人割當ガ過重デアツタトカ云フヤウナコトニ端ヲ發シテ居ルノデナケレバ、ドウモ災害地デナイ限リサウ云フコトハ考ヘラレナイヤウニ思フノデアリマス、隨テ私共ト致シマシテハ、例年左様ナコトニナルト思ヒマスガ、細目ノ更ニ縣内ニ於ケルセテアリマスカラ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、私自身十分承知致シテ居リマセヌガ、我々ノ方カラ見マシテモ、最近多少苦シイカナト思ハレル或ル縣ノ村ノ人ガ參リマンテ色々事情話ヲシテ居ラマシタガ、結局村ノ中デ部落割當ナリ何ナリガ巧ク行キナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、此ノサヘスレバ——是ハ少シ無理ダト云フヤウナコトヲアリカラモ聞イテ居ル縣デアリマシタガ、ソンナニエライ問題ハナイノダ、唯ソレガヤハリ非常ニ形式的ナ割當ガ行ハレル爲ニ、ソコニ不平ガ起ル、出セルケレドモ、ア、云フノガ居ル以上ハ俺ノ方モデアリマスカラ、理窟ノ上カラ言ツテモ、

アリマスガ、ソレニ供出トシテ割當テラレ  
タモノハ一萬三千三百五十俵デスカラ千八  
百五十俵シカソコニ残ラナイ、所ガ農家以  
外ノモノヲ除イテ、農家ダケデ一箇月五百  
俵ノ米ガ要ルノデアリマスカラ、是ハ十二月、  
一月、二月デ千五百俵デアリマスカラ、ソ  
レデ其ノ米ガ全部ナクナル譯デアリマス、  
其ノ外ニ米ガアルカト云ヘバ、是ハアリヤ  
ウガナインオデアリマス、今ノヤウニ脱穀其  
ノ他ヲ統制シテ居リマスカラ其ノ收穫收量  
ハ殆ド分ツテ居ル、デアリマスカラ若シ斯  
ウ云フモノニ對シテ、サウ云フヤウナ處置  
ヲ執ツテマデモ米ヲ集メルコトハ宜シクナ  
イノダ、國ノ食糧政策ニ適ハナイノダト云  
フコトニナリマスレバ、私ハ直グニ電信ヲ  
打チマシテ、米ノ供出ヲ見合セロ、斯ウ云  
フコトヲ言ツテヤツテ管理米ニ移スコトヲ  
阻止致シタイト思ヒマスガ、是ハ放ツテ置  
イテモ宜シウザイマスカ

ガ、縣下到ル處ニサウ云フ例ガアラウト思  
ツ、テ居リマスカラ、尙ホ一ツ御調査ノ上  
デ然ルベク御配慮頼ヒタイト思フノデアリマ  
ス、萬一是ハ一步ヲ誤リマスナラバ、由々  
シキ問題が起ル虞ガアルト私ハ信ジテ居リ  
マス

セウガ、食糧ノ生産ニ付テ獎勵スルコトノ  
必要ナコトハ勿論デアリマスカラ、ソレニ  
ハ是非同一ノ待遇ヲ與ヘテ戴キタイノデア  
リマス、是ハ答辯ハ要リマセヌ、私ノ希望  
デアリマス  
ソレカラ纖維政策ト云フコトニ付テ政府  
ノ御所見ヲ御伺ヒシタイ、纖維類ハ食糧ニ次  
グモノニアリマシテ、極メテ重要ナル問題  
デアルト思フノデアリマスガ、此ノ纖維トヨ  
云フモノニ付キマシテハ當業者モ一般社會  
ノ通念モ非常ニ食糧トハ違ツタ考ヘヲ持ツ  
テ居リマス、政府ノ纖維政策ニ對シテヨ政  
策ガ鮮明デナイ、デアリマスカラ、現在國  
ハ此ノ纖維政策ト云フモノニ對シテドウ云  
フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアルカト云フコト  
ニ付テ一般ハ疑問ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ  
節々ガ非常ニ顯著ナノデアリマス、之ニ付  
テハ先ヅ第一ニ十八年度ノ實績等モアリマ  
セウシ、十九年度ニ於ケル纖維政策ト云フ  
モノニ對シテ案モ出來テ居リマセウカラ、  
是等ニ對シテ、詳細ナルコトヲ御聽キスル  
必要ハナインデアリマスガ、大綱ヲ御示シ  
願ヒタイト思フノデアリマス  
○石黒政府委員 或ハ詳細ニ付テハ纖維局  
長カラ申上ゲルカモ知レマセヌガ、一應大  
要ヲ申上ゲタイト思ヒマス、纖維モ或ハ軍  
需ト民需ノ關係ガアリマシテ、軍需ニ付テ  
モ色々ノ想定ノ下ニ色々ナ必要量ト云フモ  
ノモアリマセウガ、兎ニモ角ニモ現實ノ絶  
對必要量ト云フモノハ是ハ先以テ確保シナ  
ケレバナラヌ、是ハ當然デアリマス、民需  
ニ付テ申スナラバ、國民生活ノ面ニ於ケル  
所謂衣食住ノ三面ヲ考ヘルト、何ト云ツテ  
モ一日モ忽セニスベカラザルモノハ食ノ生  
活デアリマス、是ハ日々ノコトデアリマシ

テ、ドウシテモ或ル必要量ト云フモノハ確  
保シナケレバナリマセヌ、一方住ノ關係ニ  
ナリマスト、是モ人口增加其ノ他ノ關係力  
ラ、産業ノ移動トカト云フコトニ關聯シテ  
或ル程度ノモノハドウシテモ確保シナケレ  
バナラヌノデアリマスガ、是ハ簡単ニ住居  
ノ置換ト云フヨ、ミタヨカズトキツギ、御武

テ、ドウシテモ或ル必要量ト云フモノハ確  
保シナケレバナリマセヌ、一方住ノ關係ニ  
ナリマスト、是モ人口增加其ノ他ノ關係力  
ヲ、產業ノ移動トカト云フコトニ關聯シテ  
或ル程度ノモノハドウシテモ確保シナケレ  
バナラヌノデアリマスガ、是ハ簡單ニ住居  
ノ増設ト云フコトモ容易デナイノデ、御承  
知ノヤウナ關係ニナツテ居リマス、衣ノ生  
活ニ於キマシテモ、是ハ又日本人ノ生活ノ  
特質致シマシテ、割合ニ衣ノ生活ニハ彈  
力性ガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、  
ソコデ衣ノ生活ハ勿論全然之ヲ無視シテ宜  
イ譯デハナイ、必要ナモノハ確保シナケレ  
バナリマセヌガ、其ノ最低ノ必要量ト云フ  
モノニハ非常ニ大キナ幅ノ彈力性ガアリマ  
シテ、國民自體ノ覺悟如何、戰局ノ段階如  
何ニ依リマシテハ相當ニ動カシ得ルモノノ  
ヤウニ思ハレテ居ルノデアリマス、サウ云  
フ觀點カラ致シマシテ、差當リ當面ノ衣ノ  
國民生活ニ付キマシテハ、或ル程度ノ壓縮  
ハ是ハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、  
其ノ間ニ於キマシテ、申スマデモナク國民  
勤勞ノ確保、戰力增强ノ爲ニスル所ノ各種  
ノ生產ニ國民ガ邁進スルニ付テノ必要ナ衣  
料ノ確保ト云フモノハ、申スマデモナク先  
づ以テ必要ナコトデアリマス、ソレカラ又  
人口ノ増加等ノ觀點カラスル所ノ必要ナ衣  
料、姪產婦、或ハ小兒ト云フヤウナ者ニ對  
スル衣料ノ確保ト云フモノモ必要ダラウト  
思フノデアリマス、ソレカラ又斯ウ云フ段  
階ニナリマスト、補修ヲスルト云フコトガ  
我々ノ衣生活ノ上ニ於テ非常ニ大キク取上  
ゲテ行カナケレバナラナイノデアリマシテ、  
是ハ衣料全體ガ相當ニ、謂ハゞ過剩トモ云  
フベキ時カラ見マスト、其ノ補修用ノ資材

ト云フモノハノ需要ハ寧ロ増大シテ來ルトモ  
ウ云フ觀點カラモヤハリ十分ナ考慮ヲナサ  
ナケレバナラヌ、其ノ他、或ハ申シ残シガ  
アルヤウニ思ヒマスガ、一二ノ點カラ考ヘ  
テ、ソレ等ノ一般的ナ方針ヲ頭ニ置キマシ  
テ、サウシテ此ノ段階ニ即應シタ衣料ノ生  
活ト云フモノヲ國民全體ガヤル必要ガアラ  
ウト思フノデアリマス、昨日モ發表シマシ  
タヤウナ譯デ、マダ内容ニ付テ申上ガル段  
階ニマデハ至ツテ居リマセヌケレドモ、政  
府ト致シマシテハ、今年ノ國民衣料ニ付キ  
マシテハ左様ナ觀點、其ノ他ノ點カラ色々  
ト準備ヲ進ヌテ居ルヤウナ譯デアリマス、  
要スルニ必要ナモノハ勿論之ヲ確保シナケ  
レバナラナイ思フノデアリマス

ト農商省ノ御考ヘトヲ一致セシメル必要ガアルノデハナイカ、是ハ政府ノ威信ニモ相當影響スルノデハナイカト云フヤウナコトガ考ヘラレルノデスガ、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス  
○石黒政府委員 速記ヲ止メテ下サイ  
○深澤委員長 速記ヲ止メテ……  
○深澤委員長 速記ヲ始メテ……  
○山田(六)委員 ソレデハ方面ヲ變ヘマシテ御伺ヒ致スコトニ致シマセウ、近來纖維統制會ト云フモノガ内容ガ改マリマシテ非常ニ強化致シタイト云フコトデアリマスガ、其ノ中ニ蠶絲統制株式會社ト云フモノハ含マレテ居ナインデアリマスガ、ドウ云フ關係デ此ノ蠶絲業ガ纖維統制會ノ中ニ入ツテ居ナイノデアリマセウカ、其ノ點ヲ承リタイ  
○石黒政府委員 是ハマア絶對的ナ問題デヤアリマセヌノデ、詰リ政府ニ於テ如何様ニデモ方針ガ立テラレル譯デアリマス、私共實際的ニ考ヘマシテ、從來カラノ各種纖維業ノ關係、ソレカラ蠶絲業ノ關係等カラ見マシテ、今差當リハ少クトモ纖維統制會ト蠶絲統制會社トノ關係ハ密接ナル連繫ヲ保ツテ行クノガ最モ此ノ實際的效果ヲ擧ゲルノニハ適當デアラウト考ヘテ居ル譯デアリマス、尤モ此ノ前纖維統制會ノ統合前人綱綱統制會ニハ慥カ蠶絲統制會社ガ客員トシテ關係ヲ持ツト云フコトニツテ居リマシタ、今後モ或ハサウ云フヤウナ關係ハ付ケヲスルノガ適當カトモ思ツテ居リマ

○山田(六)委員 今日ノ所デハ養蠶ノ事業等ハ、絹織物デアルトカ云フヤウナ觀念ヲ以テ取扱フベキモノデナク、國ノ纖維政策始終一ツニ睨ンデ研究サルベキデアル、隨テ統制會等ニハ當然入ラナケレバナラスモノデアルト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ツタモノデアリマスガ、之ヲ此ノ埠外ニ置カレルト云フヤウナコトハ、重要纖維以外ノモノトシテ取扱ハレルノデハナイカト云フヤウナ感モアルノデアリマスカラ、之ヲ全纖維ノ中ニ一括シテ、總テノ計畫ガ樹立サルベキデアルト云フ風ニ考ヘテ御聽ギシタノデアリマス其ノ次ニ御聽キ致シタイコトハ、先刻加藤君カラ御質疑ニナツタ問題デアリマスガ、繭ノ生産ノ年々減少スルコトハ實ニヒドイモノデアリマス、最近一千萬貫位ヅ、減ツテ參リマスカラ、此ノ調子デ行キマスト來年ハ四千萬貫位ニ減少スルノデハナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、多分其ノ位ニナルデセウ、供シ是ハドウシテモサウ云フ風ニ減ラシテハ相成ラヌ、生産ヲ維持シナケレバナラヌト云フ政府ノ強イ御考ヘガアツタナラバ、其ノ維持シ得ル政策ヲ御立テ下サラナケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、本年ハ鬼ニ角一萬町歩ノ桑園ニ對植スルトカ、七千町歩ノ桑園ヲ整理シテ、或ハ田トシ或ハ畠トシテ食糧ノ増産ニ充テ云フガ如ク我々ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、本年ハ鬼ニ角一萬町歩ノ桑園ヲ改ル、其ノ外ニ三千町歩ノ桑ノ植付ヲ獎勵致

リマスレバ過不足ガナイ、整理シタダケノ  
桑園ハ殖エルト云フ御計畫モアルト云フコ  
トヲ聞イテ居リマスガ、兎ニ角本年ハ四千  
町歩ダケノ桑園ヲ減ラス、此ノ減ラス必要  
ガ何處ニアルカ、又減ラスト云フコトヲ發  
表スルト、サモナクトモ年々一千萬貫以上  
ノ減收ヲ見テ居ルノニ、是ハ愈々前途望ミナ  
シト云フヤウナ感じヲ養蠶家ニ與ヘマシテ、  
養蠶家ハ益々桑園ヲ減ラシテシマフト云フコ  
トニ相成リ、減產ヲ獎勵スルヤウナ結果ニ  
ナルノデハナイカト云フコトヲ私共ハ非常  
ニ憂慮スルノデアリマス

ナイカト思フノデアリマス、併シ養蠶ト云フ  
モノニ對シテ今後其ノ増産ノ必要アシト云  
フコトニナレバ、是ハ別問題デアル、併シ  
ナガラドウシテモ生産ヲ確保スル必要アリ  
ト致シマシタナラバ、既ニ整理シテシマツ  
タモノニ對シテ、更ニ其ノ上ニ整理烟ヲ割  
當テテ整理ヲスル必要ガ何處ニアルカ、斯  
ウ云フコトガ非常ニ懸念サレルノデアリマ  
ス、若シ養蠶家方既ニ整理ヲシマシテモ、  
更ニ其ノ上ニ今度ノ割當ノモノヲ整理スベ  
シト云フヤウナコトノ御計ヒニナリマスレ  
バ、是ハ恐ルベキ結果ヲ來スノデアリマシ  
テ、私ハ其ノ點ヲ心配スルノデアリマス  
ガ、其ノ點ニ付テ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマ  
ス

が、其ノ中ノ一ツニ此ノ最近出來マシタ蠶絲製造株式會社ナルモノヲ非常ニ恐怖ヲ抱イテ見テ居ル向ガアルノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト云フト、如何ナル會社ト雖モ、何百萬圓、何千萬圓ト云フ資金ヲ擁シテ會社經營ヲヤツテ居ルノデアリマスケレドモ、此ノ會社ハ創立スルト同時ニ、而モ何千萬、或ハ一億ニ近イ「マイナス」ヲ持ツテ經營スルト云フ會社ナノデアリマス、創立ト同時ニ「マイナス」ヲ持ツテ經營スル會社ト云フモノハ、是ハ日本ニハ餘リ例ガ少イトイチ思フノデアリマス、此ノ會社ハサウ云フ内容ニナツテ居ルヤウニ噂サレテ居ルノデアリマス、是ハ會社ノ株主自身ガ此ノ會社ノ「マイナス」ヲ總ルトスレバ、其ノ内容ハ何人ノ手ニ依ツテ補填サレルカト云フ問題デアリマスカラ、族努力シテ造リ上ゲタ會社デアリマスカラ、國家ガ其ノ損失ヲ補填スペキモノナリトシテ、此ノ會社ノ損失ヲ整理スル方針カ、或ハ此ノ損失ハ生産者タル所ノ養蠶家、或ハ纖維ノ需要者ノ犠牲ニ依ツテ此ノ缺陷ヲ何トカサセナケレバナラスト云フ風ニモ見テレルノデアリマスケレドモ、是等ニ對シマジシ政府ハ、此ノ蠶絲製造會社ハ兎ニ角農林省ガ作り上げ、育テ上ゲタモノノデアリマス、之ヲ此ノ儘ニ放任スルコトハ出來ナイト思ヒマスガ、是等ニ對シテドウ云フ御處置ヲ御執リニナル御考ヘデアリマスカ

社が成立ノ經過ニ於テ共助金ノ負擔致シテ居リマス、是ガ懸念ノ爲ニ云々トフ御話デゴザイマシタガ、サウ云フ懸念ヨリマス、此ノ蠶絲製造會社ニ付キマシテハ、是ハ別段政府ガ之ニ對シテ特別ナル援助ヲシテ、其ノ負債ヲ整理シテヤラウト云トハ考ヘテ居リマセヌ、又其ノコトアルル爲ニ、特別ナ、例ヘバ需要者トカ、他ノ方面ニ負擔サセテ、ソレニ依ツテドウ斯ヨウト云フコトモ考ヘテ居リマセヌ、是要スルニ多數ノ會社、工場ガ合同致シマシテ比較的少イ設備ヲ以テ合理的ナ生産ヲ遂行クト云フコトト、イマーツハ、兎ニ角カラ、例ヘバ利潤ノ配當等ニ付テモ株主十分自肅シマシテ、専ラ差當リハ内容ノ甚備ニ努メルト云フヤウナ經營方法ヲ執ルトニ依ツテ、今後漸次進ンデ行カセルヤニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリヨシテ、特ニ此ノ製造會社ノ特殊ノ内容其モノヲ理由ニシマシテ、例ヘバ價格ノ引テヤルトカ何トカ云フコトハ、絶対ニ考テ居リマセヌ、其ノコトダケヲ御諒承願ス

マデノ價格政策ハ、急ニ桑苗ノ生産ヲ撰滅シテシマフ實ニ顯著ナ實例デアリマシテ、私ノ縣ナドカラ言ヒマスト、六年前ニハ三百萬ノ桑苗ガ出テ居リマシタガ、昨年ノ如キハ僅カニ二百萬ノ桑苗ニナツテシマツタ、桑苗ノ產地ノ柄木、愛知等モ皆其ノ例ニ倣ツテ、五分ノ一或ハ六分ノ一ト云フ風ニ減少シテシマツテ居リマス、是ハ此ノ儘ニシテ置イテハ桑苗ノ供給ト云フモノ方全クナクナツテシマフ、ソレデアリマスカラ、是ハ價格ニ於テ餘リニ低廉ナル結果デアルカラ、此ノ價格ヲ引直シテ欲シイト云フコトハ、既ニ農林省ニ要求致シマシテ、二年モ三年モ、年々續ケテ居リマスガ、今日尙ホ之ヲ實行サレナイ、物ニ依リマシテハ二錢、高クテモ三錢臺ノ桑苗ヲ今日尙ホ賣買シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、是デハ茄子ヤ胡瓜ノ値段ヨリモ安イノデアリマスカラ、是ハ誰モ作ル者ガナインガ當然デアリマス、一方ニ於テ價格政策ニ依ツテ桑ノ生産ヲ壓縮シテ、一方ニ於テ大ナル反別ノ改植ヲヤルト云フコトデアリマスカラ、是ハ非常ナ無理ナ御計畫ガト思フノデアリマス、此ノ計畫ガ果シテ實行出來マセウカ、一寸御聽キ致シマス

コトノ一ツノ手段ト致シマシテハ、一口ニ品種ガアリマスノデ、其ノ中ノ優良ナル桑苗ノ養蠶組合等ニ依ル自給ヲ圖ルト云フコトヲ今後一ツ大イニ進メテ参リタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、地方ニ於ケル蠶業試驗場等ニ於テ優良ナル品種ノ育成ヲシテ之ヲ配付致シマスト共ニ、配付ヲ受ケタル養蠶家ノ團體ニ於テ之ヲ共同育成ヲシテ自給ヲ圖ル、サウシテ桑園ノ中ノ立枯レ等ガ起リマシタ場合ニ簡便ニソレヲ補填シテ行クト云フコトニ依ツテ、桑園ノ老廢ヲ防ギマシテ、反當ノ生産效率ヲ高メテ行ク、斯ウ云フコトヲ致サウト云フ趣旨ヲ以チマシテ、今回ノ追加豫算ニモ其ノ關係ノ新タル事業ヲ組ンデ居ルヤウナ譯ニアリマス、兎ニ角山田委員ノ御指摘ノ大體ノ状況ト云フモノハ洵ニ御話ノ通リデアリマシテ、此ノ點洵ニ遺憾デアリマスガ、今後ニ對シマシテハ、今申シマシタヤウナコトヲ產繭確保、全般計畫ノ一部ト致シマシテ、サウ云フヤウナ方法ヲ以チマシテ、先ヅ苗ノ確保ト云フコトモ併セテ實行致シテ参リタイト考ヘテ居リマス、價格ノコトダケハ一寸申上ゲルコトヲ控ヘサセテ戴キタイト思ヒマス

リニ養蠶業ノ名ヲ變ヘタ所ノ農業會ニ屬ルノカ、ドウモ年々ハツキリシナイデ困ルト云フノデ、浮腰ニナルト云フコトハ養蠶業會ニ屬ス、ニアリマスカラ是ハ本年ドウナルカハツキリシタコトヲ御聽キスルト同時ニ、今後一旦決メタモノハ年々ソレヲ動カサナイデアリマス、デアリマスカラ問題ガ未解決ニナツテ居ルガ如クニ考ヘルノデアリマス、既ニ一月デアリマス、リマスカラ、モウ農業會ト致シテモ此ノト云フヤウナ問題ガ未解決ニナツテ居ルガ、九年度ノ豫算ハ直グニ作ラナケレバナラヌト云フコトデアツテハ豫算ノ作リ様モナトイド云フヤウナ情勢ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ヲ今一度ハツキリ御話ヲ聽キタイト思ヒマス

何トカ確保スルト申シマシタガ、無論其ノ意氣込デヤラナケレバナラヌカモ知レマセヌガ、或ハ減ルト云フコトモナイトモ限ラヌノデアリマス、ソコノ所ヲ一つ官民其ノ他各方面デ力ヲ合ハサレマシテ、此ノ際努力致シマスナラバ相當ノ效果ヲ擧ガラレルノデハナイカ、批評スルナラバコ、ノ所暫ク指導員ノ仕事ノ結果ヲ見マシテカラ批評シテモ遅クハナイト思フノデアリマス、唯御承知ノヤウニ以前製絲家ガ特約組員ニ於テ指道致シマシテ、之ニハ一面色々ナ弊害モ傳ヘラレテハ居リマスケレドモ、又同時に相當徹底シタ指導ヲヤツタコトガアルト云フコトト比較シテ言フノデアリマスガ、事情ガマルデ違ツタ狀況ノ下ニ於テ比較サレタノデハ現在ノ指導員諸君モ氣ノ毒ナ譯デアリマス、サウ云フコトヲ考ヘマスナラバ將來ドンナニ能率ガ舉ラナクテモ問題ニナラナイト云フ譯ニハ行カナイト思ヒマスクレドモ、今年ハ兎モ角ト致シマシテ、將來ニ至リマシテサウ輕々ニ批判スペキモノデヤナイヤウニ私ハ考ヘテ居リマス

隘路ニナツテ居ルモノハ――先づ最モ大事  
ノ待遇ノ改善ヲヤラケレバナラナイ、一  
方農業ノ方ニハ待遇ノ改善ヲ著々サレテ居  
リマスケレドモ、養蠶業ノ指導員ニハソレ  
ガナイ、之ヲ是非御考慮ト御願ヒ致シタイ  
ト思フノデアリマス

イマ一ツノ問題ハ、他ノ食糧ヤ何カニ付テハ  
作付統制令ト云フモノガアリマシテ、ソレニ  
依ツテ食糧方面ノモノハ保護サレテ居リマス  
ケレドモ、桑園ニ對シマシテハ地方長官ノ許  
可ヲ得ナカツタナラバ新ニ植付ガ出來ナイ、  
斯ウ云フ制度ニナツテ居ルノデアリマス、是  
ハ制度ヲ作ツテモ作ラナクテモ影響ガナイ  
ノデス、新ニ容易ニ植エ付ケラレマセヌカラ  
影響ガナイデスケレドモ、是ガ他ノ果樹園ト  
同ジヤウニ禁止ノ御取扱ヲ受ケルト云フコト  
ガ繭ノ生産ニ相當ナル影響ヲ與ヘテ居ルト  
思フノデアリマス、政府ハ桑ノ木ヲ新規ニ植  
エルコトヲ禁示シタ、許可ガナケレバ植エ  
ルコトガ出來ナイト云フ感想ヲ農民一般ニ  
與ヘテ置クト云フコトハ生産ノ上ニ非常ニ  
悪影響ヲ與ヘルモノト考ヘマス、イマ一ツハ、  
食糧ヲ作ル田畠ヲ減ラス、或ハ削減スルニ  
ハ許可ヲ受ケネバナラヌ、桑ノ木ヲ植エル  
コトヲ禁止サレテ居リマスケレドモ、桑園  
ヲ廢止スルノハ自由ニ出來ルコトニナツテ  
居ルト云フコトデアリマスカラ、其ノ生産  
ノ確保ヲスル時分ニハ、ヤハリ他ノ食糧ト  
同ジヤウニ一旦桑園トシタモノハ廢止出来  
ナイ、廢止スル際ニハヤハリ地方長官ノ許  
可ヲ受ケルト云フ制度ニシテ戴ケレバ、非  
常ニ效果ガアルト思ヒマス、此ノ點ニ付テ  
一方桑園或ハ蠶絲業ト云フモノニ對シテ  
政府ガ種々ナル冷遇ヲ與ヘ、御法度ノ品物

斯ウ云フノデアリマスカラ生産ノ上ニ非  
常ニ影響ヲ及ボスコト大ナルモノガアル、  
斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス  
ノ價格モ今日昨年ヨリ十五掛上ツテ、七十五  
掛デアリマス、是ハ全國ノ平均十四匁ト見レ  
バ十貫百五圓ト云フ價格ニナツテ居リマス  
ガ、是ハ他ノ生産品カラ言ヒマスト非常ニ  
安イデアラウト思ヒマス、併シ出來得ベク  
ンバ此ノ價格ヲ引上ゲルコトハ最モ生産確  
保ノ上ニ大ナル效果ガアリマス、是非引上  
ゲテ欲シイト思ヒマス、若モ引上ゲルコト  
ガ出來ナイトスレバ、米ノ如キ色々生産獎  
勵ノ方法トカ何カヲ茲ニ講ジテ戴イタナラ  
バ、生産確保ノ上ニ大キナ働キガアラウト  
思ヒマス、ソレカラ繭ノ検定、是ハ長時間  
叫バレテ居リマスガ、之ヲ簡易化スル切歩  
検定ニシテシマフト云フヤウナコトガ行ハ  
レテ、繭ヲ供出シテ間モナク金デモ貰ヘル  
ト云フコトデアツタナラバ、是モ大層宜イ  
ト思ヒマスガ、生産者ノ心理ニ影響ヲ及ボ  
スコトハ、繭ヲ出シテ少クトモ三箇月位過  
ギナケレバ金ガ手ニ入ラヌ、現在繭ヲ出シ  
タ際ニ、其ノ幾分ヲ貰ヒ、最後ニ又其ノ幾  
分ヲ貢フト云フヤウナ方法ニナツテ居リマ  
スガ、是ナドモ検定方法ヲ切歩検定等ニ直  
シテ戴イテ、ドンヽ金ヲ支拂フト云フコ  
トニナリマスト非常ニ違フダラウト思ヒマ  
ス、イマ一ツハ蠶種ノ問題デアリマスガ、  
蠶種ハドウシテモ強健ニシテ極メテ飼育シ  
易イ種類ヲ御選ビ下サツタナラバ、非常ニ  
生産ノ上ニ好影響ヲ得ル、昨年ノ晚秋蠶ノ  
如キハ、到ル處ニ違蠶ガ續出シタモノデア  
リマスカラ、斯ウ云フ危険ナコトデハ到底

養蠶ハ出來ナイト云フヤウナ想ニ一般養  
蠶家ニ與ヘタト云フ事實ハ極メテ顯著デア  
リマス、是等ノ各項ニ對シテ是非御配慮ヲ  
願ツテ、一日モ早ク此ノ改善ヲ御願ヒシタ  
イト思ヒマス、此ノ點ニ對シテノ御所見ヲ  
伺ヒタイ

○石黒政府委員 作付制限ノ點ニ關シマシ  
テハ、現下ノ蠶絲事情等ヲ參照致シマシテ  
十分考究致シタイト存ジマス、價格ノ點ニ  
付キマシテハ色々御意見モアラウトハ存ジ  
マスガ、昨年價格決定ヲ致シマシタ當時色  
色調査致シタ點カラ申シマシテモ、今日之  
ヲ引上げベキモノトハ私共考ヘラレナイノ  
デアリマス、檢定ノコトニ付キマシテハ、  
落下愈其ノ他ノ高級生絲ノ關係モアリマス  
シ、將來十分研究ハ致シマスケレドモ、當  
面現行ノヤウナコトデ進メテ參リタイト存  
ジマス、種ニ付キマシテハ用途其ノ他色々  
健ナ良イ品種ヲ供給スルヤウニ致シタイト  
考ヘテ居リマス

○山田(六)委員 生産ヲ確保スル上ニ於テ

イマ一ツ御意見ヲ御聽キ致シタク、最近養  
蠶實行組合ニ對シテ、市町村農業會ニ協力  
スベキ旨ノ命令ガアツタサウデアリマスガ、  
是ハ勿論斯様ニシテ戴カナケレバナラヌト  
思ヒマス、ソコデ繭ノ責任供出ト云フカ、  
サウ云フコトニ依ツテ責任ヲ持ツテドレダ  
ケノ生産ヲセシメルト云フ一ツノ案ヲ作ツ  
テ戴キ、全國ノ桑園生産量等ニ依ツテ實行  
スルコトニ致シタナラバ、或ル程度產額ヲ  
確保スル上ニ於テ效果ガアラウト考ヘラ  
ルヤニ聞イテ居リマスガ、サウ云フコトニ

ナルト、其ノ町村ノ生産物、食糧其ノ他ノ  
農產物ノ中ニ、繭ノ生產量ヲ限定シ、綜合  
生産ノ中ニ繭ヲ入レルコトヲ御示シ下サイ  
マシテ、繭ノ生產確保ノ上ニ役立テルヤウ  
ニ致シタイト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テノ  
御意見ヲ承リタイ

○石黒政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ何  
レカト申シマスト積極的ニ考究シテ見タイ  
ト考ヘテ居リマス、今的確ナコトヲ申上げ  
ル階段ニハ至ツテ居リマゼヌガ、能ク考ヘ  
テ見タイト思ヒマス

○山田(六)委員 先刻御尋ね致シマシタ統  
制會社、蠶絲製造會社ノ問題デアリマスガ、  
昨年春ノ議會當時蠶絲統制會社、蠶絲製造  
會社が出來タ時、前農林大臣ハ、全國ヲ真  
ニ一致出來ルナラバ問題ナイガ、此ノ會社  
以外ニ製絲モアリ種屋モアル、是等ニ對シ  
テ政府ハドウ云フ態度ヲ執ラレルカト云フ  
質問ニ對シテ是ハ極メテ公平無私デアル、  
強イテ合同シロト云フコトハ一言モ政府ト  
シテ言ハナイ、合同シタクナイ者ハ合同シ  
ナクテ宜シイ、合同シタク者ハシロ、所謂  
來ルモノハ選ばズ隨テ此ノ會社設立後ニ當  
ツテ此ノ二ツノ會社ニ對シテハ決シテ偏頗  
ナ取扱ヒハシナイ、全ク平等ノ取扱ヒヲス  
ルノダト云フハツキリシタ御話ガアリマシ  
タ、然ルニ最近ニ至リマシテ、此ノ製造會  
社ノ方へ參加シナイ製絲家ノ要望ニ對シテ  
ハ中々其ノ要望ヲ入レナиде、出來ルダケ  
シタコトハ、其ノ後モ引續キ其ノ通り遂行  
ト云フヤウナコトデアノ會社ヲ作ツタノデ  
アリマス、ソレデ斯ウ云フ風ニヤラセルノ  
ダト云フコトヲ當時業界ニ全般的ニ御約束  
シタコトハ、其ノ後モ引續キ其ノ通り遂行  
致シテ居ル譯デアリマス、唯細カニ點ニ多  
少取扱ノ誤リト云フモノガ若シアリマスレ  
バ、ソレハ直チニ改メテ行ク譯デアリマス  
ガ、大體ノ趣旨ガ共助金ヲ負擔シテ可哀想

リデアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭  
ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ  
アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ  
シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農  
林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明  
ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居  
ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護  
シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

○石黒政府委員 蠶絲製造會社ノ設立ニ付

キマシテハ、當時多數業界ノ方々ノ協議會

ニ於キマシテ、全員ノ最後ニハ一致シマシ

タ所デ設立シタノデアリマシテ、其ノ後ノ

之ニ對スル取扱ハ、協議ノ上ニ於テ定メラ

レタ所ノ方針ヲ一貫致シテ居ルノデアリマ

ス、平等ト言ヒマシテモ、詰リアノ製造會

ガ町村農業會ノ手ニ依ツテ之ヲ供出スル、

普通ノ繭モ玉繭モ肩繭モ悉ク供出スル、

サウシテ是等ノ團體カラ消費機關ニ渡スト

云フヤウナコトモ一ツノ方法デアリマス、

ヤウデアリマスノデ、之ヲ悉ク統制シテシ

スルニ對シマシテモ、種々ナル商業團體ガ

アリ、或ハ其ノ中ニ又小サナ取扱團體ガア

ルト云フヤウニ、色々ナ煩雜ナ團體ガアル

考ヘラレルノデアリマス、例ヘバ繭ヲ集荷

ニ價格ニ餘裕ガ生ズルト云フヤウナコトモ

是等ヲ悉ク整理統制シテシマヘバ、其ノ間

ル問題デアリマスガ、繭ノ取扱ヤ蠶絲業ノ

中間ニ色々ナ團體トカ機關トカ云フモノガ

リマシテ、御承知ノヤウニ定マツタ所ニ依

ニ致シタイト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テノ

御意見ヲ承リタイ

リデアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭  
ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ  
アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ  
シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農  
林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明  
ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居  
ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護  
シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

○山田(六)委員 是ハ繭ノ價格ニ關係ノア  
リマシテ、御承知ノヤウニ定マツタ所ニ依  
ニ致シタイト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テノ  
御意見ヲ承リタイ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

シナケレバナラヌト言ハレル、此ノ二ツノ  
間ニ距離ガアルヤウニ考ヘラレマスガ、是  
ハ今後ドウ云フ御方針ニ依ツテ此ノ二ツヲ  
御取扱ヒナリマスカ

リマシテアルガ、例ヘバ長纖維ガ年々生産ガ少  
クナツテ短纖維ガ非常ニ多クナツタ、又繭

ノ性質等ニ依ツテ短纖維ノ方ガ宜イノダト  
云フ際ニハ短纖維ニ移リタイト云フ希望モ

アリマセウ、斯ウナツテ來ルト消費事情等  
ニ於テモ種々轉換スルコトモアリマセウ

シ、操業其ノ他色々問題ニ關シテ要求ノ  
起ルコトハ當然デアリマスガ、是ハ前ノ農

林大臣ハ全ク其ノ間ニ何等差別ヲ與ヘナ  
イ、本當ニ神ノ如キ取扱ヲスルト云フ聲明

ト、今日此ノ大ナル共助金等ヲ負擔致シテ居

ル會社デアルカラ、之ニ對シテハ相當擁護

ラスト思ヒマスガ、是等ニ對シマシテハド

ウ云フ御對策ガオアリニナリマスルカ、御

聽キ致シタイト思ヒマス

○石黒政府委員 取扱機關ヲ簡易ニスルト

云フコトハ、同時ニ其ノ段階ニ付テノ一種

ノ全面的企業整備ヲ伴フコトニナル譯デア

リマシテ、サウ云フ場合ニハ又自ラ補償金

ノヤウナモノモ出來マスカラ、餘程何力財

源ガアリマセヌト、サウ云フモノヲ廢止シ

テモ直グ價格ノ上ニ影響スルト云フコトハ

困難デアルト思ヒマス、細カイ點ニ付テ最

近ノ狀況ハ餘リ審カニ致シマセヌガ、尙ホ

能ク纖維局ノ方デモ考究ヲ致サセマスガ、

左様ナ關係ニナラウト思ヒマス

尙ホ乾繭ノ實施ニ付キマシテハ、十分乾

燥用ノ燃料其ノ他ノ確保、ソレカラ一面ニ

於テハ養蠶ニ付テ斯ウ云フ現況ニ即應スル

ヤウナ養蠶ノヤリ方ヲ指導シテ戴ク、是ハ

農業會ノ方デ指導ナサル上ニ於キマシテ、

能ク全國ノ狀況ヲ勘察サレマシテ、養蠶ノ

團體バカリデナク、アトノ受繼グ方ノ狀況

モ餘程考慮シテ、サウ云フ養蠶ノ指導ヲサ

レルコトヲ此ノ際トシテハ望マシイト思ヒ

マス、ト申シマスノハ、是ハ軍需關係トモ

關聯スルノデアリマスガ、乾燥裝置ガ色々

軍關係ノ轉用等ノコトガアルノデアリマシ

テ、我々モ或る場合ニハ非常ニ辛立場ニ

立ツノデアリマスガ、又同時ニ此ノ決戰ヲ

切抜ケル爲ノ必要カラ、或ル程度ノ犠牲モ

已ムヲ得ナイヤウナ譯デアリマス、此ノ點

ニ付キマシテハ我々モ注意致シタイト思ヒ

メ参リタイト思ヒマス

○山田(大)委員 今日ノ所デ桑ノ皮ハ纖維

中ニ於テ數量ニ於テハ殆ド王座ヲ占メテ居

ルガ如クニ考ヘラレルノデアリマシテ、之

ヲ今後指導ヲ十分ニスレバマダマダ生産ノ

餘地ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘラ

レルノデアリマスガ、之ニ對シテ特ニ政

府ガ生産ヲ助成スルコトニ付テ御考ヘハア

リマセヌカ

今一ツ之ヲ取扱フニハヤハリ農業團體ニ

取扱ハシメルコトガ當然ナリト考ヘラレマ

スガ、其ノ點ニ付テノ御考ヘガオアリニナ

ルカト云フコトデアリマス

今一ツハ、農家ニ桑ノ皮ヲ本當ニ多ク出

サセルト云フ場合ニ最モ效果的グト思フノ

ハ、養蠶家ノ勞働服ヲ作り、ソレヲ養蠶家

ニ幾分ナリトモ還元シテヤルト云フコト

デ、若シ是ガ出來レバ生産ニ一層ノ努力ヲ

スルダラウト思ヒマス、セメテ學童ノ服ダ

ケデモ宜シイノデアリマスガ、サウ云フコ

トヲ是非御實行願ヒタイ、サウシテ此ノ生

產ヲ十分ニサシタイト者ヘテ居リマスガ、

之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

○石黒政府委員 桑ノ皮ノ利用ニ付キマシ

テハ、我々モ現ニ致シテモ居リマスルシ、

將來ニ瓦リマシテハ大キナ期待ヲ持ツテ居

リマス、取扱ハ農業團體ガ扱フト云フコト

モ適當デアラウト存ジマス、差當リ是ガ獎

勵ニ付テハ一ツノ運動的ナコトデ進メテ參

リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ作業着ノ還元ト云フヤウナコトニ付

キマシテハ、實ハ桑皮ヲ利用スルト云フコ

トが始マリマシタノハ、慥カ三四年以前ダツタ

ト思ヒマスガ、當時私纖維局關係ニ居リマ

シテ、還元ノ計ラヒニシタヤウナ譯デアリ

マス、數量ハドノ程度ニナツテ居ルカ存ジ

ニシマシテモ、或ハ更ニ地方廳或ハ中央ノ

致シタイト考ヘマス

○山田(六)委員 私ハ是デ宜シウゴザイマ

田君カラ色々御尋ネニナツタノデスガ、實

スガ、其ノ點ニ付テノ御考ヘガオアリニナ

ルカト云フコトデアリマス

今後ハ愈々一ツ任セテ使ツテ貴ハウト云フヤ

農業會トシテハ統合シテ勿々ノコトデアリ

導員ト云フヤウナ風ニ、總テ區別シテ、手

當給料ト云フヤウナモノヲ其ノ部ノニ於

テ心配ヲシテ之ヲ賄フヤウニスル建前デア

ルノカ、モウ既ニ農業會ニ各團體ガ統合シ

テ、渾然一體トナツタ以上ハ、サウ云フ差

別ハ撤廢致シマシテ、ソレニ要スル所ノ指

導員養成其ノ他ノ費用ト云フモノハ、農業

會其ノモノガ心配ヲシテ之ヲ賄フ、若シ足

リナイ場合ニ於テハ政府ガ之ニ助成金ヲ交

付シテ、サウシテ賄ハセル、斯ウ云フ風ナ

建前ニナツテ居ルノカ、ソコヲハツキリト

同ツテ置キマスト、先刻私共ガ心配致シマ

シタ例ヘバ蠶絲統制會社カラ今マデ出シテ

居ツタ三百八十萬圓ノオ金ノ如キハ、何處

ヘソレガ行カウトモ別ニ心配ナイコトデア

リマスケレドモ、若シソレガサウデナク

テ、各部々々ガ要スル其ノ指導員養成員ノ

給料其ノ他ヲ賄ツテ心配シテ行カナケレバ

農業會等ヲ通シマシテ末端ノ農業會ニ行

キマス補助金等ニシマシテモ、從來カラモ

或ル程度サウ云フ風ニ致シテ居リマスガ、

ナ觀點カラ申シマスルト、是ハ大體御任せ

コデハツキリシテ置キタインハ、養蠶部ノ

指導員、作業部ノ指導員、或ハ農業會部ノ指

導員ト云フヤウナ風ニ、總テ區別シテ、手

當給料ト云フヤウナモノヲ其ノ部ノニ於

テ心配ヲシテ之ヲ賄フヤウニスル建前デア

ルノカ、モウ既ニ農業會ニ各團體ガモウ一緒ニ

テ、渾然一體トナツタ以上ハ、サウ云フ差

別ハ撤廢致シマシテ、ソレニ要スル所ノ指

導員養成其ノ他ノ費用ト云フモノハ、農業

會其ノモノガ心配ヲシテ之ヲ賄フ、若シ足

リナイ場合ニ於テハ政府ガ之ニ助成金ヲ交

付シテ、サウシテ賄ハセル、斯ウ云フ風ナ

建前ニナツテ居ルノカ、ソコヲハツキリト

同ツテ置キマスト、先刻私共ガ心配致シマ

シタ例ヘバ蠶絲統制會社カラ今マデ出シテ

居ツタ三百八十萬圓ノオ金ノ如キハ、何處

ヘソレガ行カウトモ別ニ心配ナイコトデア

リマスケレドモ、若シソレガサウデナク

テ、各部々々ガ要スル其ノ指導員養成員ノ

給料其ノ他ヲ賄ツテ心配シテ行カナケレバ

リマスケレドモ、若シソレガサウデナク

シテ

シテ大イニ勵カネバナラナイ、其ノ技術員、  
指導員ガ不安ノ念ニ驅ラレテ居ル、是デハ  
中々實績ヲ舉ゲルコトハ容易デナイト思ヒ  
マスカラ、其ノ點ハ特ニ御検討ノ上、我々  
ノ希望通りシテ戴キタイト云フコトヲ御願  
ヒ致シテ置キタイト思ヒマス

尙ホ委員長ニ御希望申上ガタイガ、此ノ

食糧問題竝ニ衣料問題ニ付テハ、實ハ祕密  
會ヲ開イテ戴イテ、十分ニ大臣ト檢討シテ  
見タイト思フコトガ多々アル、カルガ故ニ委  
員長カラ特ニ其ノ點ヲ御心配下サレマシテ、  
大臣ト親シク膝ヲ突合セテ祕密會デ十分檢  
討スル機會ヲ御作リ下サルヤウ特ニ御願ヒ  
スル次第アリマス

午後六時十八分散會

○深澤委員長 御意見能ク承ツテ置キマス、

本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十  
時ヨリ開會ノ豫定デアリマス